

第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況

本評価書案において、対象事業に係る環境影響を受ける可能性がある範囲を「対象事業実施区域及びその周囲」（以下、「対象区域」という。）とします。

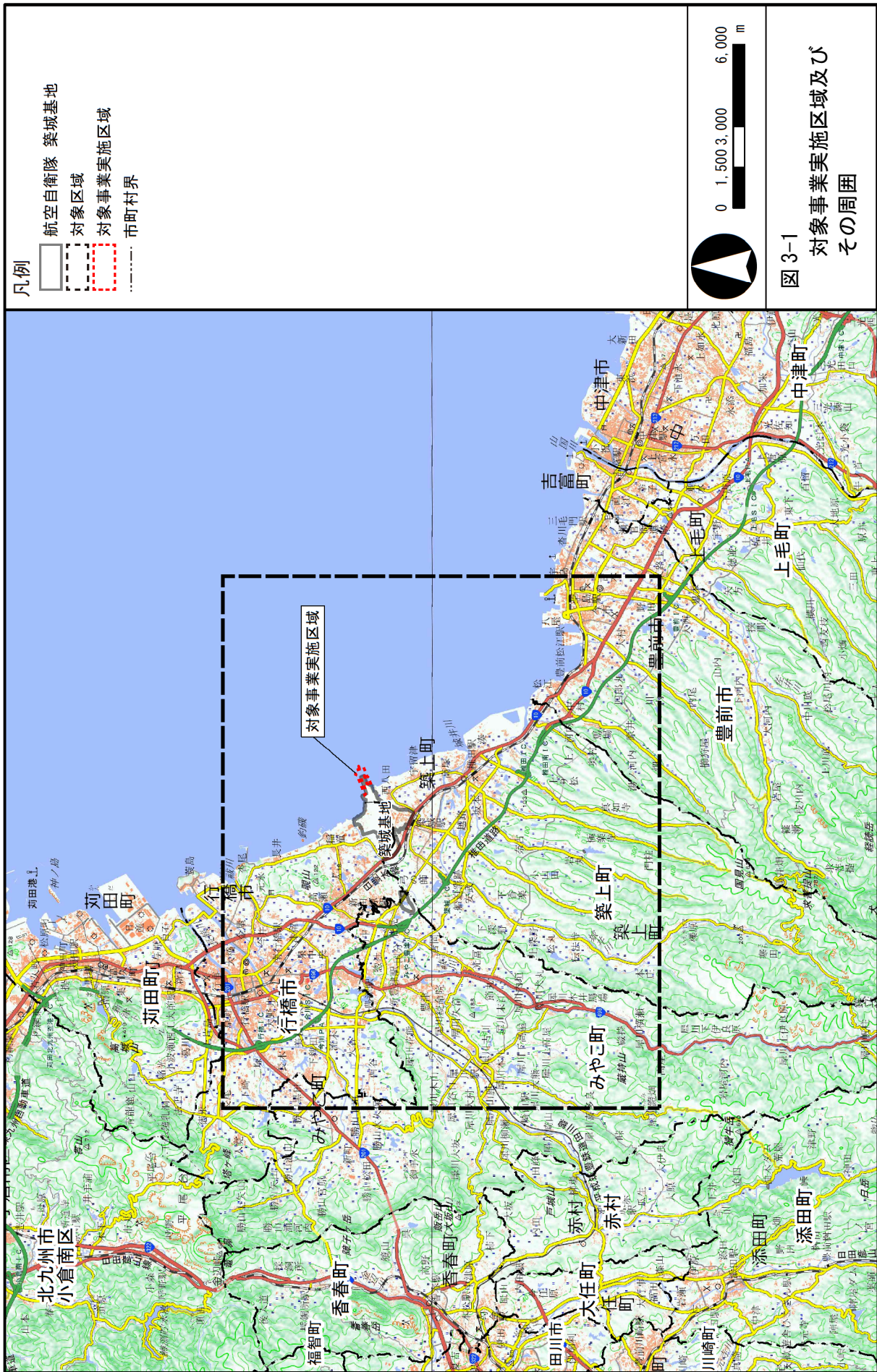
【対象事業実施区域及びその周囲】

- ・工事の実施による影響を受ける範囲
- ・工事用車両の走行ルート（想定）による影響を受ける範囲
- ・施設の供用（航空機の運航）による影響を受ける範囲

この対象区域は、対象事業の規模、内容及び工事計画の内容等から、工事の実施及び施設の供用に伴う影響、工事用車両走行ルート（想定）による影響を受けると想定される範囲を含むように設定しています。

対象区域の位置する築上町は福岡県の東部に位置しており、本章で記載する対象事業に係る調査の対象とする区域は図 3-1 に示す範囲です。

対象区域のみの記載が困難な項目（人口等）については、周辺市町の行橋市、築上町、みやこ町、豊前市を対象として記載します。



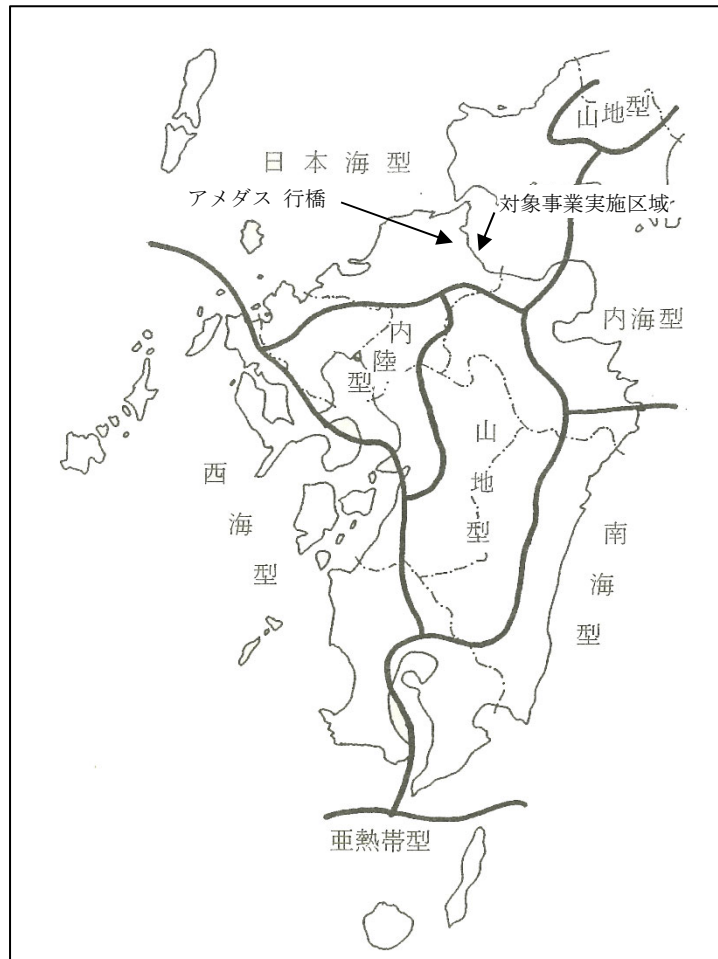
1. 自然的状況

1.1 大気環境

1.1.1 気象の状況

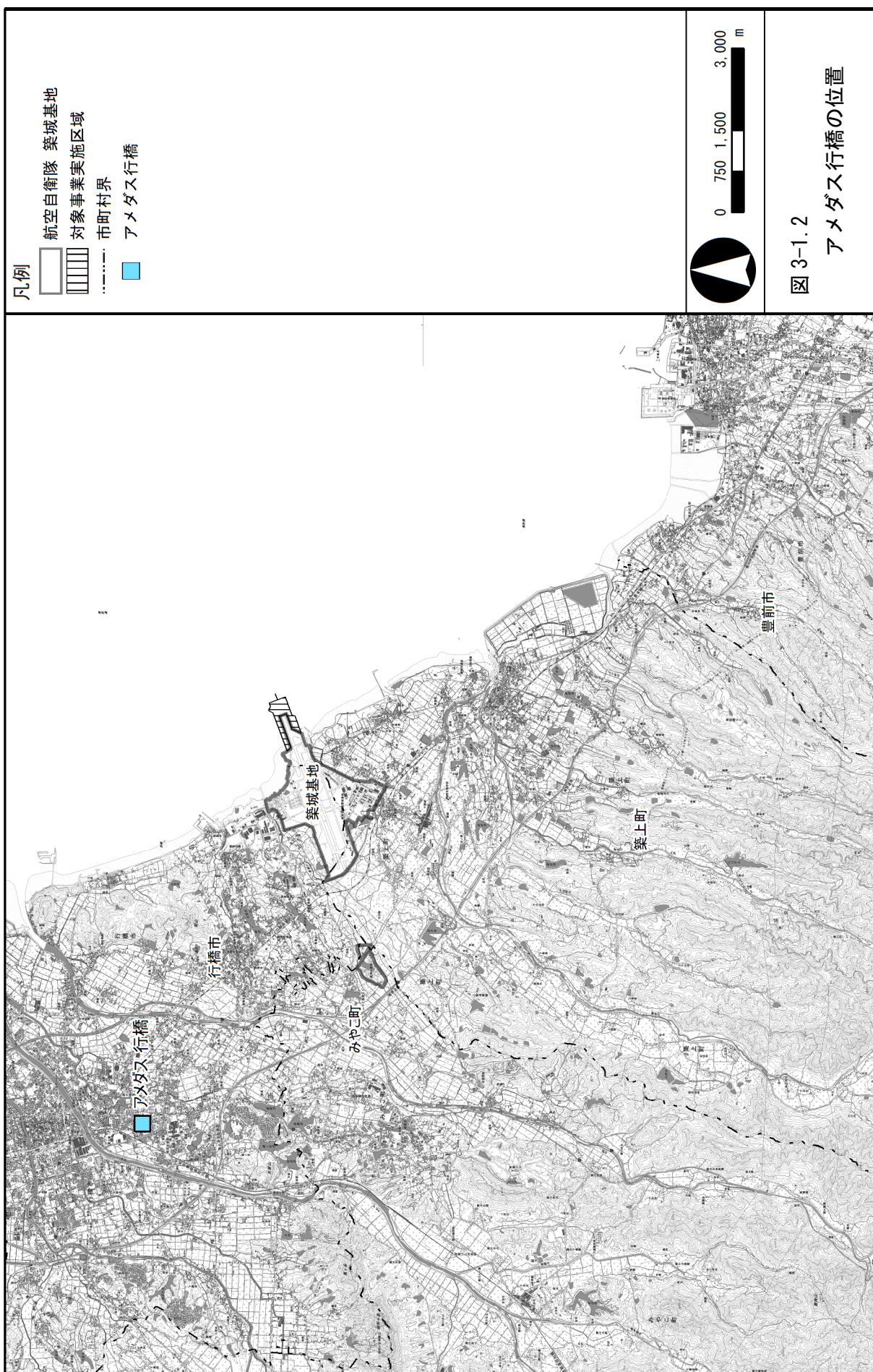
福岡県の気候は大きく日本海型、内陸型、山地型の3気候区に分けられています。対象事業実施区域は、図3-1.1に示すとおり福岡県の東側に位置し、気候区分は日本海型に属しています。

対象区域における気象は、図3-1.2に示す行橋地域気象観測所において、アメダスの「地域気象観測所 行橋」（以下、「アメダス 行橋」という。）として観測されています。



出典：「福岡の気象百年」平成2年1月1日 福岡管区気象台

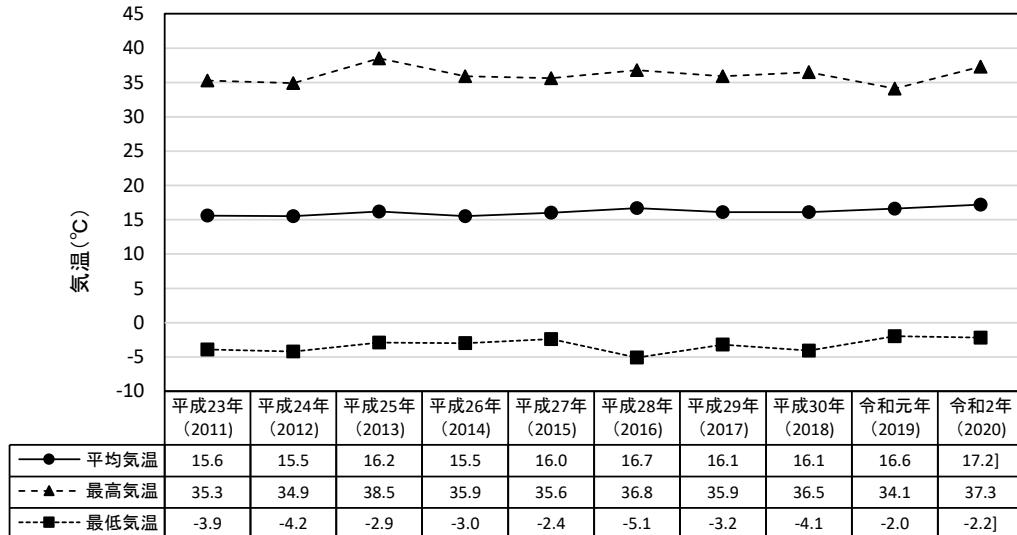
図3-1.1 福岡県の気候区分



出典：「地域気象観測所一覧」 令和3年3月18日現在 気象庁

(1) 気温

「アメダス 行橋」における平成23年（2011年）から令和2年（2020年）までの10年間の最高気温、最低気温、年間平均気温の状況を図3-1.3に示します。10年間の最高気温は38.5℃、最低気温は-5.1℃、年間平均気温は15.5～17.2℃となっています。

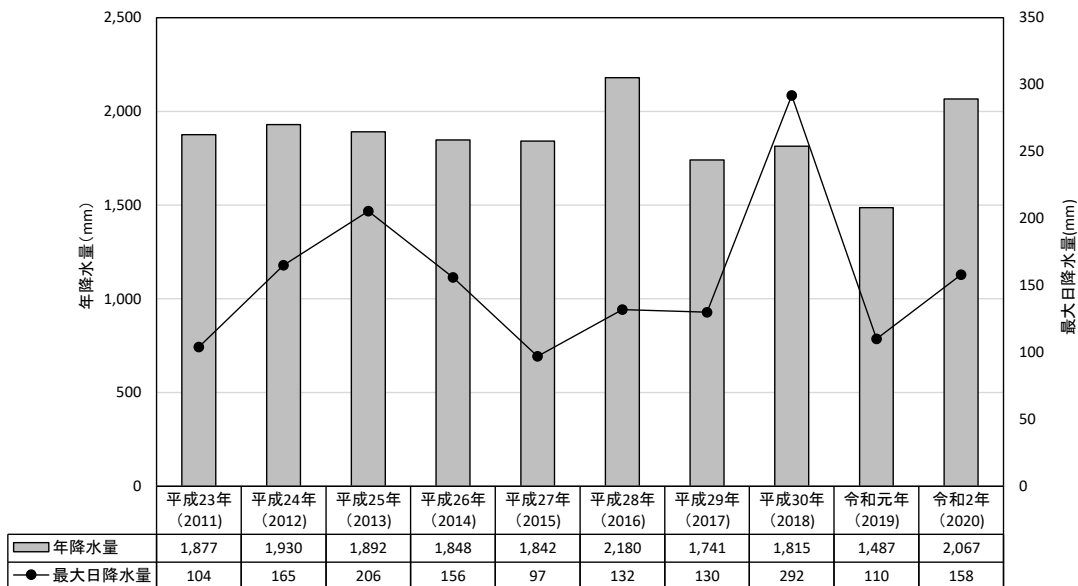


注：値欄の記号“]”は統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けていることを示します（資料不足値）。値そのものを信用することはできず、通常は上位の統計に用いませんが、極値、合計、度数等の統計ではその値以上（以下）であることが確実である、といった性質を利用して統計に利用できる場合があります。
出典：「過去の気象データ検索 年ごとの値」令和3年6月現在 気象庁

図3-1.3 気温の状況

(2) 降水量

「アメダス 行橋」における平成23年（2011年）から令和2年（2020年）までの10年間の年降水量、最大日降水量の状況を図3-1.4に示します。10年間の年降水量は1,487～2,180mm、最大日降水量は97～292mmとなっています。



出典：「過去の気象データ検索 年ごとの値」令和3年6月現在 気象庁

図3-1.4 降水量の状況

(3) 近年の気象の状況

「アメダス 行橋」における平成23年(2011年)～令和2年(2020年)の10年間の風速、風向の状況を表3-1.1に、令和2年(2020年)の月別の風速、風向、気温、降水量の状況を表3-1.2に、年間風配図を図3-1.5に示します。

10年間の平均風速は1.8～2.0m/s、最大風速は9.3～18.2m/s、最多風向は西南西となっています。令和2年(2020年)の年間降水量は2,066.5mm、年平均気温は17.2℃であり、風向は西南西の風が卓越しており、年平均風速は1.9m/sです。

表3-1.1 風速、風向の状況(平成23年～令和2年)

年	項目 平均風速 (m/s)	最大風速		最多風向 (-)
		風速 (m/s)	風向 (-)	
平成23年(2011)	2.0	9.3	西	西南西
平成24年(2012)	2.0	13.7	西南西	西南西
平成25年(2013)	2.0	10.5	西南西	西南西
平成26年(2014)	1.9	10.3	北西	西南西
平成27年(2015)	1.8	18.2	東北東	西南西
平成28年(2016)	1.8	11.2	西	西南西
平成29年(2017)	2.0	9.8	西	西南西
平成30年(2018)	2.0	15.1	西南西	西南西
令和元年(2019)	1.9	12.4	東北東	西南西
令和2年(2020)	1.9	13.5	東	西南西

出典：「過去の気象データ・ダウンロード」令和3年10月現在 気象庁

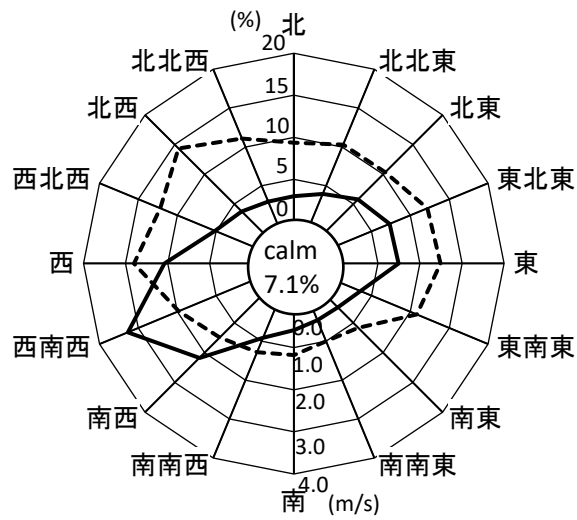
表3-1.2 風速、風向、気温、降水量の状況(令和2年)

月	項目 平均風速 (m/s)	最大風速		最多風向 (-)	気 温			降水量 合計 (mm)
		風速 (m/s)	風向 (-)		日平均 (℃)	最高 (℃)	最低 (℃)	
1月	2.0	10.9	西	西南西	8.0	20.1	-0.4	149.5
2月	2.0	10.2	西	西南西	7.5]	19.1]	-0.2]	89.5)
3月	2.1	12.6	西	西南西	10.6	22.8	-0.9	153.0
4月	2.4	9.7	西	西南西	12.9	22.2	2.7	94.5
5月	2.0	8.3	西	西南西	19.3	28.9	10.1	209.5
6月	2.0	7.8	東	西南西	23.7	31.9	16.0	353.0
7月	1.5	6.6	西	西南西	24.6	34.4	17.5	702.0
8月	1.8	8.4	東	西南西	28.8	37.3	22.6	22.0
9月	2.2	13.5	東	南西	23.6	32.8	13.2	168.5
10月	1.8	7.4	東	西南西	18.1	27.7	8.6	63.0
11月	1.6	8.4	西	西南西	13.2	26.2	3.7	20.5
12月	1.9	11.4	西	西南西	6.6	16.6	-2.2	41.5
年間値	1.9	13.5	東	西南西	17.2]	37.3	-2.2]	2,066.5

注1：値欄の記号“() ”は統計を行う対象資料が許容範囲で欠けていますが、上位の統計を用いる際には一部の例外を除いて正常値(資料が欠けていない)と同等に扱います(準正常値)。必要な資料数は、要素または現象、統計方法により若干異なりますが、全体数の80%を基準とします。

注2：値欄の記号“] ”は統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けていることを示します(資料不足値)。値そのものを信用することはできず、通常は上位の統計に用いませんが、極値、合計、度数等の統計ではその値以上(以下)であることが確実である、といった性質を利用して統計に利用できる場合があります。

出典：「過去の気象データ検索 月ごとの値」令和3年6月現在 気象庁



—— 出現頻度 - - - - 平均風速

Calm : 7.1% (風速 0.2m/s 以下)

出典 : 「過去の気象データ・ダウンロード」 令和 3 年 6 月現在 気象庁

図 3-1.5 年間風配図(令和 2 年)

1.1.2 大気質の状況

対象区域においては、大気常時測定局として一般環境大気測定局(豊前)が 1 地点存在していますが、自動車排出ガス測定局はありません。

降下ばいじんについては、行橋市及び豊前市の合計 10 地点で調査が行われています。また、ダイオキシン類については、平成 29 年度に行橋市の 1 地点、令和元年度に豊前市の 1 地点で調査が行われています。

なお、測定地点の位置は図 3-1.6 に示すとおりです。

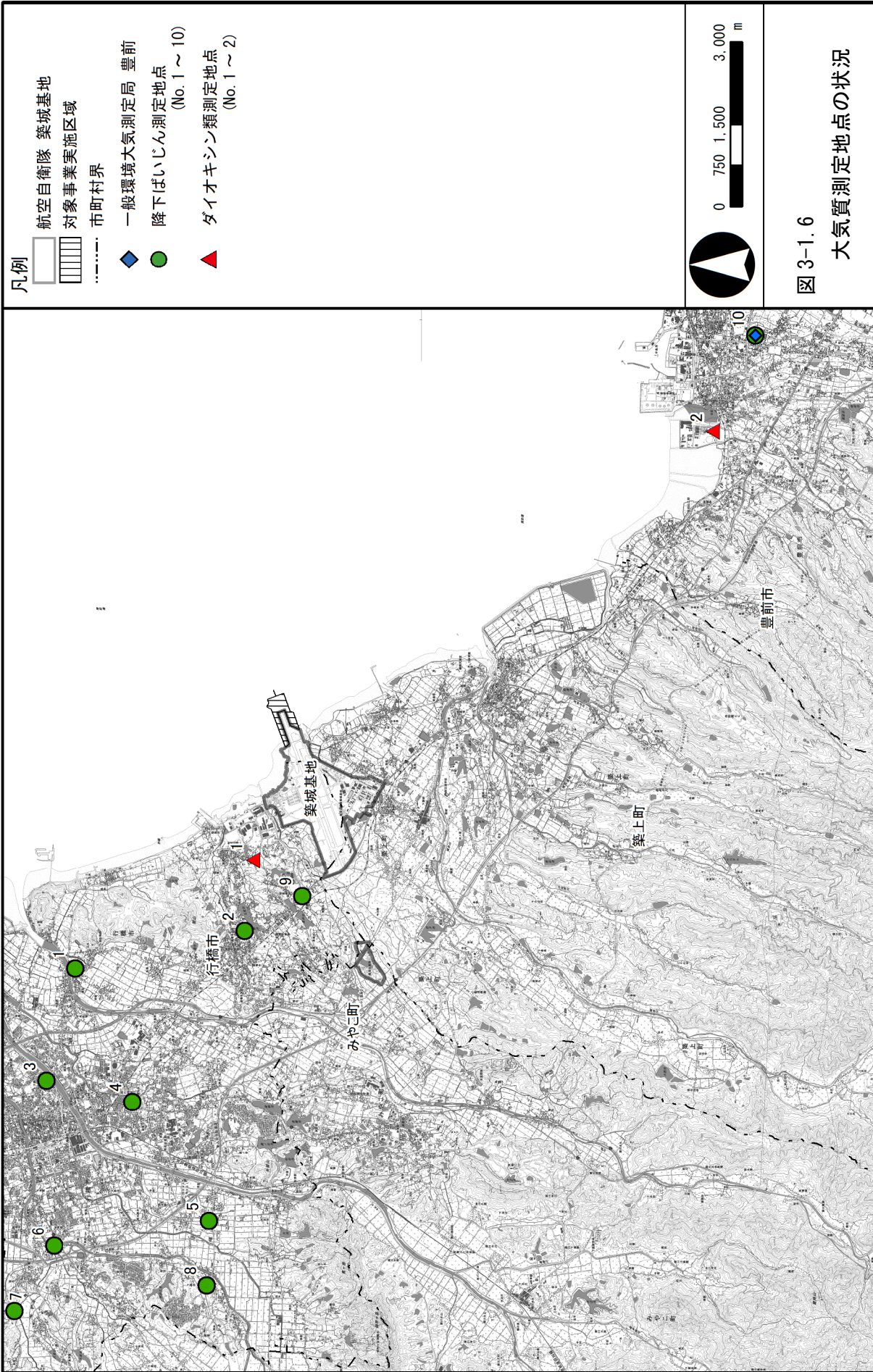


図 3-1.6

大気質測定地点の状況

出典：「平成 29 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 30 年 2 月 福岡県
「平成 30 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 31 年 1 月 福岡県
「令和元年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 2 年 1 月 福岡県
「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 3 年 1 月 福岡県
「平成 29 年度 大気・水質・土壌・騒音・振動に係る環境調査結果」平成 31 年 3 月 環境省
「令和元年度 大気・水質・土壌・騒音・振動に係る環境調査結果」令和 3 年 3 月 環境省
「指定管理者制度導入施設（学習等供用施設一覧）」令和 3 年 10 月現在 行橋市

(1) 二酸化硫黄の状況

豊前測定局における平成 28 年度～令和元年度の二酸化硫黄の調査結果を表 3-1.3 に示します。日平均値の 2%除外値、1 時間値の最高値は環境基準値を満たしています。

表 3-1.3 大気質調査結果（二酸化硫黄）

測定局		豊 前			
用途地域		—			
年 度		平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)
有効測定日数	(日)	365	365	363	348
測定時間	(時間)	8,715	8,718	8,691	8,324
年平均値	(ppm)	0.002	0.003	0.003	0.002
1 時間値の最高値	(ppm)	0.012	0.014	0.019	0.015
日平均値の 2%除外値	(ppm)	0.005	0.005	0.006	0.004
環 境 基 準		1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下であること。			

出典：「平成 29 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 30 年 2 月 福岡県
「平成 30 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 31 年 1 月 福岡県
「令和元年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 2 年 1 月 福岡県
「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 3 年 1 月 福岡県

(2) 一酸化炭素の状況

豊前測定局では、一酸化炭素の測定は行われていません。

(3) 浮遊粒子状物質の状況

豊前測定局における平成 28 年度～令和元年度の浮遊粒子状物質の調査結果を表 3-1.4 に示します。日平均値の 2%除外値、1 時間値の最高値は環境基準値を満たしています。

表 3-1.4 大気質調査結果（浮遊粒子状物質）

測定局		豊 前			
用途地域		—			
年 度		平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)
有効測定日数	(日)	363	365	364	348
測定時間	(時間)	8,715	8,748	8,735	8,352
年平均値	(mg/m ³)	0.022	0.021	0.021	0.020
1 時間値の最高値	(mg/m ³)	0.145	0.123	0.126	0.105
日平均値の 2%除外値	(mg/m ³)	0.054	0.043	0.050	0.041
環 境 基 準		1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m ³ 以下であること。			

出典：「平成 29 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 30 年 2 月 福岡県
「平成 30 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 31 年 1 月 福岡県
「令和元年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 2 年 1 月 福岡県
「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 3 年 1 月 福岡県

(4) 二酸化窒素等の状況

豊前測定局における平成 28 年度～令和元年度の窒素酸化物の調査結果を表 3-1.5 及び表 3-1.6 に示します。二酸化窒素については、日平均値の年間 98%値は環境基準値を満たしています。

表 3-1.5 大気質調査結果（二酸化窒素）

測定局		豊 前			
用途地域		—			
年 度		平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)
有効測定日数	(日)	365	365	365	348
測定時間	(時間)	8,720	8,719	8,715	8,325
年平均値	(ppm)	0.006	0.006	0.006	0.005
1 時間値の最高値	(ppm)	0.042	0.051	0.046	0.057
日平均値年間 98%値	(ppm)	0.011	0.016	0.011	0.011
環 境 基 準		1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内、又はそれ以下であること。			

出典：「平成 29 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 30 年 2 月 福岡県
「平成 30 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 31 年 1 月 福岡県
「令和元年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 2 年 1 月 福岡県
「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 3 年 1 月 福岡県

表 3-1.6 大気質調査結果（一酸化窒素）

測定局		豊 前			
用途地域		—			
年 度		平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)
有効測定日数	(日)	365	365	365	348
測定時間	(時間)	8,720	8,719	8,715	8,325
年平均値	(ppm)	0.003	0.004	0.002	0.001
1 時間値の最高値	(ppm)	0.069	0.204	0.035	0.070
日平均値年間 98%値	(ppm)	0.011	0.031	0.005	0.004

出典：「平成 29 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 30 年 2 月 福岡県
「平成 30 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 31 年 1 月 福岡県
「令和元年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 2 年 1 月 福岡県
「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 3 年 1 月 福岡県

(5) 光化学オキシダントの状況

豊前測定局における平成 28 年度～令和元年度の光化学オキシダントの調査結果を表 3-1.7 に示します。昼間の 1 時間値は環境基準値を超過した日があります。

表 3-1.7 大気質調査結果（光化学オキシダント）

測定局		豊 前			
用途地域		—			
年 度		平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)
昼間の測定日数	(日)	365	365	365	354
昼間の測定時間	(時間)	5,455	5,457	5,458	5,273
昼間の 1 時間値の年平均値	(ppm)	0.031	0.031	0.030	0.029
昼間の 1 時間値の最高値	(ppm)	0.115	0.111	0.120	0.115
昼間の日最高 1 時間値の 年平均値	(ppm)	0.051	0.051	0.051	0.047
昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超えた日数と時間数	(日)	108	111	107	81
	(時間)	485	605	531	369
環 境 基 準		1 時間値が 0.06ppm 以下であること。			

出典：「平成 29 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 30 年 2 月 福岡県
「平成 30 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 31 年 1 月 福岡県
「令和元年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 2 年 1 月 福岡県
「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 3 年 1 月 福岡県

(6) 微小粒子状物質の状況

豊前測定局における平成 28 年度～令和元年度の微小粒子状物質の調査結果を表 3-1.8 に示します。年平均値、日平均値の年間 98%値は環境基準値を満たしています。

表 3-1.8 大気質調査結果（微小粒子状物質）

測定局		豊 前			
用途地域		—			
年 度		平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)
有効測定日数	(日)	362	359	360	346
年平均値	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	14.7	15.0	13.5	10.8
日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ を 超えた日数と割合	(日)	1	5	3	0
	(%)	0.3	1.4	0.8	0.0
日平均値の年間 98%値	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	29.1	33.3	32.3	24.5
環 境 基 準		1 年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1 日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。			

出典：「平成 29 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 30 年 2 月 福岡県
「平成 30 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 31 年 1 月 福岡県
「令和元年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 2 年 1 月 福岡県
「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 3 年 1 月 福岡県

(7) 降下ばいじんの状況

平成 28 年度～令和元年度の降下ばいじんの調査結果を表 3-1.9 に示します。なお、降下ばいじんには環境基準は設定されていませんが、全ての地点で評価の参考値とされている 20t/km²/月を満たしています。

表 3-1.9 大気質調査結果（降下ばいじん）

市町	図番号	測定地点名	降下ばいじん(t/km ² /月)			
			平成 28 年度 (2016 年)	平成 29 年度 (2017 年)	平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)
行橋市	1	今元小学校	2.1	2.3	2.2	2.4
	2	仲津小学校	2.5	(2.3)	—	—
	3	行橋市役所	1.7	1.3	1.4	2.1
	4	行橋高等学校	2.5	3.1	1.7	2.0
	5	今川小学校	1.9	3.0	1.9	2.1
	6	延永小学校	2.7	3.3	2.4	3.1
	7	長峡中学校	3.1	5.0	4.1	3.3
	8	稗田小学校	8.9	1.5	2.8	2.3
	9	稲童工業団地入口	2.2	1.3	2.0	4.3
豊前市	10	豊前市役所	0.9	0.8	0.3	0.8
評価の参考値			20t/km ² /月以下			

注 1：表中の番号は図 3-1.6 に対応します。

注 2：欠測は“—”で示しています。

注 3：年度を通じて測定時間が 6000 時間に達しない場合の年平均値は（ ）で示します。

注 4：環境を保全する上での降下ばいじん量は、スパイクタイヤ粉じんにおける生活環境の保全が必要な地域の指標（「スパイクタイヤ粉じんの発生の防止に関する法律の施行について」平成 2 年 7 月 3 日 環大自第 84 号）を参考とした 20t/km²/月が評価の参考値とされています。

出典：「平成 29 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 30 年 2 月 福岡県
 「平成 30 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 31 年 1 月 福岡県
 「令和元年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 2 年 1 月 福岡県
 「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 3 年 1 月 福岡県

(8) ダイオキシン類の状況

平成 29 年度及び令和元年度のダイオキシン類の調査結果を表 3-1.10 に示します。ダイオキシン類の年平均値は環境基準値を満たしています。平成 28 年度及び平成 30 年度は対象区域においてダイオキシン類の測定は行われていません。

表 3-1.10 大気質調査結果（ダイオキシン類）

図番号	1	2
測定地点	行橋市 大字稲童	豊前市 八屋
測定日時	平成 29 年 7 月 18 日～7 月 25 日	令和元年 7 月 24 日～8 月 1 日
年平均値	(pg-TEQ/m ³) 0.0072	0.0076
環境基準	1 年平均値が 0.6pg-TEQ/m ³ 以下であること。	

出典：「平成 29 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 30 年 2 月 福岡県
 「平成 30 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 31 年 1 月 福岡県
 「令和元年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 2 年 1 月 福岡県
 「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 3 年 1 月 福岡県

1.1.3 騒音の状況

対象区域においては、環境騒音の測定は実施されていません。

道路交通騒音については、表 3-1.11 に示すとおり過去の調査結果から環境基準の達成状況の評価が行われているほか、表 3-1.12 に示す 2 地点で測定が行われています。対象区域における道路交通騒音の評価区間及び測定地点を図 3-1.7 に示します。

環境基準の達成状況について、東九州自動車道、一般国道 496 号及び県道 34 号行橋添田線は全ての地点で達成率 100%となっていますが、一般国道 10 号、一般国道 201 号及び県道 58 号椎田勝山線では環境基準を達成していない箇所が見られました。また、要請限度との比較では、2 地点ともに昼夜とも道路交通騒音の要請限度を下回っています。

表 3-1.11 道路交通騒音の状況

番号	路線名	評価区間		延長 (km)	騒音 測定 年度	環境基準達成率(%)						
		始点	終点			昼間・夜 間とも基 準値以下	昼間のみ 基準値 以下	夜間のみ 基準値 以下	昼間・夜 間とも基 準値超過			
1	東九州自動車道		大字延永	大字吉国	1.5	2017	100.0	0.0	0.0	0.0		
2			大字吉国	大字流末	2.4	2017	100.0	0.0	0.0	0.0		
3			大字流末	南泉 7 丁目 37	3.4	2017	100.0	0.0	0.0	0.0		
4	一般国道 10 号	行橋市	行事 1 丁目 16	大字金屋	1.8	2012	82.9	8.6	0.0	8.6		
5			大字金屋	大字金屋	0.1	2012	100.0	0.0	0.0	0.0		
6			大字金屋	大字今井	0.3	2012	100.0	0.0	0.0	0.0		
7			大字今井	大字今井	1.0	2012	100.0	0.0	0.0	0.0		
8			大字今井	大字辻垣	1.1	2012	86.4	13.6	0.0	0.0		
9			大字辻垣	大字道場寺	1.7	2017	75.9	24.1	0.0	0.0		
10			大字道場寺	大字稲童	1.9	2017	81.6	16.0	0.0	2.5		
11			大字辻垣	大字道場寺	1.8	2012	69.2	15.4	0.0	15.4		
12			大字長木	大字吉国	1.6	2012	71.1	16.7	0.0	12.3		
13			一般国道 201 号	行橋市	大字吉国	大字中津熊	0.9	2012	46.8	0.0	0.0	53.2
14					大字中津熊	大字草野	0.9	2012	73.8	3.7	0.0	22.4
15	大字草野	行事 7 丁目 12			0.1	2012	100.0	0.0	0.0	0.0		
16	行事 7 丁目 12	行事 1 丁目 3			0.9	2012	71.1	3.8	0.0	25.2		
17	行事 1 丁目 2	行事 3 丁目 29			1.2	2012	94.4	4.4	0.0	1.2		
18	大字吉国	大字吉国			0.4	2012	100.0	0.0	0.0	0.0		
19	一般国道 496 号	行橋市	行事 7 丁目 11	西宮市 3 丁目 1	1.5	2012	100.0	0.0	0.0	0.0		
20			西宮市 3 丁目 1	南大橋 5 丁目 1	0.9	2012	100.0	0.0	0.0	0.0		
21			南大橋 5 丁目 1	南大橋 5 丁目 1	0.1	2012	100.0	0.0	0.0	0.0		
22			南大橋 5 丁目 5	南大橋 4 丁目 13	0.4	2012	100.0	0.0	0.0	0.0		
23			南大橋 4 丁目 13	泉中央 3 丁目 2	1.0	2012	100.0	0.0	0.0	0.0		
24			泉中央 3 丁目 2	南泉 1 丁目 11	1.0	2012	100.0	0.0	0.0	0.0		
25			南泉 1 丁目 11	南泉 6 丁目 5	1.4	2012	100.0	0.0	0.0	0.0		
26	県道 34 号行橋添田線		西宮市 3 丁目 1	西泉 4 丁目 1	1.5	2012	100.0	0.0	0.0	0.0		
27	一般国道 201 号	みやこ町	勝山黒田	勝山黒田	0.7	2017	42.9	21.4	0.0	35.7		
28			勝山黒田	勝山黒田	1.3	2017	50.0	6.7	0.0	43.3		
29	県道 58 号 椎田勝山線	みやこ町	勝山大久保	勝山大久保	0.3	2017	100.0	0.0	0.0	0.0		
30			勝山大久保	勝山大久保	1.7	2017	63.2	36.8	0.0	0.0		

注 1：番号は図 3-1.7 の評価区間番号に対応しています。

注 2：表中網掛け部は環境基準値を達成していないことを示しています。

注 3：時間区分は次に示すとおりです。昼間：6 時～22 時 夜間：22 時～6 時

出典：「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 3 年 1 月 福岡県

表 3-1.12 道路交通騒音測定結果(要請限度)

単位：dB

図番号	測定地点	路線名	区域の区分	車線数	測定年月日	等価騒音レベル		要請限度超過状況		要請限度	
						昼	夜	昼	夜	昼	夜
1	豊前市大字千束 167	国道 10 号	b	4	2019. 3. 12-3. 13	62	60	○	○	75	70
2	豊前市大字八屋 2009-3	県道 113 号	b	2	2019. 3. 17-3. 18	61	58	○	○	75	70

注 1：図番号は図 3-1.7 の測定地点番号に対応しています。

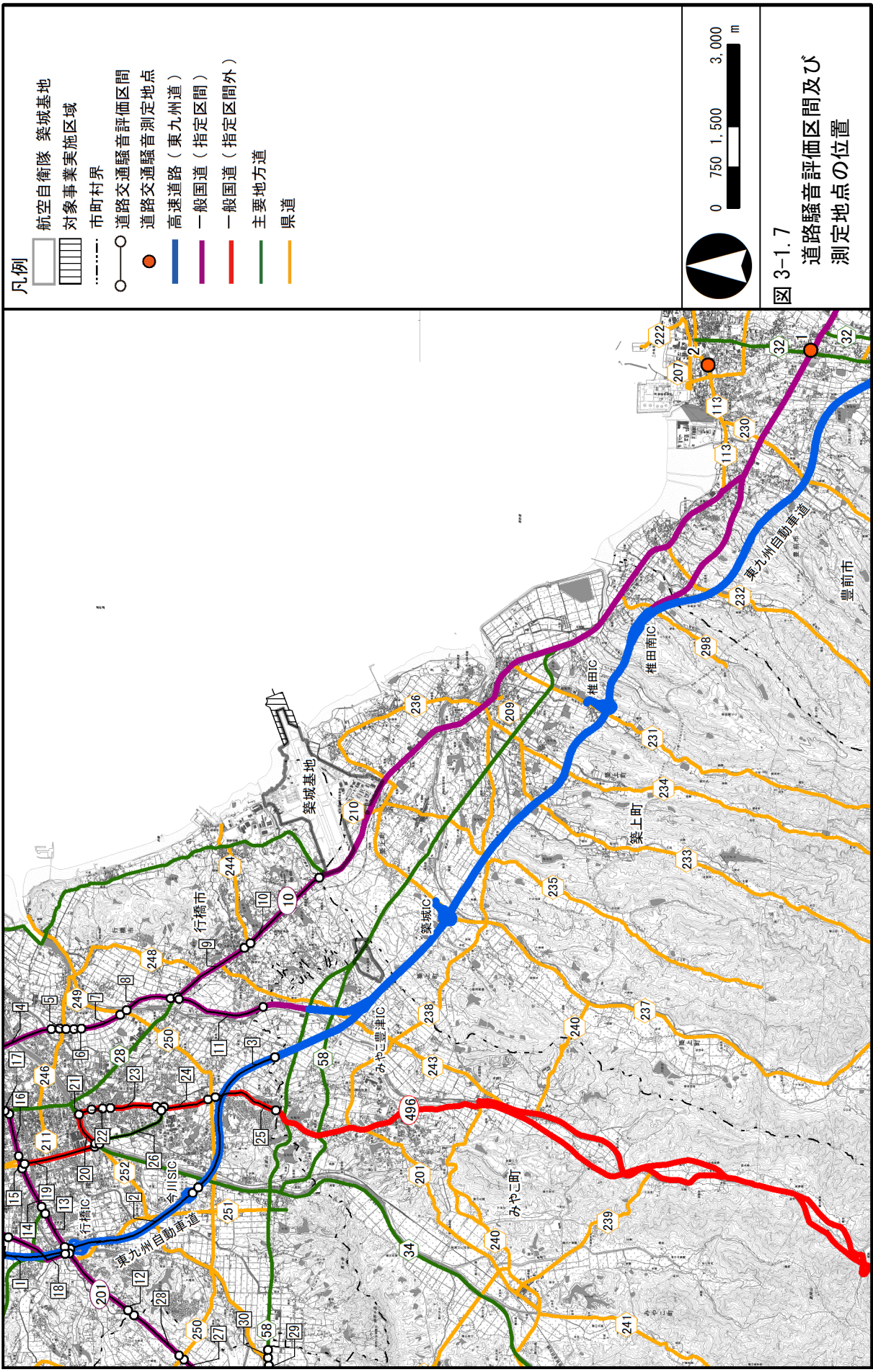
注 2：「区域の区分」については、「自動車騒音の限度（要請限度）における区域の区分」（a, b, c）を示しています。

注 3：要請限度超過状況の“○”は、要請限度値以下であることを示しています。

注 4：時間区分は次に示すとおりです。昼間：6 時～22 時 夜間：22 時～6 時

注 5：dB とは、計量法(平成 4 年 5 月 20 日法律第 51 号、最終改正：平成 26 年 6 月 13 日法律第 69 号)に定める音圧レベルの計量単位をいいます。

出典：「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 3 年 1 月 福岡県



出典：「令和2年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和3年1月 福岡県
「環境展望台 環境GIS 道路騒音の常時監視結果」令和3年6月現在 国立研究開発法人 国立環境研究所

1.1.4 航空機騒音の状況

対象区域においては、九州防衛局、福岡県及び行橋市による航空機騒音の測定が行われております。測定結果を表 3-1.13～表 3-1.15 に、測定地点を図 3-1.8 に示します。

平成 28 年度～令和 2 年度の九州防衛局による調査では、調査地点 6 地点全てで環境基準を超過する日が見られ、令和 2 年度の調査では、調査地点 6 地点のうち 5 地点で環境基準を超過する日が見られました。平成 28 年度～令和元年度の福岡県による短期測定(2 週間)では、調査地点 10 地点のうち 2 地点で環境基準を超過しており、福岡県による常時測定では、測定を行った各年度とも環境基準を超過しています。

また、平成 28 年度～令和元年度の行橋市による調査では、騒音レベルの日最大値は 100.7～111.2dB となっています。令和 2 年 10 月～令和 3 年 9 月の調査では、調査地点である仲津小学校で令和 3 年 1 月から L_{den} ^{注)} の測定が行われており、環境基準を超過する日が見られます。

注： L_{den} とは、騒音に係る環境基準に示される評価指標で、時間帯補正等価騒音レベルを示します。

表 3-1.13(1) 航空自衛隊築城基地周辺における航空機騒音測定結果
平成 28 年度～令和 2 年度 (九州防衛局)

図番号	地点名	類型	調査項目	測定結果 (L _{den} ・WECPNL：最低値～最高値、発生回数：年合計)				
				平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
1	個人宅 (行橋市)	II	L _{den}	24.5	23.7	25.1	25.9	26.1
				71.5	59.3	57.7	56.7	55.6
			WECPNL	43.2	43.1	43.1	43.1	43.1
				88.8	75.1	71.6	71.6	74.5
発生回数	2,948		2,597	2,897	2,506	1,953		
2	個人宅 (築上町)		L _{den}	24.7	28.0	26.1	25.4	25.1
				63.6	68.7	61.5	61.1	64.0
			WECPNL	43.1	44.3	43.2	43.1	43.2
				78.4	86.7	77.0	76.4	78.5
発生回数	3,717		4,157	4,117	3,277	2,714		
3	個人宅 (みやこ町)		L _{den}	26.9	29.3	24.8	25.4	26.3
				71.6	72.4	74.0	74.8	71.6
		WECPNL	43.4	45.3	43.1	43.3	43.5	
			86.9	86.6	88.5	88.8	86.3	
発生回数	7,136	7,369	7,342	5,358	2,855			
4	稲童第 4 地区学習 等供用施設 (行橋市)	L _{den}	27.1	25.1	24.5	25.7	26.5	
			72.0	73.4	70.8	69.7	68.7	
		WECPNL	43.1	43.1	43.1	43.8	43.5	
			88.7	91.3	87.7	87.1	86.3	
発生回数	9,031	9,336	9,820	8,953	6,569			
5	築城地区学習等供 用施設 (築上町)	L _{den}	28.1	25.1	24.6	25.4	25.3	
			69.4	70.1	72.3	70.9	67.8	
		WECPNL	43.6	43.1	43.0	43.0	43.3	
			85.5	87.7	89.0	87.3	85.4	
発生回数	11,835	12,947	13,976	11,978	10,221			
6	節丸地区学習等供 用施設 (みやこ町)	L _{den}	30.5	28.5	24.5	27.2	23.5	
			69.9	64.5	65.4	66.0	62.7	
		WECPNL	47.8	43.3	43.1	43.1	43.1	
			82.3	79.2	81.8	78.7	78.6	
発生回数	2,436	2,622	2,800	2,083	1,961			

注 1：図番号は図 3-1.8 に対応しています。なお、図番号 1～3 は個人宅調査のため詳細な位置は公表されていません。

注 2：数値は速報値のため後日、修正されることがあります。

注 3：表中網掛け部は四捨五入した値が、環境基準値：II 類型(L_{den}62dB)を超過したことを示しています。

注 4：表中の値は日別の最大騒音レベルに対する、年間の最小値及び最大値を表します。

出典：「平成 28 年度～令和 2 年度 飛行場周辺の航空機騒音状況」令和 3 年 10 月現在 九州防衛局

表 3-1.13(2) 航空自衛隊築城基地周辺における航空機騒音測定結果
令和 2 年度 (九州防衛局)

図番号	地点名	類型	調査項目	測定結果 (L _{den} ・WECPNL：最低値～最高値、発生回数：月合計)											
				令和 2 年度											
				4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1	個人宅 (行橋市)	II	L _{den}	28.1	32.7	30.4	28.9	34.2	31.4	31.4	26.3	26.1	30.8	37.3	28.2
				～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
			WECPNL	53.9	54.9	51.9	55.6	48.3	46.6	53.4	55.5	55.4	53.6	53.6	52.5
				45.3	43.5	45.4	43.3	49.1	47.3	46.5	43.1	43.6	43.2	49.9	44.7
発生回数				68.3	70.5	66.1	74.5	63.3	60.5	68.1	68.4	68.7	68.6	68.0	66.4
発生回数				288	206	167	71	90	70	129	206	274	143	165	144
2	個人宅 (築上町)	II	L _{den}	32.0	33.0	34.9	30.1	35.3	31.9	32.9	33.8	28.4	37.3	33.9	25.1
				～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
			WECPNL	64.0	62.8	54.1	54.0	50.9	53.2	55.7	58.0	60.0	56.0	61.3	59.3
				43.2	47.5	50.2	47.0	46.4	46.3	47.0	46.7	46.8	52.9	48.6	43.5
発生回数				74.0	78.5	69.3	66.9	64.0	70.9	69.8	69.4	76.1	70.3	75.1	73.9
発生回数				357	197	158	161	109	95	278	286	389	240	240	204
3	個人宅 (みやこ町)	II	L _{den}	27.2	35.0	33.4	43.8	41.4	26.3	46.2	30.8	27.6	37.2	28.2	32.4
				～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
			WECPNL	63.4	61.1	59.9	62.9	57.3	62.4	71.1	71.6	70.8	69.2	69.0	66.3
				44.8	49.8	48.1	59.5	56.7	45.6	61.8	44.9	44.5	51.1	43.5	49.9
発生回数				78.3	76.2	74.5	80.1	71.9	76.7	85.4	86.3	85.4	82.9	83.0	79.8
発生回数				39	33	22	20	21	144	565	464	482	320	350	395
4	稲童第 4 地区学習等供用施設 (行橋市)	II	L _{den}	26.5	34.8	34.4	31.7	28.6	30.2	27.6	30.3	37.3	29.0	32.0	46.2
				～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
			WECPNL	62.9	63.4	62.6	63.1	62.0	60.1	57.0	63.0	68.7	63.4	61.5	62.5
				44.2	52.3	52.0	43.5	48.0	48.3	45.8	43.5	52.2	45.4	48.1	61.0
発生回数				77.8	77.4	79.0	80.2	76.6	74.6	72.3	78.1	86.3	79.2	76.6	78.8
発生回数				866	905	656	318	423	196	377	508	914	455	462	489
5	築城地区学習等供用施設 (築上町)	II	L _{den}	29.2	32.3	25.7	29.4	32.6	27.4	27.9	29.6	25.3	34.6	28.4	26.6
				～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
			WECPNL	64.4	67.0	62.2	67.2	61.2	57.8	63.4	63.5	67.8	65.9	61.7	63.9
				46.0	50.4	44.0	44.0	46.6	44.9	43.5	48.0	43.3	50.4	45.0	43.7
発生回数				79.2	85.4	78.3	83.3	75.7	73.0	76.5	77.4	84.8	79.9	76.0	78.8
発生回数				1,196	1,356	906	815	804	316	824	900	1,173	624	606	701
6	節丸地区学習等供用施設 (みやこ町)	II	L _{den}	32.3	37.6	26.7	30.0	23.5	26.0	28.9	32.6	33.7	29.4	31.5	38.5
				～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
			WECPNL	62.7	62.6	58.8	60.2	59.0	61.4	61.2	62.1	61.4	60.5	60.0	58.3
				44.1	46.2	43.1	47.4	43.2	43.2	43.9	49.4	46.6	46.0	47.7	52.3
発生回数				76.5	78.6	71.2	71.6	71.6	71.6	74.6	75.8	74.2	74.0	73.2	71.6
発生回数				270	186	148	99	92	89	179	207	236	146	192	117

注 1：図番号は図 3-1.8 に対応しています。なお、図番号 1～3 は個人宅調査のため詳細な位置は公表されていません。

注 2：数値は速報値のため後日、修正されることがあります。

注 3：表中網掛け部は四捨五入した値が、環境基準値：II 類型 (L_{den}62dB) を超過したことを示しています。

注 4：表中の値は日別の最大騒音レベルに対する、年間の最小値及び最大値を表します。

出典：「令和 2 年度 飛行場周辺の航空機騒音状況」令和 3 年 10 月現在 九州防衛局

表 3-1.14(1) 航空自衛隊築城基地周辺における航空機騒音測定結果（福岡県：短期測定）

図番号	地点名	類型	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
			測定期間	L _{den} 値 (測定日数)	測定期間	L _{den} 値 (測定日数)	測定期間	L _{den} 値 (測定日数)	測定期間	L _{den} 値 (測定日数)
7	仲津小学校	II	H28.10.29 ～ H28.11.11	55 (14)	H29.12.1 ～ H29.12.14	58 (14)	H30.9.28 ～ H30.10.11	54 (14)	R1.5.30 ～ R1.6.12	56 (14)
8	祓郷小学校		H28.10.29 ～ H28.11.11	58 (14)	H29.12.8 ～ H29.12.21	60 (14)	H30.9.28 ～ H30.10.11	57 (14)	R1.5.29 ～ R1.6.11	53 (14)
9	高崎公民館		H28.10.29 ～ H28.11.11	47 (14)	H29.12.1 ～ H29.12.14	51 (14)	H30.9.28 ～ H30.10.11	47 (14)	R1.5.29 ～ R1.6.11	44 (14)
10	節丸中央学習 等供用施設		H28.10.29 ～ H28.11.11	55 (14)	H29.12.1 ～ H29.12.14	59 (14)	H30.9.28 ～ H30.10.11	54 (14)	R1.5.29 ～ R1.6.11	50 (14)
11	みやこ町役場 犀川支所		H28.10.29 ～ H28.11.11	51 (14)	H29.12.1 ～ H29.12.14	52 (14)	H30.9.28 ～ H30.10.11	49 (14)	—	—
12	みやこ町中央 公民館		—	—	—	—	—	—	R1.5.29 ～ R1.6.11	47 (14)
13	安武地区学習 等供用施設		H28.10.29 ～ H28.11.11	58 (14)	H29.12.1 ～ H29.12.14	61 (14)	H30.9.28 ～ H30.10.11	55 (14)	R1.6.6 ～ R1.6.19	53 (14)
14	築城中学校		H28.10.29 ～ H28.11.11	58 (14)	—	—	—	—	—	—
15	築城小学校	—	—	H30.2.1 ～ H30.2.14	64 (14)	H30.10.5 ～ H30.10.18	62 (14)	R1.6.11 ～ R1.6.24	65 (14)	
16	八津田小学校	H28.10.29 ～ H28.11.11	63 (14)	H29.12.1 ～ H29.12.14	67 (14)	H30.9.28 ～ H30.10.11	63 (14)	R1.5.29 ～ R1.6.11	67 (14)	

注1：図番号は図 3-1.8 に対応しています。

注2：表中網掛け部は四捨五入した値が、環境基準値：II 類型(L_{den}62dB)を超過したことを示しています。

注3：L_{den} 値は平均値を示します。

出典：「平成 29 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 30 年 2 月 福岡県
 「平成 30 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 31 年 1 月 福岡県
 「令和元年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 2 年 1 月 福岡県
 「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 3 年 1 月 福岡県

表 3-1.14(2) 航空自衛隊築城基地周辺における航空機騒音測定結果（福岡県：常時測定）

図番号 (基準)	地点名	測定期間	有効測定 週数	測定期間内の L_{den} (dB) (1 週間値) の平均値						騒音 発生 回数 (日平均)
				1 週	2 週	3 週	4 週	5 週	平均	
17 (Ⅱ類型)	弓の師学習等供用施設	H28. 3. 27 ~ H28. 4. 30	5	61	63	66	63	60	63	18
		H28. 5. 1 ~ H28. 5. 28	4	37	64	61	62		61	22
		H28. 5. 29 ~ H28. 6. 25	4	57	59	62	66		62	32
		H28. 6. 26 ~ H28. 7. 30	5	59	52	64	50	61	59	18
		H28. 7. 31 ~ H28. 8. 27	4	59	52	54	62		59	27
		H28. 8. 28 ~ H28. 9. 24	4	66	64	64	38		63	22
		H28. 9. 25 ~ H28. 10. 29	5	58	56	59	64	(48)	(60)	33
		H28. 10. 30 ~ H28. 11. 26	—	—	—	—	—		—	—
		H28. 11. 27 ~ H28. 12. 31	—	—	—	—	—		—	—
		H29. 1. 1 ~ H29. 1. 28	—	—	—	—	—		—	—
		H29. 1. 29 ~ H29. 2. 25	—	—	—	—	—		—	—
H29. 2. 26 ~ H29. 3. 25	—	—	—	—	—		—	—		
		H28. 3. 27 ~ H29. 3. 25	31						(61)	15
18 (Ⅱ類型)	築上町役場築城支所	H30. 4. 1 ~ H30. 4. 28	4	61	62	60	59		61	58
		H30. 4. 29 ~ H30. 5. 26	4	43	60	60	62		60	33
		H30. 5. 27 ~ H30. 6. 30	5	58	57	60	57	56	58	44
		H30. 7. 1 ~ H30. 7. 28	4	55	58	60	57		58	35
		H30. 7. 29 ~ H30. 8. 25	4	56	57	38	56		55	28
		H30. 8. 26 ~ H30. 9. 29	5	57	56	58	57	58	57	36
		H30. 9. 30 ~ H30. 10. 27	4	58	59	60	63		60	47
		H30. 10. 28 ~ H30. 11. 24	4	61	61	64	67		64	57
		H30. 11. 25 ~ H30. 12. 29	5	66	58	59	57	47	61	35
		H30. 12. 30 ~ H31. 1. 26	4	49	60	59	60		59	42
	H31. 1. 27 ~ H31. 2. 23	4	60	60	60	55		59	35	
	H31. 2. 24 ~ H31. 3. 30	5	47	60	61	59	52	58	31	
	H30. 4. 1 ~ H31. 3. 30	52						60	40	
	令和元年度	H31. 3. 31 ~ H31. 4. 27	4	59	60	61	56		59	56
		H31. 4. 28 ~ R1. 5. 25	4	53	59	60	58		59	42
		R1. 5. 26 ~ R1. 6. 29	5	58	58	60	59	57	59	38
		R1. 6. 30 ~ R1. 7. 27	4	60	58	56	58		58	32
		R1. 7. 28 ~ R1. 8. 24	4	58	54	46	57		56	20
		R1. 8. 25 ~ R1. 9. 28	5	57	59	57	58	61	59	39
		R1. 9. 29 ~ R1. 10. 26	4	58	57	61	56		58	30
R1. 10. 27 ~ R1. 11. 23		4	60	59	61	61		60	48	
R1. 11. 24 ~ R1. 12. 28		5	62	68	64	57	46	63	35	
R1. 12. 29 ~ R2. 1. 25		4	47	61	57	60		59	28	
R2. 1. 26 ~ R2. 2. 22	4	59	59	58	60		59	38		
R2. 2. 23 ~ R2. 3. 28	5	61	59	60	59	50	59	34		
		H31. 3. 31 ~ R2. 3. 28	52						59	34

注1：図番号は図 3-1.8 に対応しています。

注2：「—」は機器異常のため欠測を示します。

注3：平成 29 年度は測定局移設に伴い年間を通じて欠測です。

注4：() 内の数字は、欠測日を除外して算出した週または月の平均値を示します。

注5：表中網掛け部は四捨五入した値が、環境基準値：Ⅱ類型 (L_{den} 62dB) を超過したことを示しています。

出典：「平成 29 年度版 公害関係測定結果 (大気・水質・土壌・騒音・振動)」平成 30 年 2 月 福岡県

「平成 30 年度版 公害関係測定結果 (大気・水質・土壌・騒音・振動)」平成 31 年 1 月 福岡県

「令和元年度版 公害関係測定結果 (大気・水質・土壌・騒音・振動)」令和 2 年 1 月 福岡県

「令和 2 年度版 公害関係測定結果 (大気・水質・土壌・騒音・振動)」令和 3 年 1 月 福岡県

表 3-1.15(1) 航空自衛隊築城基地周辺における航空機騒音測定結果
平成 28 年度～令和 2 年度（行橋市）

図番号 (基準)	地点名	項目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
19 (Ⅱ 類型)	仲津小学校屋上	騒音レベル (dB)	70.7 ～ 109.3	70.8 ～ 111.2	70.1 ～ 100.7	—	70.3 ～ 103.0
		L _{den} (dB)	—	—	—	—	35.9 ～ 63.3
		WECPNL	43.7 ～ 87.5	43.8 ～ 86.0	43.1 ～ 82.2	—	43.3 ～ 82.0

注 1：図番号は図 3-1.8 に対応しています。

注 2：令和元年度の測定は行われていません。

注 3：表中網掛け部は四捨五入した値が、環境基準値：Ⅱ類型(L_{den}62dB)を超過したことを示しています。

注 4：騒音レベルは日最大値の最小値及び最大値を示します。

出典：「市が観測している航空機騒音データ」令和 3 年 10 月現在 行橋市

表 3-1.15(2) 航空自衛隊築城基地周辺における航空機騒音測定結果（行橋市）

図番号 (基準)	地点名	項目	令和 2 年度						令和 3 年度					
			10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
19 (Ⅱ 類型)	仲津 小学校 屋上	騒音 レベル (dB)	76.2 ～ 93.9	70.3 ～ 97.9	85.4 ～ 103.0	84.9 ～ 95.0	76.2 ～ 96.5	85.0 ～ 100.6	70.4 ～ 96.0	78.7 ～ 92.7	82.2 ～ 95.8	71.3 ～ 97.5	81.8 ～ 90.4	80.0 ～ 98.3
		L _{den} (dB)	—	—	—	48.6 ～ 63.3	35.9 ～ 59.4	48.1 ～ 62.9	29.2 ～ 64.5	39.6 ～ 61.1	51.6 ～ 65.0	29.5 ～ 69.1	44.3 ～ 60.5	51.9 ～ 65.3
		WECPNL	58.4 ～ 74.8	43.3 ～ 78.5	67.4 ～ 82.0	62.1 ～ 77.5	49.2 ～ 74.5	62.8 ～ 78.7	43.4 ～ 77.0	54.1 ～ 76.2	64.8 ～ 77.2	47.2 ～ 81.9	55.1 ～ 74.0	66.3 ～ 80.1

注 1：図番号は図 3-1.8 に対応しています。

注 2：表中網掛け部は四捨五入した値が、環境基準値：Ⅱ類型(L_{den}62dB)を超過したことを示しています。

注 3：騒音レベルは日最大値の最小値及び最大値を示します。

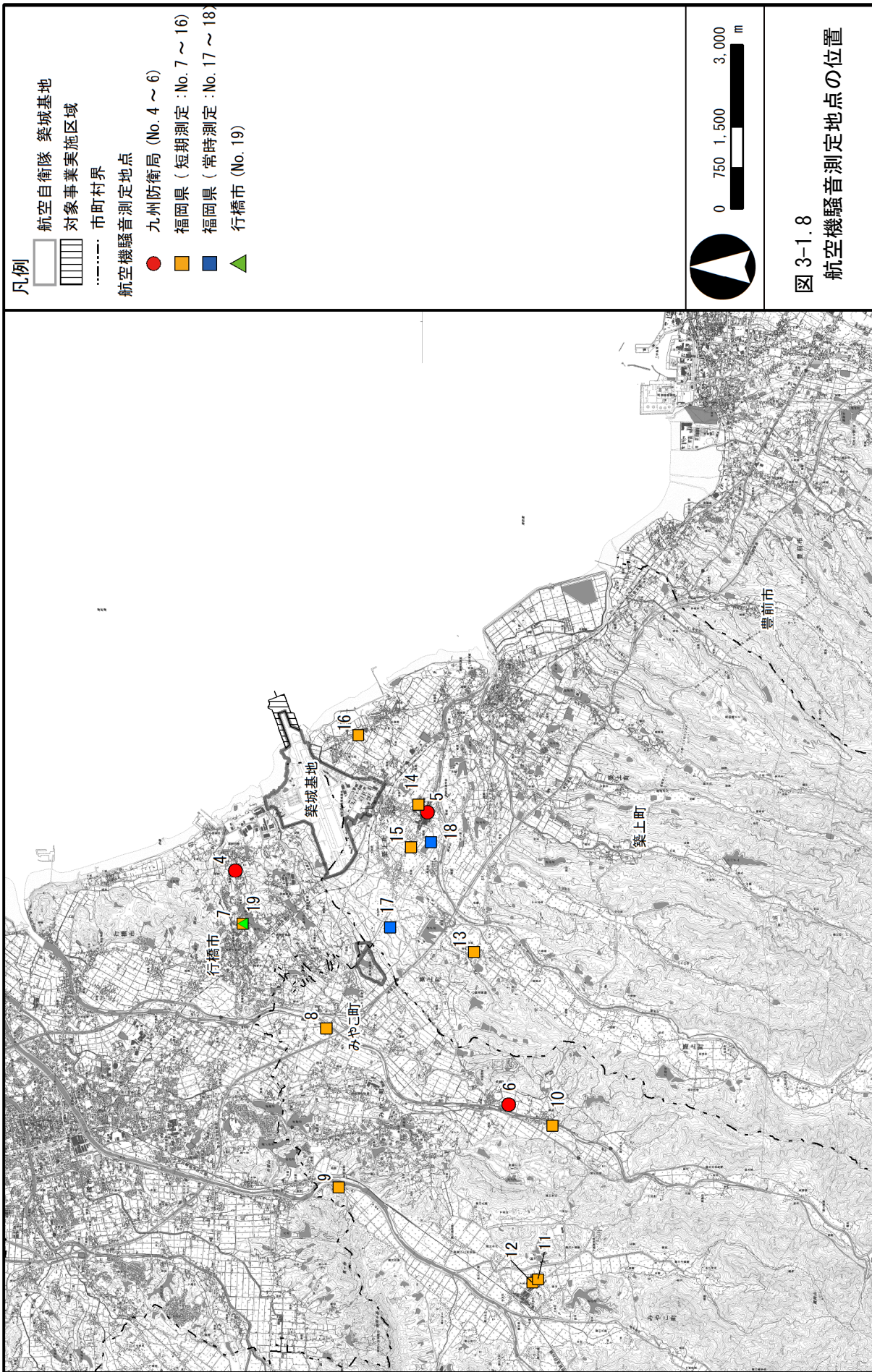
出典：「市が観測している航空機騒音データ」令和 3 年 10 月現在 行橋市

1.1.5 振動の状況

対象区域においては、振動の測定は行われていません。

1.1.6 悪臭の状況

対象区域においては、悪臭の測定は行われていません。



注：図番号1～3は個人宅での調査のため詳細な位置は公表されていません。
 出典：「平成28年度～令和2年度 飛行場周辺の航空機騒音の状況」令和3年6月現在 九州防衛局
 「平成29年度版 公害関係測定結果 (大気・水質・土壌・騒音・振動)」平成30年2月 福岡県
 「平成30年度版 公害関係測定結果 (大気・水質・土壌・騒音・振動)」平成31年1月 福岡県
 「令和元年度版 公害関係測定結果 (大気・水質・土壌・騒音・振動)」令和2年1月 福岡県
 「令和2年度版 公害関係測定結果 (大気・水質・土壌・騒音・振動)」令和3年1月 福岡県
 「市が観測している航空機騒音データ」令和3年10月現在 行橋市

1.2 水環境

1.2.1 水象の状況

(1) 河川

対象区域における主な河川の概況を表 3-1.16 に、主な河川の位置を図 3-1.10 に示します。航空自衛隊築城基地の北側に二級河川の音無川が存在しています。

表 3-1.16 主な河川の概況

種 別	水系名	河川名	延長 (m)
二級河川	長峡川	長峡川	15,580
		井尻川	7,660
		初代川	3,470
	今川	今川	38,350
		松坂川	3,080
		高屋川	4,840
		喜多良川	4,860
	江尻川	江尻川	5,720
	祓川	祓川	27,910
	音無川	音無川	4,820
	城井川	城井川	22,570
		中河内川	4,510
		小山田川	6,170
		極楽寺川	8,240
		岩丸川	10,580
		小川	1,650
	真如寺川	10,690	
上ノ河内川	上ノ河内川	2,900	
角田川	角田川	8,240	
中川	中川	8,100	
岩岳川	岩岳川	20,170	

出典：「福岡県京築県土整備事務所管内図」令和 3 年 3 月
福岡県京築県土整備事務所

(2) 海域

対象区域における潮位について、図 3-1.10 に示す宇島港の最高水面及び最低水面を表 3-1.17 に、潮位図を図 3-1.9 に示します。なお、表 3-1.17 に示すとおり、宇島港における最低水面から平均水面までの高さ (Z_0) は 2.10m、平均水面から最高水面までの差 (Z_0) は、2.10m です。

また、対象区域における海域の水深の状況を図 3-1.11 に、潮流図を図 3-1.12 に示します。対象事業実施区域の周辺の海域は 5m 以浅となっています。

潮流の状況としては、地形に沿った潮流がみられ、対象区域の西流開始後 1 時の潮流は 0.1～0.3 ノットとなっています。

表 3-1.17 宇島港における最高水面及び最低水面

地名又は港名	所在	位置		最低水面		最高水面
		緯度 (N)	経度 (E)	基本水準標等下 (m)	平均水面下 (Z_0) (m)	平均水面上 (Z_0) (m)
宇島	公共岸壁付近にある県 BM (鉄鉾) 頂	33° 38'	131° 08'	5.10	2.10	2.10

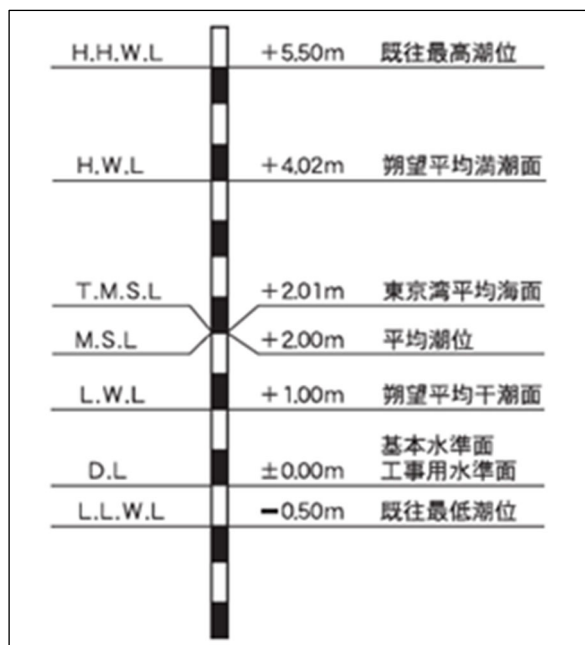
注 1：平均水面は、現地の長期間にわたる潮汐観測資料を平均して得られる面です。ただし、観測期間が短い場合には、季節的な変動を補正して決定されている面です。

注 2：最低水面は、潮汐観測資料から調和分解によって潮汐調和定数を求め、このうちの主要四分潮 (M2, S2, K1, O1) の振幅の和だけ平均水面から下げた面です。最低水面から平均水面までの高さを Z_0 といいます。

注 3：最高水面は、平均水面から主要四分潮の振幅の和だけ上げた面です。

注 4：表中の位置は世界測地系に基づいています。

出典：「平均水面、最高水面及び最低水面一覧表」令和 3 年 6 月 24 日現在 海上保安庁海洋情報部



出典：「宇島港平面図」平成 27 年 4 月現在 宇島港湾管理者

図 3-1.9 宇島港潮位図

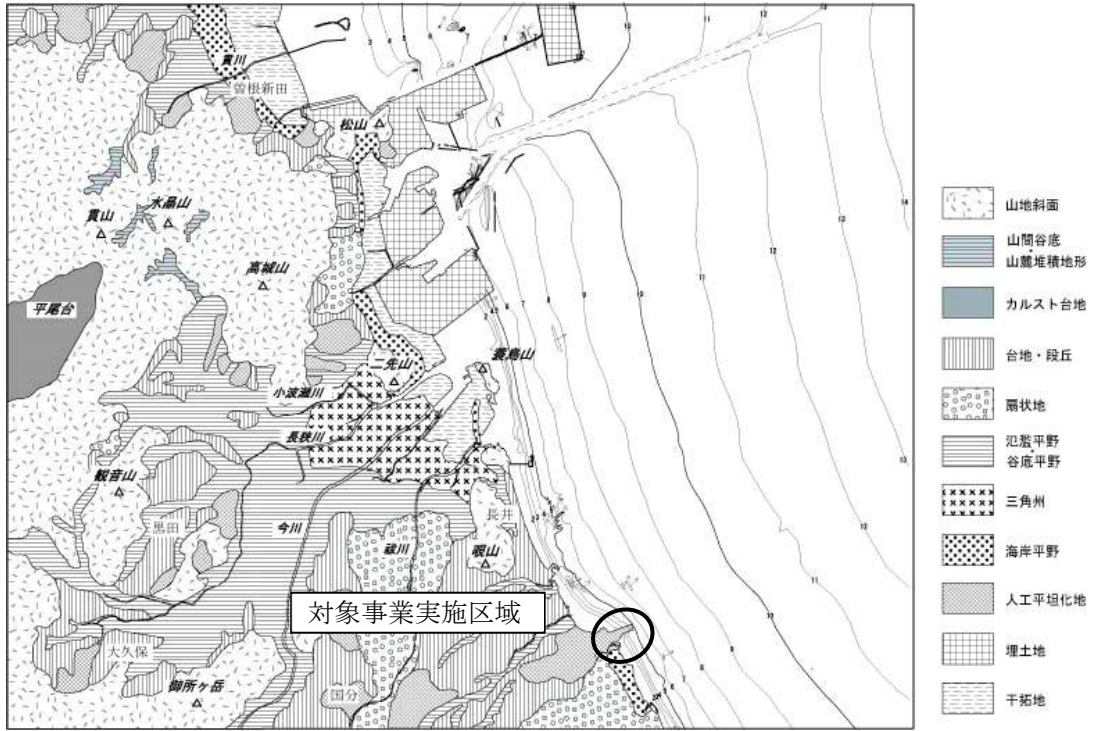
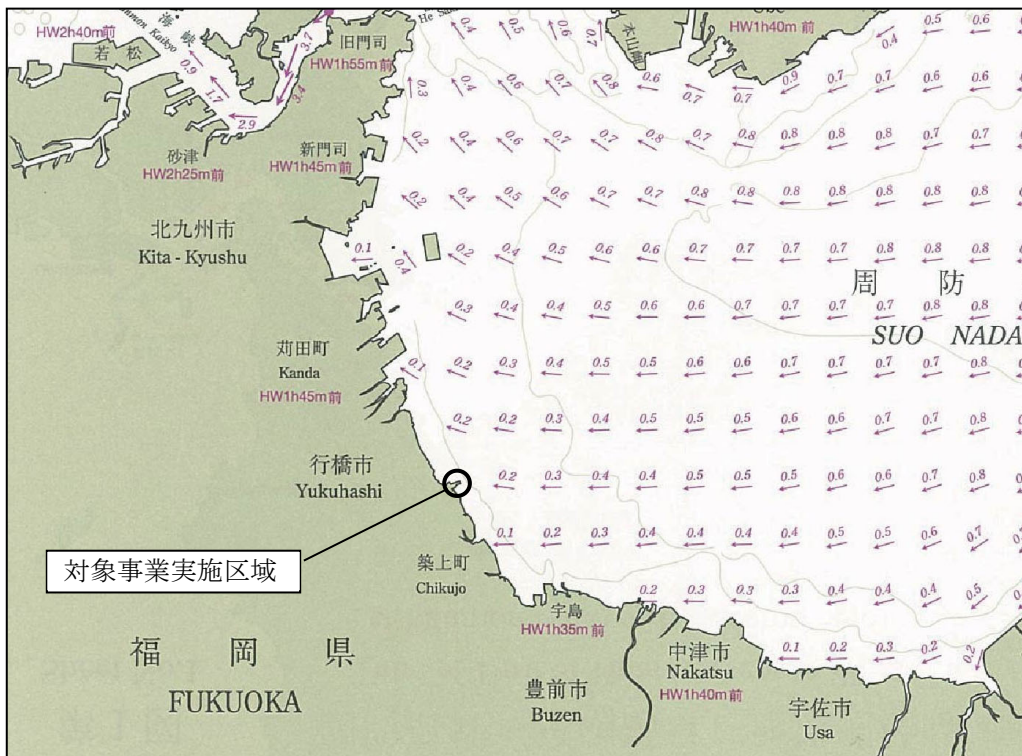


図2 地形分類・等深線図

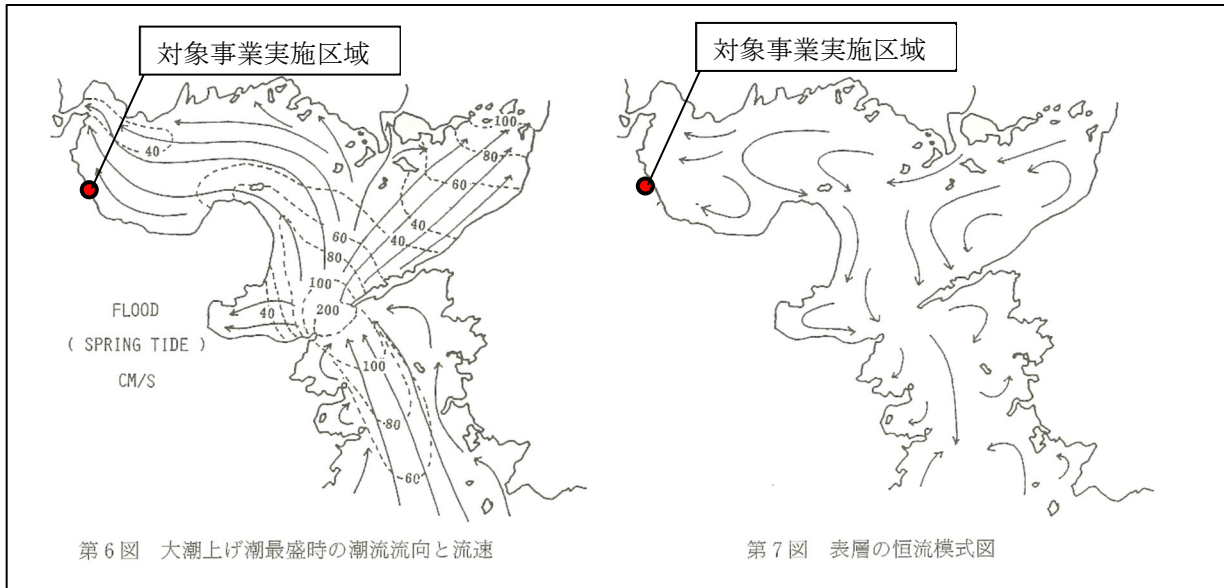
出典：「沿岸海域基礎調査報告書 行橋地区」平成15年 国土地理院

図3-1.11(2) 水深の状況



出典：「周防灘及付近潮流図」平成18年3月 海上保安庁

図3-1.12(1) 潮流図（西流開始後1時）



出典：「日本全国沿岸海洋誌 日本海洋学会沿岸海洋研究部会編」昭和60年 東海大学出版会

図 3-1.12(2) 潮流図

1.2.2 水質の状況

対象区域においては、福岡県及び関係市町による公共用水域及び地下水を対象とした水質測定が実施されており、公共用水域として河川 34 地点、海域 1 地点で水質測定が実施されています。

対象区域においては、底質の測定は行われていません。

また、ダイオキシン類については、河川 3 地点、海域 1 地点で水質及び底質の測定が、ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸 (PFOA) については河川 1 地点、地下水 1 地点で測定が実施されています。

なお、地下水については、行橋市、みやこ町、豊前市の各 1 地区で測定が行われていますが、詳細な測定地点は公表されていません。

測定地点の位置を図 3-1.13 に示します。

(1) 公共用水域の状況

① 河川

対象区域における令和元年度の生活環境項目測定結果を表 3-1.18 に、健康項目の測定結果を表 3-1.19 に、水質及び底質のダイオキシン類の測定結果を表 3-1.20 に、人の健康の保護に関する要監視項目であるペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸 (PFOA) の測定結果を表 3-1.21 に示します。

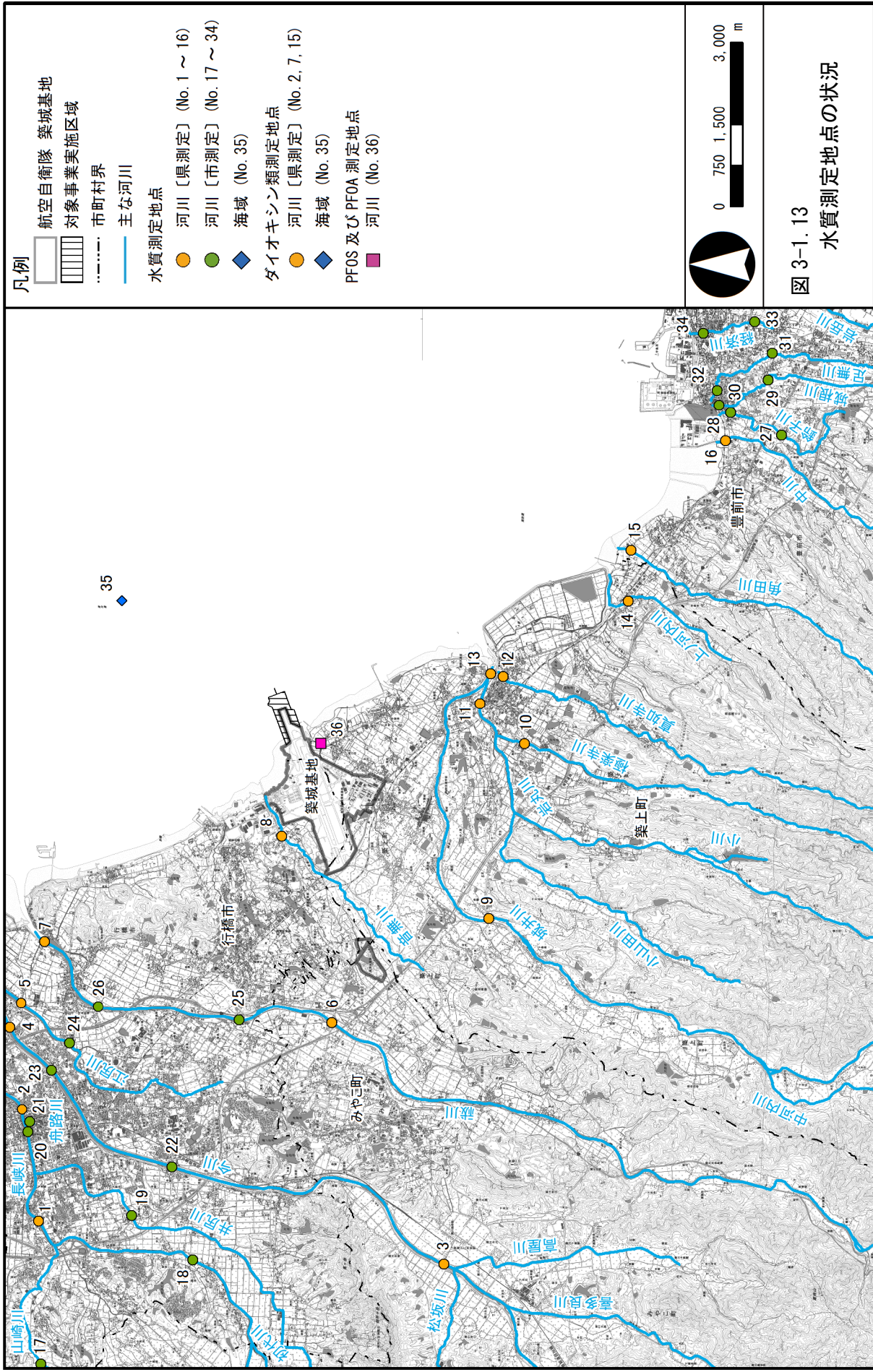
生活環境項目では、生物化学的酸素要求量(BOD)は長峽川、今川、祓川で環境基準値を超過しています。浮遊物質(SS)は祓川で環境基準値を超過しています。大腸菌群数は長峽川、今川、江尻川、祓川、音無川、城井川、岩丸川、真如寺川、上ノ河内川、角田川、中川、山崎川及び井尻川で環境基準値を超過しています。

生活環境項目(水生生物)については全地点で環境基準値を満足しています。

また、健康項目は長峽川、城井川でほう素が環境基準値を超過しています。

ダイオキシン類については、全地点で環境基準値を満足しています。

ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸 (PFOA) は宮の川で暫定の指針値(暫定)を超過しています。



出典：「令和2年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和3年1月 福岡県

表 3-1.18(1) 対象区域の水質測定結果（生活環境項目）

測定機関：福岡県

図番号	河川名等	地点名	類型	水素イオン濃度	溶存酸素量	生物化学的酸素要求量	化学的酸素要求量	浮遊物質	大腸菌群数	全窒素	全磷
				(pH)	(DO)	(BOD)75%値	(COD)75%値	(SS)			
				—	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	MPN/100mL	mg/L	mg/L
1	長峽川	長音寺橋	A	7.8	8.6	4.3	6.1	7	7,900	1.30	0.110
2	長峽川	亀川橋	C	7.7	7.9	2.2	5.4	16	7,900	1.30	0.150
3	今川	野口橋	AA	7.6	8.7	1.2	2.7	4	11,000	0.80	0.037
4	今川	今川汐止堰	A	8.2	8.7	3.2	6.2	9	1,100	0.86	0.066
5	今川 江尻川	常盤橋	B	7.6	8.3	1.9	5.1	15	12,000	1.70	0.220
6	祓川上流	祓郷橋	AA	7.9	9.3	1.1	2.9	4	1,700	0.57	0.027
7	祓川下流	沓尾橋	A	7.9	8.8	1.4	6.2	35	490	1.20	0.140
8	音無川	松原橋	A	7.7	9.0	1.3	4.3	8	11,000	1.30	0.074
9	城井川	赤幡橋	AA	7.7	9.2	0.8	2.2	2	330	0.68	0.020
10	城井川 岩丸川	(極楽寺川) 神本橋	A	7.6	8.5	0.9	2.9	2	4,900	0.58	0.024
11	城井川 岩丸川	西の橋	A	7.8	9.7	1.3	4.3	3	4,900	1.10	0.110
12	城井川 真如寺川	吾妻橋	A	7.7	9.7	1.4	4.1	4	22,000	0.50	0.050
13	城井川	浜宮橋	A	8.0	11.0	0.9	3.3	4	1,100	0.91	0.096
14	上ノ河内川	滝の本橋	A	8.0	9.0	1.4	3.2	3	4,900	2.10	0.270
15	角田川	角田川橋	A	7.7	9.3	1.1	3.6	4	2,800	0.58	0.080
16	中川	橋の上堰	A	7.9	10.0	1.8	3.9	4	11,000	0.52	0.049
環境基準値				AA~C: 6.5~8.5	AA:7.5 A :7.5 B :5.0 C :5.0 以上	AA:1.0 A :2.0 B :3.0 C :5.0 以下	—	AA:25 A :25 B :25 C :50 以下	AA:50 A:1000 B:5000 C:— 以下	—	—

注1：図番号は図 3-1.13 に対応しています。

注2：BOD 及び COD は 75%値を示し、その他の項目は年平均値を示しています。

注3：表中網掛け部は環境基準値を超過していることを示しています。

注4：大腸菌群数については令和4年4月に環境基準が改定され、「大腸菌数」となっています。

出典：「令和2年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和3年1月 福岡県

表 3-1.18(2) 対象区域の水質測定結果（生活環境項目）

測定機関：No.17～26 行橋市、No.27～34 豊前市

図番号	河川名等	地点名	類型	水素イオン濃度	溶存酸素量	生物化学的酸素要求量	化学的酸素要求量	浮遊物質	大腸菌群数	全窒素	全磷
				(pH)	(DO)	(BOD)75%値	(COD)75%値	(SS)			
				—	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L			
17	長峽川 山崎川	前ノ口橋 (晃大商事下水路)	A	8.1	10.0	1.7	—	2	9,500	0.51	0.035
18	長峽川	津留橋	A	8.2	10.0	2.1	—	8	2,200	—	—
19	長峽川 井尻川	市場橋	A	7.5	9.1	1.3	—	6	5,500	0.67	0.068
20	長峽川	簸川橋 (京都館横)	C	7.7	8.9	1.9	—	9	5,000	0.83	0.083
21	長峽川 舟路川	宮市橋	C	7.6	8.7	1.7	—	2	14,000	0.87	0.120
22	今川	寺畔橋	A	7.5	9.5	2.1	—	6	5,600	—	—
23	今川	今井渡橋	A	8.0	9.7	2.7	—	5	2,400	0.48	0.042
24	今川 江尻川	金屋井堰	B	7.7	8.4	2.3	—	6	23,000	1.10	0.160
25	祓川	草場橋	A	7.7	10.0	1.1	—	3	4,600	—	—
26	祓川	祇園田井堰	A	7.7	9.2	1.5	—	4	6,200	0.38	0.019
27	鈴子川	大伝寺橋	—	7.4	9.2	1.4	4.2	8	15,000	0.55	0.091
28	鈴子川	鈴子橋	—	7.7	9.5	1.2	6.4	7	5,300	0.96	0.110
29	城根川	市道八屋 荒堀線付近	—	7.6	9.6	2.1	7.4	18	9,700	1.40	0.120
30	城根川	八尋橋	—	7.8	8.8	1.2	4.5	21	7,100	1.00	0.140
31	足無川	旧築上中部 高校付近	—	7.3	8.9	2.5	4.9	21	11,000	1.20	0.150
32	足無川	園川橋	—	8.3	11.0	1.9	5.2	10	14,000	1.10	0.160
33	経済川	市役所付近	—	8.1	10.0	1.1	3.0	4	16,000	1.10	0.098
34	経済川	昭和橋	—	8.2	12.0	1.5	4.1	3	19,000	1.20	0.140
環境基準値				AA～C: 6.5～ 8.5	AA:7.5 A :7.5 B :5.0 C :5.0 以上	AA:1.0 A :2.0 B :3.0 C :5.0 以下	—	AA:25 A :25 B :25 C :50 以下	AA:50 A :1000 B :5000 C :— 以下	—	—

注1：図番号は図 3-1.13 に対応しています。

注2：BOD 及び COD は 75%値を示し、その他の項目は年平均値を示しています。

注3：表中網掛け部は環境基準値を超過していることを示しています。

注4：大腸菌群数については令和4年4月に環境基準が改定され、「大腸菌数」となっています。

出典：「令和2年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和3年1月 福岡県

表 3-1.18(3) 対象区域の水質測定結果（生活環境項目（水生生物））

測定機関：No1～16 福岡県、No27～34 豊前市

図番号	河川名等	地点名	測定機関	類型	全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS)	
					mg/L	mg/L	mg/L	
1	長峽川	長音寺橋	福岡県	生物 B	0.001	0.00006	0.0056	
2	長峽川	亀川橋		生物 B	0.001	<0.00006	0.0078	
3	今川	野口橋		生物 B	0.001	<0.00006	0.0012	
4	今川	今川汐止堰		生物 B	0.002	0.00006	0.0013	
5	今川 江尻川	常盤橋		生物 B	0.003	0.00006	0.0150	
6	祓川上流	祓郷橋		生物 B	0.001	<0.00006	<0.0006	
7	祓川下流	沓尾橋		生物 B	0.001	<0.00006	0.0029	
8	音無川	松原橋		生物 B	0.001	<0.00006	0.0023	
9	城井川上流	赤幡橋		生物 B	<0.001	<0.00006	0.0006	
11	城井川 岩丸川	西の橋		生物 B	0.003	<0.00006	0.0012	
12	城井川 真如寺川	吾妻橋		生物 B	<0.001	<0.00006	0.0023	
13	城井川	浜宮橋		生物 B	0.001	<0.00006	0.0012	
15	角田川	角田川橋		—	0.001	<0.00006	0.0032	
16	中川	橋の上堰		生物 B	0.001	<0.00006	0.0033	
27	鈴子川	大伝寺橋		豊前市	—	0.004	—	—
28	鈴子川	鈴子橋			—	0.004	—	—
29	城根川	市道八屋 荒堀線付近	—		<0.003	—	—	
30	城根川	八尋橋	—		<0.003	—	—	
31	足無川	旧築上中部 高校付近	—		0.007	—	—	
32	足無川	園川橋	—		0.006	—	—	
33	経済川	市役所付近	—		<0.003	—	—	
34	経済川	昭和橋	—		0.006	—	—	
環境基準値					生物 B:0.03 以下	生物 B:0.002 以下	生物 B:0.05 以下	

注：図番号は図 3-1.13 に対応しています。

出典：「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 3 年 1 月 福岡県

表 3-1.19(1) 対象区域の水質測定結果（健康項目）

単位：mg/L
測定機関：福岡県

図番号	1	2	3	4	5	環境基準
水域名 地点名 項目	長峽川 長音寺橋	長峽川 亀川橋	今川 野口橋	今川 今川汐止 堰	江尻川 常盤橋	
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
全シアン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05mg/L 以下
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
PCB	—	—	—	—	—	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
テトラクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/L 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	<0.4	<0.4	0.4	<0.4	0.7	10mg/L 以下
ふっ素	0.09	0.25	<0.08	0.08	0.14	0.8mg/L 以下
ほう素	<0.10	2.10	<0.10	<0.10	1.00	1mg/L 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05mg/L 以下

注1：図番号は図 3-1.13 に対応しています。

注2：表中網掛け部は環境基準値を超過していることを示しています。

注3：六価クロムは令和4年4月に環境基準が改定され、環境基準は「0.02mg/L 以下」となっています。

出典：「令和2年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和3年1月 福岡県

表 3-1. 19(2) 対象区域の水質測定結果（健康項目）

単位：mg/L
測定機関：福岡県

図番号	6	7	8	9	10	環境基準
水域名 地点名 項目	祓川 祓郷橋	祓川 杵尾橋	音無川 松原橋	城井川 赤幡橋	極楽寺川 神本橋	
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
全シアン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05mg/L 以下
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
PCB	—	—	—	—	—	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
テトラクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/L 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	<0.4	<0.4	1.1	0.7	0.4	10mg/L 以下
ふっ素	<0.08	0.28	<0.08	<0.08	<0.08	0.8mg/L 以下
ほう素	<0.10	0.47	<0.10	<0.10	<0.10	1mg/L 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05mg/L 以下

注1：図番号は図 3-1. 13 に対応しています。

注2：表中網掛け部は環境基準値を超過していることを示しています。

注3：六価クロムは令和4年4月に環境基準が改定され、環境基準は「0.02mg/L 以下」となっています。

出典：「令和2年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和3年1月 福岡県

表 3-1. 19(3) 対象区域の水質測定結果（健康項目）

単位：mg/L
測定機関：福岡県

図番号	11	12	13	14	15	16	環境基準
水域名 地点名 項目	岩丸川 西の橋	真如寺川 吾妻橋	城井川 浜宮橋	上ノ河内川 滝の本橋	角田川 角田川橋	中川 橋の上堰	
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
全シアン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05mg/L 以下
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
PCB	—	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
テトラクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/L 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	0.9	<0.4	0.4	0.6	0.5	<0.4	10mg/L 以下
ふっ素	0.11	0.08	0.34	<0.08	0.10	0.11	0.8mg/L 以下
ほう素	<0.10	<0.10	2.3	<0.10	<0.10	<0.10	1mg/L 以下
1,4-ジオキサソ	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05mg/L 以下

注1：図番号は図 3-1. 13 に対応しています。

注2：表中網掛け部は環境基準値を超過していることを示しています。

注3：六価クロムは令和4年4月に環境基準が改定され、環境基準は「0.02mg/L 以下」となっています。

出典：「令和2年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和3年1月 福岡県

表 3-1.19(4) 対象区域の水質測定結果（健康項目）

単位：mg/L
測定機関：行橋市

図番号	17	19	20	21	23	24	26	環境基準
水域名 地点名 項目	長峡川 山崎川 前ノ口橋 (晃大商事下 水路)	井尻川 市場橋	長峡川 簸川橋 (京都館横)	長峡川 舟路川 宮市橋	今川 今井渡橋	今川 江尻川 金屋井堰	祓川 祇園田井堰	
全シアン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
アルキル水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
PCB	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと

注：図番号は図 3-1.13 に対応しています。

出典：「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 3 年 1 月 福岡県

表 3-1.19(5) 対象区域の水質測定結果（健康項目）

単位：mg/L
測定機関：豊前市

図番号	27	28	29	30	31	32	33	34	環境基準
水域名 地点名 項目	鈴子川 大伝寺橋	鈴子川 鈴子橋	城根川 市道八屋 荒堀線 付近	城根川 八尋橋	足無川 旧築上中 部高校 付近	足無川 園川橋	経済川 市役所 付近	経済川 昭和橋	
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
全シアン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されな いこと
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05mg/L 以下
砒素	<0.001	<0.001	<0.001	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
総水銀	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	0.0005mg/L 以下
PCB	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されな いこと
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下

注 1：図番号は図 3-1.13 に対応しています。

注 2：六価クロムは令和 4 年 4 月に環境基準が改定され、環境基準は「0.02mg/L 以下」となっています。

出典：「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 3 年 1 月 福岡県

表 3-1.20 対象区域のダイオキシン類測定結果

測定機関：福岡県

図番号	河川名/調査地点	水質	底質
2	長峽川 亀川橋	0.17pg-TEQ/L	0.15pg-TEQ/g
7	祓川 杓尾橋	0.67pg-TEQ/L	0.06pg-TEQ/g
15	角田川 角田川橋	0.19pg-TEQ/L	0.55pg-TEQ/g
環境基準		1pg-TEQ/L 以下	150pg-TEQ/g 以下

注：図番号は図 3-1.13 に対応しています。

出典：「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」
令和 3 年 1 月 福岡県

表 3-1.21 対象区域のペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）
及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）測定結果

図番号	調査地点	地点区分	PFOS	PFOA	PFOS+PFOA
36	宮の川 川尻橋	河 川	131.0ng/L	14.9ng/L	145.9ng/L
—	築上町	地下水	1.5ng/L	3.9ng/L	5.4ng/L
指針値（暫定）		河 川			0.00005 mg/L 以下（暫定）
		地下水			0.00005 mg/L 以下（暫定）

注 1：図番号は図 3-1.13 に対応しています。

2：地下水は私有地において測定している場合があるため、市区町村名までの記載としています。

3：表中網掛け部は指針値（暫定）を超過していることを示しています。

出典：「令和元年度 PFOS 及び PFOA 全国存在状況把握調査の結果について」
令和 2 年 6 月 環境省水・大気環境局

② 海域

対象区域における海域の平成 28 年度～令和元年度の生活環境項目の測定結果を表 3-1.22(1) に、令和元年度の生活環境項目の測定結果を表 3-1.22(2) に、平成 28 年度～令和元年度の健康項目の測定結果を表 3-1.23 に、令和元年度のダイオキシン類の測定結果を表 3-1.24 に示します。平成 28 年度～平成 30 年度は対象区域においてダイオキシン類の測定は行われていません。

対象区域の海域では、豊前地先で測定が行われており、生活環境項目では、平成 28 年度と令和元年度に化学的酸素要求量（COD）が環境基準値を超過しています。健康項目及びダイオキシン類については、環境基準値を満足しています。

表 3-1. 22 (1) 対象区域の水質測定結果（生活環境項目） 平成 28 年度～令和元年度

単位：mg/L（大腸菌群数は MPN/100mL）
測定機関：福岡県

調査項目 (生活環境項目)	35				環境基準値 (A 類型) (II 類型) (生物特 A)
	瀬戸内海水域				
	豊前地先海域 S-3				
	平均(75%値)				
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
水素イオン濃度 (pH)	8.2	8.2	8.2	8.1	7.8 以上 8.3 以下
溶存酸素量 (DO)	7.9	8.3	7.9	7.5	7.5 以上
化学的酸素要求量 (COD)	2.0 (2.1)	1.8 (2.0)	1.9 (1.9)	2.2 (2.4)	2 以下
浮遊物質 (SS)	<1	8	7	10	—
大腸菌群数	<2	<2	230	6	1,000MPN/100mL 以下
n-ヘキサン抽出物質	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	検出されないこと
全窒素	0.10	0.11	0.17	0.16	0.3 以下
全 磷	0.010	0.017	0.020	0.020	0.03 以下
全亜鉛	0.002	0.001	0.001	0.003	0.01 以下
ノニルフェノール	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	0.0007 以下
直鎖アルキルベン ゼンスルホン酸及 びその塩(LAS)	0.0006	0.0007	0.0007	0.0006	0.006 以下
底層溶存酸素量	—	8.3	7.6	7.1	—

注 1：図番号は図 3-1. 13 に対応しています。

注 2：表中網掛け部は環境基準値を超過していることを示しています。

注 3：大腸菌群数については令和 4 年 4 月に環境基準が改定され、「大腸菌数」となっています。

出典：「平成 29 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 30 年 2 月 福岡県

「平成 30 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 31 年 1 月 福岡県

「令和元年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 2 年 1 月 福岡県

「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 3 年 1 月 福岡県

表 3-1. 22 (2) 対象区域の水質測定結果（生活環境項目） 令和元年度

単位：mg/L（大腸菌群数は MPN/100mL）
測定機関：福岡県

調査項目 (生活環境項目)	35		環境基準値 (A 類型) (II 類型) (生物特 A)
	瀬戸内海水域		
	豊前地先海域 S-3		
	年間最小～最大	平均(75%値)	
水素イオン濃度 (pH)	8.0～8.2	8.1	7.8 以上 8.3 以下
溶存酸素量 (DO)	5.8～8.7	7.5	7.5 以上
化学的酸素要求量 (COD)	1.8～2.8	2.2 (2.4)	2 以下
浮遊物質量 (SS)	6～16	10	—
大腸菌群数	6～6	6	1,000MPN/100mL 以下
n-ヘキサン抽出物質	<0.5～<0.5	<0.5	検出されないこと
全窒素	0.09～0.21	0.16	0.3 以下
全 磷	0.014～0.027	0.020	0.03 以下
全亜鉛	<0.001～0.008	0.003	0.01 以下
ノニルフェノール	<0.00006～<0.00006	<0.00006	0.0007 以下
直鎖アルキルベンゼ ンスルホン酸及びそ の塩(LAS)	<0.0006～0.0006	0.0006	0.006 以下
底層溶存酸素量	5.8～8.6	7.1	—

注1：図番号は図 3-1.13 に対応しています。

注2：表中網掛け部は環境基準値を超過していることを示しています。

注3：大腸菌群数については令和4年4月に環境基準が改定され、「大腸菌数」となっています。

出典：「令和2年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和3年1月 福岡県

表 3-1.23 対象区域の水質測定結果（健康項目） 平成 28 年度～令和元年度

単位：mg/L
測定機関：福岡県

図番号 海域名 地点名 項目	35 瀬戸内海水域 豊前地先海域 S-3				環境基準
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
全シアン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05mg/L 以下
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
PCB	—	—	—	—	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1mg/L 以下
トリス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
テトラクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
セレン	0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/L 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	<0.40	<0.40	<0.40	<0.40	10mg/L 以下
ふっ素	—	—	—	—	0.8mg/L 以下
ほう素	—	—	—	—	1mg/L 以下
1,4-ジオキササン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05mg/L 以下

注 1：図番号は図 3-1.13 に対応しています。

注 2：六価クロムは令和 4 年 4 月に環境基準が改定され、環境基準は「0.02mg/L 以下」となっています。

出典：「平成 29 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 30 年 2 月 福岡県
 「平成 30 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」平成 31 年 1 月 福岡県
 「令和元年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 2 年 1 月 福岡県
 「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 3 年 1 月 福岡県

表 3-1.24 対象区域のダイオキシン類測定結果 令和元年度

測定機関：福岡県

図番号	海域名/調査地点	水質	底質
35	瀬戸内海水域 豊前地先海域 S-3	0.066pg-TEQ/L	11.0pg-TEQ/g
環境基準		1pg-TEQ/L 以下	150pg-TEQ/g 以下

注：図番号は図 3-1.13 に対応しています。

出典：「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」
令和 3 年 1 月 福岡県

③ 海水浴場

対象区域においては浜の宮海岸及び長井浜海水浴場が存在していますが、福岡県による水質検査は行われていません。

(2) 地下水

対象区域における令和元年度の地下水の調査結果を表 3-1. 25 に示します。

対象区域では、行橋市、みやこ町、豊前市の各 1 地区で測定が行われており、全ての地点で環境基準値を満足しています。

表 3-1. 25 対象区域の地下水測定結果（概況調査）

単位：mg/L
測定機関：福岡県

市町村名	行橋市	みやこ町	豊前市	環境基準
地区名	天生田	犀川横瀬	四郎丸	
井戸深度(m)	20	NA	NA	
用途区分	飲用	飲用	生活用	
項目				
カドミウム	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
全シアン	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	0.05mg/L 以下
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	0.01mg/L 以下
総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/L 以下
アルキル水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
PCB	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
クロロエチレン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	<0.01	<0.01	<0.01	0.1mg/L 以下
1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	0.04mg/L 以下
1,1,1-トリクロロエタン	<0.1	<0.1	<0.1	1mg/L 以下
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
テトラクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002mg/L 以下
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006mg/L 以下
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	0.01mg/L 以下
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	0.7	1.5	10	10mg/L 以下
ふっ素	0.08	<0.08	<0.08	0.8mg/L 以下
ほう素	<0.1	<0.1	<0.1	1mg/L 以下
1,4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	0.05mg/L 以下

注：六価クロムは令和 4 年 4 月に環境基準が改定され、環境基準は「0.02mg/L 以下」となっています。
出典：「令和 2 年度版 公害関係測定結果（大気・水質・土壌・騒音・振動）」令和 3 年 1 月 福岡県

1.3 土壌及び地盤環境

1.3.1 土壌の状況

(1) 土壌汚染の状況（ダイオキシン類）

対象区域においては、土壌中のダイオキシン類の測定は行われていません。

(2) 土壌の状況

対象区域の土壌の状況を図 3-1.14 に示します。対象事業実施区域の周辺の土壌は、黄色土壌、灰色低地土壌、細粒グライ土壌、粗粒グライ土壌等が分布しており、沿岸部には砂丘未熟土壌、西側の山地部には乾性褐色森林土壌（赤褐色系）、褐色森林土壌（黄褐色系）等が分布しています。

1.3.2 地盤の状況

「令和元年度 全国の地盤沈下地域の概況」（令和 3 年 3 月 環境省水・大気環境局）によると、対象事業実施区域周辺において地盤沈下が確認されている地域はありません。

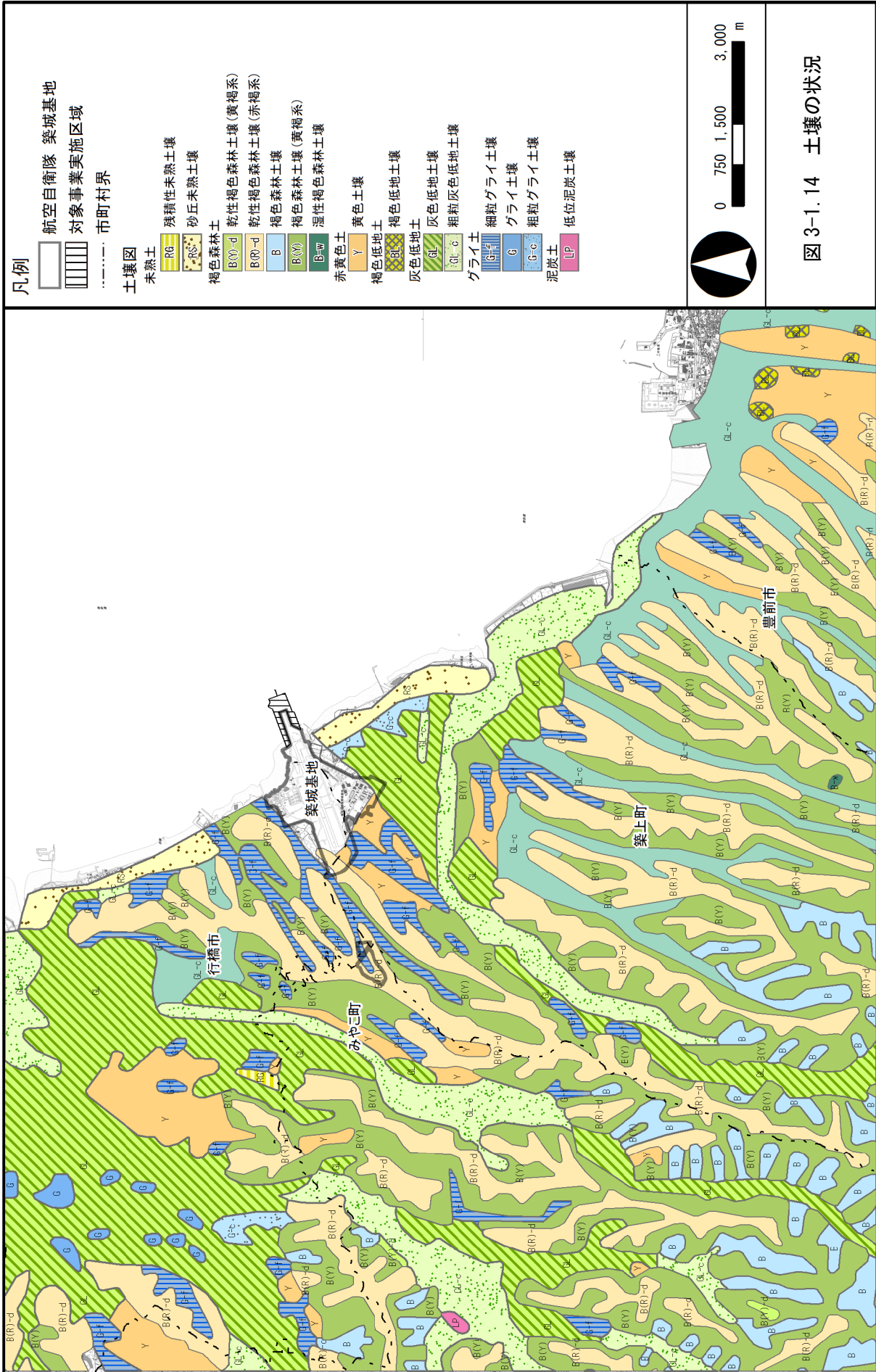


図 3-1.14 土壌の状況

1.3.3 地形及び地質の状況

対象区域における地形及び地質の状況を図 3-1.15 及び図 3-1.16 に示します。

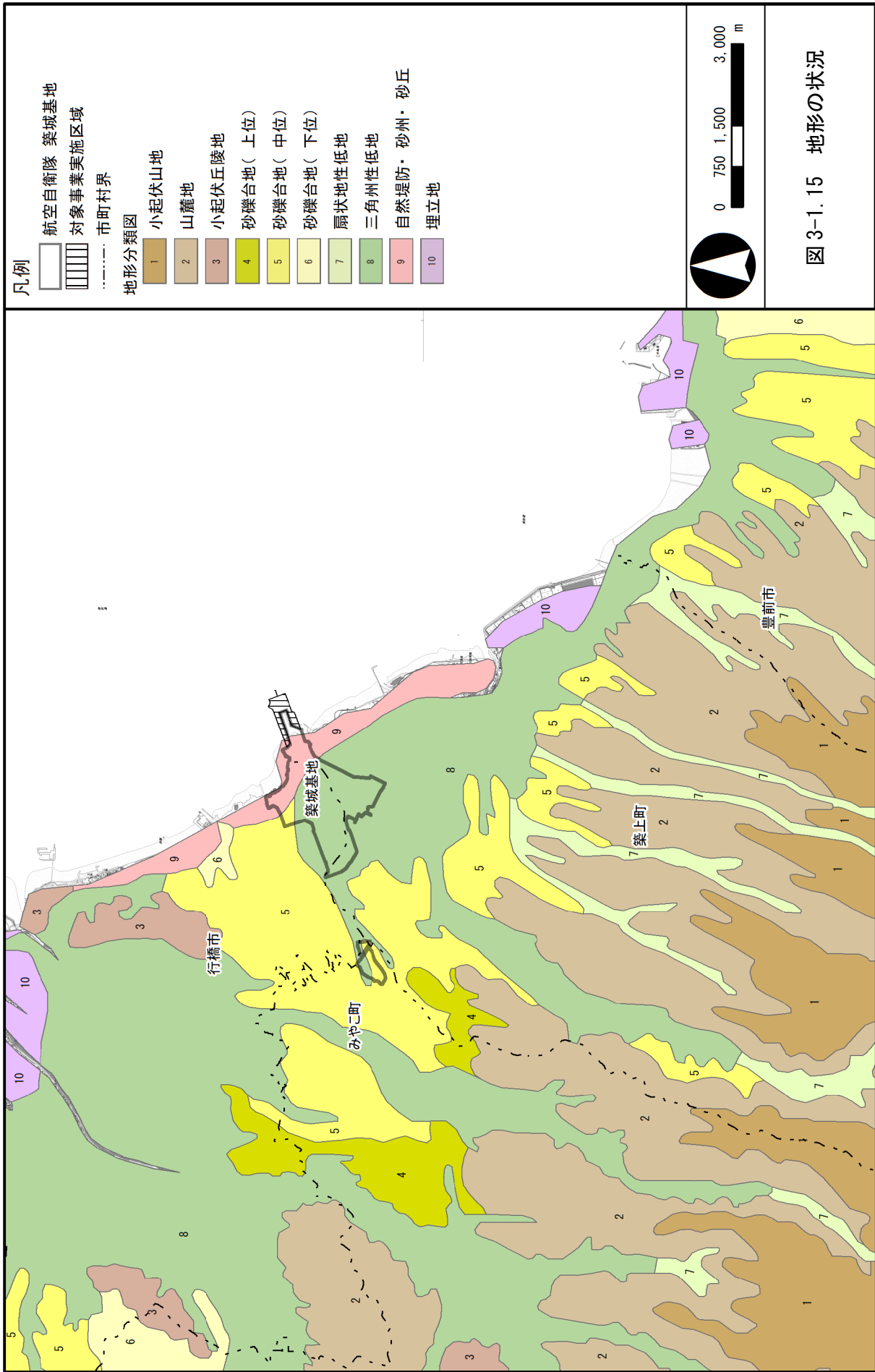
対象事業実施区域周辺の地形は、航空自衛隊築城基地及びその周辺においては、自然堤防、三角洲性低地及び砂礫台地（中位）となっています。

地質については、対象事業実施区域の周辺に砂・粘土・淤泥・礫の未固結堆積物が広域に広がっています。

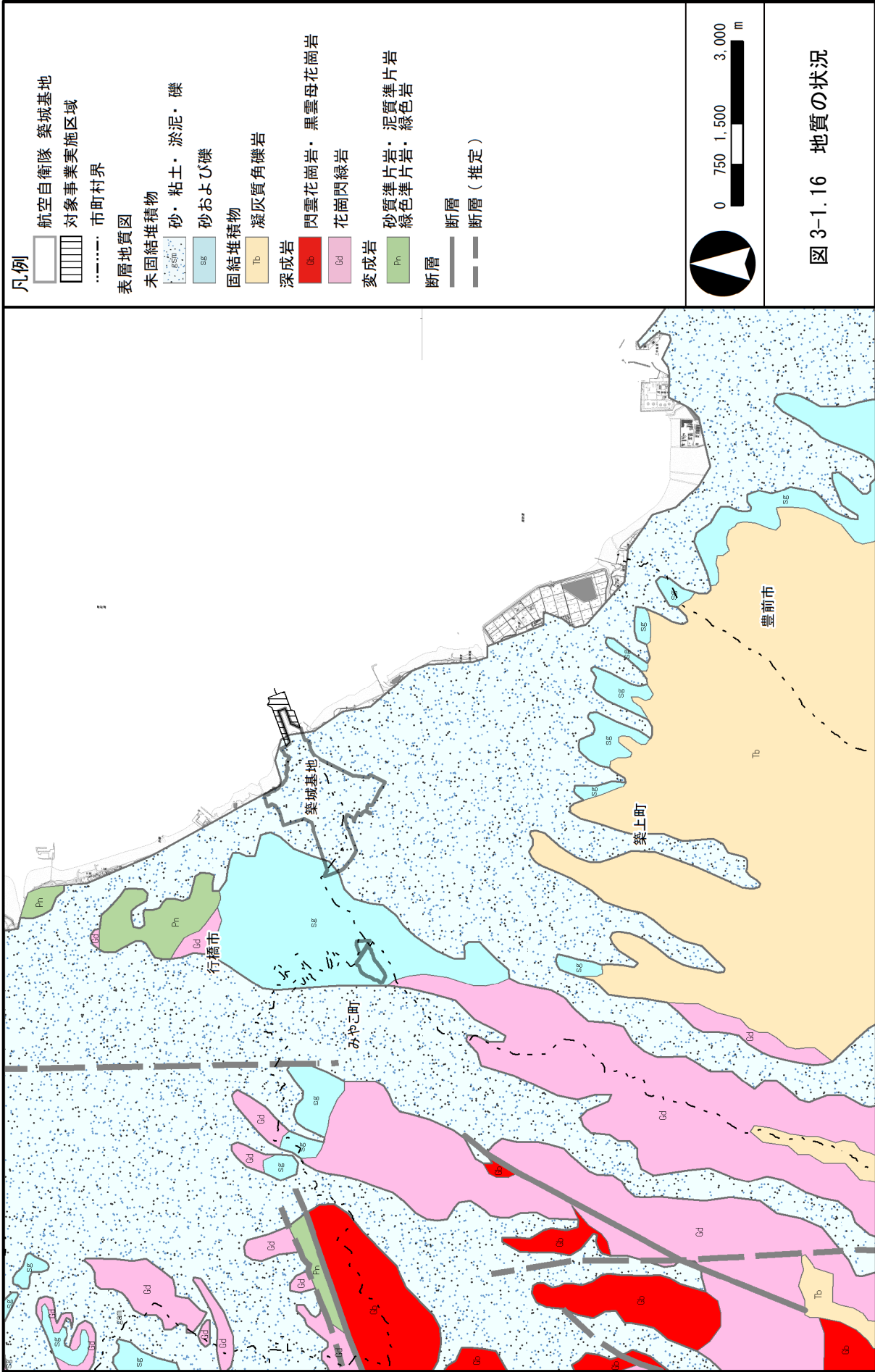
1.3.4 重要な地形・地質

重要な地形・地質には、文化財保護法（昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号〈改正〉令和 3 年 4 月 23 日 法律第 22 号）、自然環境保全法（昭和 47 年 6 月 22 日 法律第 85 号〈改正〉平成 31 年 4 月 26 日 法律第 20 号）、世界遺産条約（平成 4 年 9 月 28 日 条約第 7 号）等、法律・条例等により定められる学術上又は希少性の観点から重要と判断されるものと、環境庁（省）が実施している自然環境保全基礎調査及び優れた地形を保護するため、学識者により作成されたレッドデータブック（「日本の地形レッドデータブック」第 1 集（平成 12 年 12 月）・第 2 集（平成 14 年 3 月））があります。

なお、対象区域には重要な地形・地質の指定はありません。



出典：「1/20万 土地分類図（地形分類図）福岡県」昭和45年 経済企画庁



- 凡例**
- 航空自衛隊 築城基地
 - 対象事業実施区域
 - 市町村界
 - 表層地質図
 - 未固結堆積物
 - 砂・粘土・淤泥・礫
 - 砂および礫
 - 固結堆積物
 - 凝灰質角礫岩
 - 深成岩
 - 閃雲花崗岩・黒雲母花崗岩
 - 花崗閃緑岩
 - 変成岩
 - 砂質準片岩・泥質準片岩
 - 緑色準片岩・緑色岩
 - 断層
 - 断層（推定）

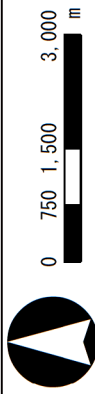


図 3-1.16 地質の状況

出典：「1/20万 土地分類図（表層地質図）福岡県」昭和45年 経済企画庁

1.4 植物、動物及び生態系

1.4.1 植物の状況

(1) 自然環境保全基礎調査による植生及び植物の状況

対象区域における植生の状況を、図 3-1.17 に示します。

対象区域内は、広い範囲に平野部の水田雑草群落と山地～山麓のシイ・カシ二次林やスギ・ヒノキ・サワラ植林が入り混じる植生となっています。

また、「第 5 回自然環境保全基礎調査（特定植物群落調査）」の調査結果に基づく、対象区域周辺における特定植物群落として、「蓑島の塩湿地植生」、「椎田海岸のクロマツ林」、「御所ヶ谷（行橋市）のヒモヅルを含むアカマツ林」、「豊前市大富神社のコジイ林」が分布しています。

なお、「植物群落レッドデータ・ブック」（平成 8 年 4 月（財）日本自然保護協会・（財）世界自然保護基金日本委員会）に記載される植物群落として、「椎田海岸のクロマツ林」が分布しています。

表 3-1.26 特定植物群落の状況

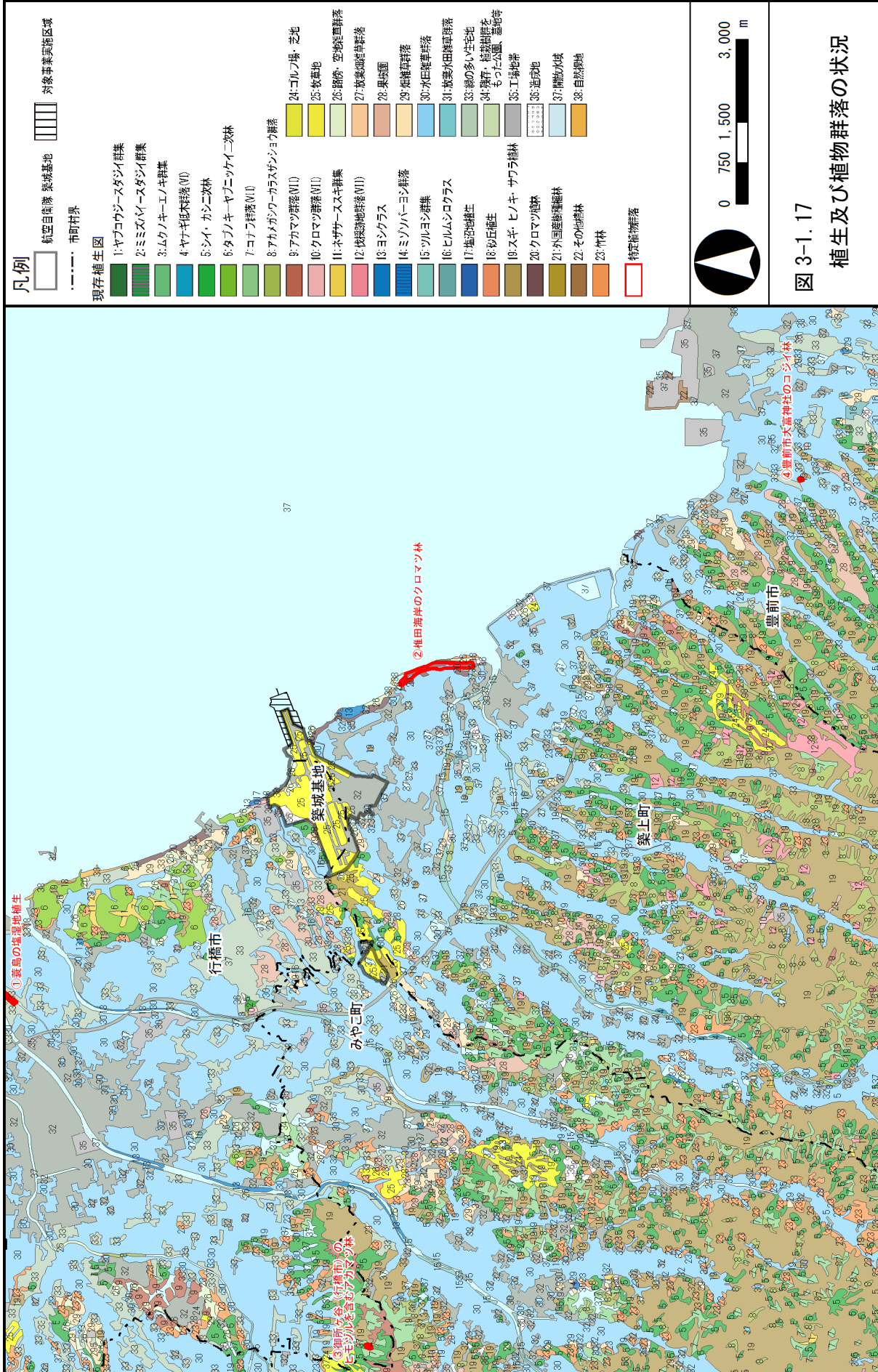
	図番号	名 称
特定植物群落	①	蓑島の塩湿地植生
	②	椎田海岸のクロマツ林
	③	御所ヶ谷（行橋市）のヒモヅルを含むアカマツ林
	④	豊前市大富神社のコジイ林

注 1：図番号は図 3-1.17 に対応しています。

注 2：②の椎田海岸のクロマツ林は、植物群落レッドデータブックの掲載種です。

出典：「第 5 回自然環境保全基礎調査（特定植物群落調査）」

平成 12 年 3 月 環境庁自然保護局 生物多様性センター



凡例

- 航空自衛隊 築城基地
- 対象事業実施区域
- 市町村界
- 既存植生図
- 1. ヤブコウジュ・スズシイ群集
- 2. ミミズハイ・スズシイ群集
- 3. ムクノキ・エノキ群集
- 4. ヤナギ・榎木群集(VI)
- 5. シイ、カシ二次林
- 6. タブノキ・ヤブニッケイ二次林
- 7. コナラ群集(VI)
- 8. アカメカシ・カラサヤ・ササノコ群集
- 9. アカマツ群集(VI)
- 10. クロマツ群集(VI)
- 11. ノササ・ススキ群集
- 12. 枝根露地群集(VI)
- 13. ヨシノコ
- 14. ミソバ・ヨシノコ群集
- 15. ツルヨシ群集
- 16. ヒルムシロコラス
- 17. 塩沼地植生
- 18. 杉丘植生
- 19. スギ・ヒノキ・サウラ樹林
- 20. クロマツ樹林
- 21. 水辺樹林
- 22. その他樹林
- 23. 竹林
- 24. コルム場・芝地
- 25. 牧草地
- 26. 路傍、空地芝群集
- 27. 放棄畑地群集
- 28. 果樹園
- 29. 畑地群集
- 30. 水田雑草群集
- 31. 放棄水田雑草群集
- 32. 雑草の多い住宅地
- 33. 雑草、樹林群集をもった公園、墓地等
- 34. 工業地帯
- 35. 遊成地
- 36. 開放水域
- 37. 自然湿地
- 38. 特定植物群落

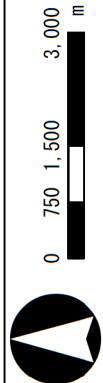


図 3-1.17

植生及び植物群落の状況

出典：「自然環境保全基礎調査 植生調査」平成11～16年度調査実施 環境省自然環境局生物多様性センター
 「第5回自然環境保全基礎調査（特定植物群落調査）」平成12年3月 環境庁自然保護局 生物多様性センター

(2) その他の文献による植物の状況

① 植物

自然環境保全基礎調査以外の文献として、表 3-1.27 に示す文献を整理した結果、対象区域に生育する可能性がある植物の重要な種として表 3-1.28 に示す 78 科 171 種があげられます。

そのうち対象区域には塩生植物であるフクド、ハマサジなどの生育の可能性があります。

表 3-1.27 文献資料一覧（植物）

発行者	文献名
福岡県	福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011 －植物群落・植物・哺乳類・鳥類－ 平成 23 年 11 月 福岡県

注：文献において、以下に該当する種を選定しています。

福岡県 RDB2011：「対象区域内に位置する地名(市町名、公園名等)」、「各地」、「英彦山」、「瀬戸内海」、「県内（詳細分布情報不詳）」等

表 3-1. 28(1) 文献により確認された植物 (対象区域周辺)

No.	科和名	種和名	文献	選定基準				
			福岡県 RDB2011	天然 記念物	種の 保存法	福岡県 条例	環境省 RL2020	福岡県 RDB2011
1	ウメノキゴケ科	ノダケウメノキゴケ	●					I 類
2		フクロセンシゴケ	●					不足
3		ヨシノミヤマクグラ	●				VU	不足
4		トゲナシフトネゴケ	●				CR+EN	I 類
5		ヨコワサルオガセ	●					I 類
6	イワタケ科	イワタケ	●					準絶
7	ハナゴケ科	ツブミゴケ	●				CR+EN	絶滅
8	ミズゴケ科	オオミズゴケ	●				NT	準絶
9	ヒカゲノカズラ科	ヒモヅル	●				VU	I B類
10		スギラン	●				VU	I A類
11		マンネンスギ	●					I A類
12	ミズニラ科	シナミズニラ	●				VU	I A類
13		オオバシナミズニラ	●				EN	I A類
14	ハナヤスリ科	ハマハナヤスリ	●					I A類
15	マツバラ科	マツバラ	●				NT	I B類
16	イノモトソウ科	ハコネシダ	●					I A類
17		ミズワラビ	●					I B類
18		ヒメウラジロ	●				VU	I B類
19	ヒメシダ科	テツホシダ	●					I B類
20	イワデンダ科	コガネシダ	●					II 類
21		イワデンダ	●					I A類
22		ヌリワラビ科	ヌリワラビ	●				I A類
23	シシガシラ科	オサシダ	●					I B類
24	オシダ科	ヒロハナライシダ	●				EN	I A類
25		ナチクジャク	●					I A類
26		ツクシオオクジャク	●					I A類
27		ワカナシダ	●					I A類
28		ツツイイワヘゴ	●				CR	I A類
29	ウラボシ科	オシャグジデンダ	●					I B類
30	ヒノキ科	ネズ	●					準絶
31	イチイ科	イチイ	●					I A類
32	スイレン科	コウホネ	●					II 類
33	ウマノスズクサ科	フタバアオイ	●					準絶
34		クロフネサイシン	●				NT	II 類
35	モクレン科	オオヤマレンゲ	●					I A類
36	クスノキ科	ダンコウバイ	●					II 類
37	サトイモ科	ヒロハテンナンショウ	●					I A類
38		ツクシマムシグサ	●					II 類
39		ミツバテンナンショウ	●					準絶
40	オモダカ科	アギナシ	●				NT	I A類
41	トチカガミ科	ヤナギスブタ	●					I A類
42		ウミヒルモ	●				NT	準絶
43		トチカガミ	●				NT	I A類
44		サガミトリゲモ	●				VU	I A類
45		イトトリゲモ	●				NT	I A類
46		ミズオオバコ	●				VU	I B類
47	シバナ科	シバナ	●				NT	I B類
48	アマモ科	エビアマモ	●				NT	準絶
49	ヒルムシロ科	センニンモ	●					I B類
50		ヒロハノエビモ	●					I A類
51	ビャクブ科	ヒメナベワリ	●					II 類
52	シュロソウ科	ホソバシュロソウ	●					I A類
53	ユリ科	アマナ	●					II 類

表 3-1. 28(2) 文献により確認された重要な植物 (対象区域周辺)

No.	科和名	種和名	文献	選定基準					
			福岡県 RDB2011	天然 記念物	種の 保存法	福岡県 条例	環境省 RL2020	福岡県 RDB2011	
54	ラン科	シラン	●				NT	準絶	
55		マメヅタラン	●				NT	II類	
56		ムギラン	●				NT	I B類	
57		キエビネ	●				EN	I A類	
58		エビネ	●				NT	II類	
59		ナツエビネ	●				VU	I A類	
60		トケンラン	●				VU	I A類	
61		クマガイソウ	●				VU	I A類	
62		セッコク	●					II類	
63		アキザキヤツシロラン	●					I B類	
64		オニノヤガラ	●					I A類	
65		クロヤツシロラン	●					I A類	
66		ツリシュスラン	●					I A類	
67		ムヨウラン	●					I A類	
68		ウスギムヨウラン	●				NT	I A類	
69		ギボウシラン	●				EN	I A類	
70		ジガバチソウ	●					I B類	
71		クモイジガバチ	●				CR	I A類	
72		アオフタバラン	●					I A類	
73		サギソウ	●				指定	NT	I A類
74		イイヌナムカゴ	●					EN	I A類
75		ヒトツボクロ	●						I A類
76		アヤメ科	ヒメシャガ	●				NT	I A類
77		ススキノキ科	アキノワスレグサ	●					I A類
78		ヒガンバナ科	キツネノカミソリ	●					I B類
79	クサスギカズラ科	ユキザサ	●					I B類	
80	ガマ科	ミクリ	●				NT	I A類	
81		ヤマトミクリ	●				NT	I B類	
82	ホシクサ科	オオホシクサ	●					I B類	
83		ツクシクロイヌノヒゲ	●				VU	II類	
84		クロホシクサ	●				VU	I A類	
85	カヤツリグサ科	アズマスゲ	●					I A類	
86		クロタマガヤツリ	●					I A類	
87		シンジュガヤ	●					I B類	
88	イネ科	ヒメコヌカグサ	●				NT	I B類	
89		イワタケソウ	●					I A類	
90		アズマガヤ	●					I A類	
91		ホガエリガヤ	●					I A類	
92		ヒナザサ	●				NT	II類	
93		ヒロハノハネガヤ	●					I A類	
94	メギ科	ルイヨウボタン	●					I B類	
95		バイカイカリソウ	●					I B類	
96	キンポウゲ科	タンナトリカブト	●					準絶	
97		トリガタハンショウヅル	●					I A類	
98		ミヤマカラマツ	●					I A類	
99	ボタン科	ヤマシャクヤク	●				NT	I B類	
100	スグリ科	ヤシャビシヤク	●			指定	NT	I A類	
101	ユキノシタ科	クロクモソウ	●					II類	
102		センダイソウ	●				NT	I A類	
103	ベンケイソウ科	ツメレンゲ	●				NT	I A類	
104		ウンゼンマンネングサ	●				VU	II類	
105	アリノトウグサ科	タチモ	●				NT	I A類	

表 3-1. 28(3) 文献により確認された植物 (対象区域周辺)

No.	科和名	種和名	文献	選定基準				
			福岡県 RDB2011	天然 記念物	種の 保存法	福岡県 条例	環境省 RL2020	福岡県 RDB2011
106	マメ科	ユクノキ	●					I A類
107		シバハギ	●					I B類
108		マキエハギ	●					I B類
109	イラクサ科	タチゲヒカゲミズ	●				VU	I A類
110	バラ科	カワラサイコ	●					I B類
111		イワガサ	●					II 類
112		モリイバラ	●					II 類
113	ブナ科	イヌブナ	●					I B類
114	カバノキ科	ヤシャブシ	●					I A類
115	トウダイグサ科	タカトウダイ	●					I A類
116	スマレ科	サクラスマレ	●					I A類
117		シコクスミレ	●					II 類
118	ミソハギ科	ミズマツバ	●				VU	II 類
119		オニビシ	●					I B類
120	ムクロジ科	テツカエデ	●					I A類
121	オオバヤドリギ科	マツグミ	●					I A類
122	イソマツ科	ハマサジ	●				NT	II 類
123	タデ科	ヒメタデ	●				VU	準絶
124		サイコクヌカボ	●				VU	I B類
125	モウセンゴケ科	モウセンゴケ	●					II 類
126	ナデシコ科	ワチガイソウ	●					II 類
127		フシグロセンノウ	●					I A類
128		オオヤマハコベ	●					I A類
129	ヒユ科	イソホウキギ	●					II 類
130	カキノキ科	リュウキュウマメガキ	●					I A類
131	ツバキ科	ヒコサンヒメシャラ	●					準絶
132	エゴノキ科	オオバアサガラ	●					II 類
133	ツツジ科	ホツツジ	●					I A類
134		ヒカゲツツジ	●					I A類
135		ゲンカイツツジ	●				NT	準絶
136		バйкаツツジ	●					I A類
137	アカネ科	オオキヌタソウ	●					I A類
138	リンドウ科	イヌセンブリ	●				VU	I B類
139	キョウチクトウ科	ツクシガシワ	●					II 類
140		タチカモメヅル	●					I A類
141		スズサイコ	●				NT	II 類
142	ナス科	アオホオズキ	●				VU	I A類
143		マルバノホロシ	●					I B類
144	オオバコ科	マルバノサワトウガラシ	●				VU	I A類
145		シソクサ	●					I B類
146	ゴマノハグサ科	ヒナノウスツボ	●					II 類
147	シソ科	スズコウジュ	●					I A類
148		ミズネコノオ	●				NT	I A類
149		ミズトラノオ	●				VU	I A類
150		ミヅコウジュ	●				NT	準絶
151		コナミキ	●				VU	I A類
152		カリガネソウ	●					I A類
153	ゴマノハグサ科	ゴマクサ	●				VU	I A類
154		ヤマウツボ	●					I B類
155	タヌキモ科	ノタヌキモ	●				VU	I B類
156		ミミカキグサ	●					I B類
157		ホザキノミミカキグサ	●					II 類
158		ミカワタヌキモ	●				VU	I A類
159		ムラサキミミカキグサ	●				NT	II 類

表 3-1. 28(4) 文献により確認された重要な植物（対象区域周辺）

No.	科和名	種和名	文献	選定基準				
			福岡県 RDB2011	天然 記念物	種の 保存法	福岡県 条例	環境省 RL2020	福岡県 RDB2011
160	キキョウ科	ソバナ	●					I A類
161	ミツガシワ科	ガガブタ	●				NT	II類
162	キク科	フクド	●				NT	II類
163		ブゼンノギク	●				NT	I A類
164		ミヤマヨメナ	●					I B類
165		チョウセンスイラン	●				NT	I B類
166		ホソバニガナ	●				EN	I B類
167		テバコモミジガサ	●					I A類
168		ニシノヤマタイミンガサ	●					II類
169		ナガバノコウヤボウキ	●					I B類
170		ツクシトウヒレン	●				EN	I B類
171	スイカズラ科	ヤマヒョウタンボク	●					I A類
計	78科	171種	171	0	0	2	71	171

注：種名及び分類等は、原則として「令和元年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト」令和元年 11 月 国土交通省に準じ、記載がない種は、福岡県 RDB2011：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011－植物群落、植物、哺乳類、鳥類－」平成 23 年 福岡県 に準じています。

重要種選定基準

・天然記念物：

「文化財保護法」昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号 <改正>平成 26 年 6 月 13 日 法律第 69 号に基づく天然記念物
 「福岡県文化財保護条例」昭和 30 年 4 月 1 日 条令第 25 号<改正>平成 16 年 12 月 27 日 条例第 65 号に基づく天然記念物

「行橋市文化財保護条例」平成 14 年 7 月 2 日 条例第 18 号に基づく天然記念物

「みやこ町文化財保護条例」平成 18 年 3 月 20 日 条例第 111 号に基づく天然記念物

「築上町文化財保護条例」平成 18 年 1 月 10 日 条例第 184 号に基づく天然記念物

「豊前市文化財保護条例」昭和 42 年 12 月 27 日 条例第 17 号 <改正>平成 57 年 7 月 5 日 条例第 38 号に基づく天然記念物

特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物、県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物

・種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」平成 4 年 6 月 5 日 法律第 75 号

<改正>平成 29 年 6 月 2 日 法律第 51 号に基づく希少野生動植物種

国内：国内希少野生動植物種

・福岡県条例：「福岡県希少野生動植物種の保護に関する条例」令和 2 年 10 月 6 日 福岡県条例第 42 号に基づく希少野生動植物種

指定：指定希少野生動植物種

・環境省 RL2020：「環境省レッドリスト 2020」令和 2 年 環境省

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧種 I 類(CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類)、VU：絶滅危惧 II 類、

NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

・福岡県 RDB2011：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011－植物群落、植物、哺乳類、鳥類－」

平成 23 年 福岡県

絶滅：絶滅、野生絶滅：野生絶滅、I A 類：絶滅危惧 I A 類、I B 類：絶滅危惧 I B 類、II 類：絶滅危惧 II 類、

準絶滅危惧、不足：情報不足、地域：絶滅のおそれのある地域個体群

② 藻類

自然環境保全基礎調査以外の文献として、表 3-1.29 に示す文献を整理した結果、対象区域に生育する可能性がある藻類の重要な種として、表 3-1.30 に示す 6 科 7 種があげられます。

そのうち対象区域の海域や河口にはトサカノリ、アヤギヌなどの生育の可能性があります。

表 3-1.29 文献資料一覧（藻類）

発行者	文献名
福岡県	福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011 —植物群落・植物・哺乳類・鳥類— 平成 23 年 11 月 福岡県

注：文献において、以下に該当する種を選定しています。
福岡県 RDB2011：「九州」、「九州沿岸」、「ほぼ全国」等

表 3-1.30 文献により確認された重要な藻類（対象区域周辺）

No.	科和名	種和名	文献	選定基準					
			福岡県 RDB2011	天然記念物	種の保存法	福岡県条例	環境省 RL2020	福岡県 RDB2011	
1	オオイシソウ科	オオイシソウ	●					VU	II 類
2	カワモズク科	チャイロカワモズク	●					NT	準絶
3		アオカワモズク	●					NT	準絶
4	チスジノリ科	オキチモズク	●					CR+EN	I 類
5	ミリン科	トサカノリ	●					NT	不足
6	コノハノリ科	アヤギヌ	●					NT	準絶
7	シャジクモ科	シャジクモ	●					VU	II 類
計	6科	7種	7	0	0	0	0	7	7

注：種名及び分類等は、原則として紅藻綱は「世界の淡水産紅藻」平成 12 年 内田老鶴圃、車軸綱は「日本淡水藻図鑑」昭和 52 年 内田老鶴圃新社 に準じています。

重要種選定基準

・天然記念物：

- 「文化財保護法」昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号 <改正>平成 26 年 6 月 13 日 法律第 69 号に基づく天然記念物
- 「福岡県文化財保護条例」昭和 30 年 4 月 1 日 条例第 25 号 <改正>平成 16 年 12 月 27 日 条例第 65 号に基づく天然記念物
- 「行橋市文化財保護条例」平成 14 年 7 月 2 日 条例第 18 号に基づく天然記念物
- 「みやこ町文化財保護条例」平成 18 年 3 月 20 日 条例第 111 号に基づく天然記念物
- 「築上町文化財保護条例」平成 18 年 1 月 10 日 条例第 184 号に基づく天然記念物
- 「豊前市文化財保護条例」昭和 42 年 12 月 27 日 条例第 17 号 <改正>平成 57 年 7 月 5 日 条例第 38 号に基づく天然記念物

特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物、県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物

- ・種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」平成 4 年 6 月 5 日 法律第 75 号 <改正>平成 29 年 6 月 2 日 法律第 51 号に基づく希少野生動植物種
- 国内：国内希少野生動植物種
- ・福岡県条例：「福岡県希少野生動植物種の保護に関する条例」令和 2 年 10 月 6 日 福岡県条例第 42 号に基づく希少野生動植物種
- 指定：指定希少野生動植物種
- ・環境省 RL2020：「環境省レッドリスト 2020」令和 2 年 環境省
- EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧種 I 類(CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類)、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ・福岡県 RDB2011：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011—植物群落、植物、哺乳類、鳥類—」平成 23 年 福岡県
- 絶滅：絶滅、野生絶滅：野生絶滅、I A 類：絶滅危惧 I A 類、I B 類：絶滅危惧 I B 類、II 類：絶滅危惧 II 類、準絶：準絶滅危惧、不足：情報不足、地域：絶滅のおそれのある地域個体群

1.4.2 動物の状況

(1) 自然環境保全基礎調査による動物の状況

「第5回自然環境保全基礎調査」及び「第6回自然環境保全基礎調査」の調査結果に基づく対象区域周辺における動物の状況を表3-1.31に、自然環境保全基礎調査における調査地域の区分(2次メッシュ)を図3-1.18に示します。

表3-1.31に示す動物の状況は、図3-1.18の「行橋」「蓑島」「豊前本庄」「椎田」「中津」のメッシュ内で確認された動物を示します。

哺乳類ではノウサギやホンDOIタチ類等の13種、両生類・爬虫類ではシマヘビやヌマガエル等の13種、魚類ではニホンウナギやトビハゼ等の35種、昆虫類ではギンヤンマやキアゲハ等の101種、貝類(陸産貝類を除く)ではヤマトシジミ等の27種が確認されています。

また、「第6回自然環境保全基礎調査」において、哺乳類は中・大型哺乳類10種を対象としており、対象区域周辺では5種が確認されています。

鳥類については繁殖分布調査として「第6回自然環境保全基礎調査」が行われており、対象区域周辺においてはコチドリやハクセキレイ等の64種が確認されています。

表 3-1. 31(1) 第 5 回・第 6 回自然環境保全基礎調査により確認された哺乳類
(行橋・葦島・豊前本庄・椎田・中津)

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	自然環境保全基礎調査		選定基準			
				第5回	第6回	天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL2020	福岡県 RDB2011
1	サル目	オナガザル科	ホンダザル		○				
2	ウサギ目	ウサギ科	ノウサギ	○					
3	ネズミ目	リス科	ニホンリス	○				LP(九州地方)	
4			ムササビ	○					準絶
5	ネコ目	イヌ科	ホンダタヌキ	○	○				
6			ホンドキツネ	○	○				
7			ノイヌ	○					
8		イタチ科	ホンダテン	○					
9			チョウセンイタチ	○					
10			ホンDOIタチ	○					準絶
11		ネコ科	ノネコ	○					
12	ウシ目	イノシシ科	ニホンイノシシ	○	○				
13		シカ科	キュウシュウジカ	○	○				
計	5目	8科	13種	12	5	0	0	1	3

注：種名及び分類等は、原則として「令和元年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト」令和元年 11 月 国土交通省 に準じています。

出典：

- ・「第 5 回自然環境保全基礎調査（自然環境情報 GIS）」環境省自然環境局生物多様性センター
- ・「第 6 回自然環境保全基礎調査（自然環境情報 GIS）」環境省自然環境局生物多様性センター

重要種選定基準

・天然記念物：

「文化財保護法」昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号 <改正>平成 26 年 6 月 13 日 法律第 69 号に基づく天然記念物

「福岡県文化財保護条例」昭和 30 年 4 月 1 日 条例第 25 号 <改正>平成 16 年 12 月 27 日 条例第 65 号に基づく天然記念物

「行橋市文化財保護条例」平成 14 年 7 月 2 日 条例第 18 号に基づく天然記念物

「みやこ町文化財保護条例」平成 18 年 3 月 20 日 条例第 111 号に基づく天然記念物

「築上町文化財保護条例」平成 18 年 1 月 10 日 条例第 184 号に基づく天然記念物

「豊前市文化財保護条例」昭和 42 年 12 月 27 日 条例第 17 号 <改正>平成 57 年 7 月 5 日 条例第 38 号に基づく天然記念物

特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物、県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物

・種の保存法：

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」平成 4 年 6 月 5 日 法律第 75 号

<改正>平成 29 年 6 月 2 日 法律第 51 号に基づく希少野生動植物種

国内：国内希少野生動植物種

・環境省 RL2020：「環境省レッドリスト 2020」令和 2 年 環境省

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧種 I 類(CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類)、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

・福岡県 RDB2011：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011—植物群落、植物、哺乳類、鳥類—」平成 23 年 福岡県

絶滅：絶滅、野生絶滅：野生絶滅、I A 類：絶滅危惧 I A 類、I B 類：絶滅危惧 I B 類、II 類：絶滅危惧 II 類、準絶：準絶滅危惧、不足：情報不足、地域：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3-1. 31(2) 第 6 回自然環境保全基礎調査により確認された鳥類
(行橋・葦島・豊前本庄・椎田・中津)

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	選定基準			
				天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL2020	福岡県 RDB2011
1	キジ目	キジ科	コジュケイ				
2			キジ				
5	カモ目	カモ科	カルガモ				
6	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ				
7	ハト目	ハト科	ドバト				
8			キジバト				
9	ペリカン目	サギ科	ゴイサギ				
10			アマサギ				準絶
11			アオサギ				
12			ダイサギ				
13			チュウサギ			NT	準絶
14			コサギ				
3	ツル目	クイナ科	ヒクイナ			NT	準絶
4			バン				
15	カッコウ目	カッコウ科	ホトトギス				
16			ツツドリ				準絶
17	チドリ目	チドリ科	コチドリ				
18			シロチドリ			VU	準絶
19		タマシギ科	タマシギ			VU	準絶
20		カモメ科	コアジサシ			VU	II類
21	タカ目	タカ科	トビ				
22			サシバ			VU	準絶
23	フクロウ目	フクロウ科	フクロウ				
24			アオバズク				II類
25	ブッポウソウ目	カワセミ科	アカショウビン				II類
26			カワセミ				
27	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ				
28			アオゲラ				
29	スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ			VU	IA類
30		カササギヒタキ科	サンコウチョウ				II類
31		モズ科	モズ				
32		カラス科	カケス				
33			ハシボソガラス				
34			ハシブトガラス				
35		シジュウカラ科	ヤマガラ				
36			ヒガラ				
37			シジュウカラ				
38		ヒバリ科	ヒバリ				
39		ツバメ科	ツバメ				
40			イワツバメ				
41		ヒヨドリ科	ヒヨドリ				
42		ウグイス科	ウグイス				
43			ヤブサメ				
44		エナガ科	エナガ				
45		ムシクイ科	センダイムシクイ				II類
46		チメドリ科	ガビチョウ				
47			ソウシチョウ				
48		メジロ科	メジロ				
49		ヨシキリ科	オオヨシキリ				準絶
50		セッカ科	セッカ				
51		ムクドリ科	ムクドリ				
52		カワガラス科	カワガラス				
53		ヒタキ科	トラツグミ				
54			キビタキ				
55			オオルリ				準絶

表 3-1. 31 (3) 第 6 回自然環境保全基礎調査により確認された鳥類
(行橋・葦島・豊前本庄・椎田・中津)

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	選定基準			
				天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL2020	福岡県 RDB2011
56	スズメ目	スズメ科	スズメ				
57		セキレイ科	キセキレイ				
58			ハクセキレイ				
59			セグロセキレイ				
60		アトリ科	カワラヒワ				
61			イカル				
62		ホオジロ科	ホオジロ				
63			ホオアカ				
64			アオジ				
計	13目	36科	64種	0	0	7	15

注：種名及び分類等は、原則として「令和元年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト」令和元年 11 月 国土交通省 に準じています。

出典：

- ・「第 6 回自然環境保全基礎調査（自然環境情報 GIS）」環境省自然環境局生物多様性センター

重要種選定基準

・天然記念物：

「文化財保護法」昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号 <改正>平成 26 年 6 月 13 日 法律第 69 号に基づく天然記念物

「福岡県文化財保護条例」昭和 30 年 4 月 1 日 条例第 25 号 <改正>平成 16 年 12 月 27 日 条例第 65 号に基づく天然記念物

「行橋市文化財保護条例」平成 14 年 7 月 2 日 条例第 18 号に基づく天然記念物

「みやこ町文化財保護条例」平成 18 年 3 月 20 日 条例第 111 号に基づく天然記念物

「築上町文化財保護条例」平成 18 年 1 月 10 日 条例第 184 号に基づく天然記念物

「豊前市文化財保護条例」昭和 42 年 12 月 27 日 条例第 17 号 <改正>平成 57 年 7 月 5 日 条例第 38 号に基づく天然記念物

特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物、県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物

・種の保存法：

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」平成 4 年 6 月 5 日 法律第 75 号

<改正>平成 29 年 6 月 2 日 法律第 51 号に基づく希少野生動植物種

国内：国内希少野生動植物種

・環境省 RL2020：「環境省レッドリスト 2020」令和 2 年 環境省

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧種 I 類 (CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類)、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

・福岡県 RDB2011：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011—植物群落、植物、哺乳類、鳥類—」平成 23 年 福岡県

絶滅：絶滅、野生絶滅：野生絶滅、I A 類：絶滅危惧 I A 類、I B 類：絶滅危惧 I B 類、II 類：絶滅危惧 II 類、準絶滅危惧、不足：情報不足、地域：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3-1.31(4) 第 5 回自然環境保全基礎調査により確認された両生類・爬虫類
(行橋・葦島・豊前本庄・椎田・中津)

No.	分類	目和名	科和名	種和名	選定基準			
					天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL2020	福岡県 RDB2014
1	両生類	有尾目	イモリ科	アカハライモリ			NT	準絶
2		無尾目	アマガエル科	ニホンアマガエル				
3			アカガエル科	ヤマアカガエル				II類
4				ウシガエル				
5				ツチガエル				準絶
6			ヌマガエル科	ヌマガエル				
7			アオガエル科	シュレーゲルアオガエル				
8				カジカガエル				準絶
9	爬虫類	カメ目	イシガメ科	クサガメ				
10	有鱗目		トカゲ科	ニホントカゲ				
11			ナミヘビ科	シマヘビ				
12				アオダイショウ				
13				ヤマカガシ				
計	-	4目	8科	13種	0	0	1	4

注：種名及び分類等は、原則として「令和元年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト」令和元年 11 月 国土交通省 に準じています。

出典：

- ・「第 5 回自然環境保全基礎調査（自然環境情報 GIS）」環境省自然環境局生物多様性センター

重要種選定基準

- ・天然記念物：

「文化財保護法」昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号 <改正>平成 26 年 6 月 13 日 法律第 69 号に基づく天然記念物

「福岡県文化財保護条例」昭和 30 年 4 月 1 日 条例第 25 号 <改正>平成 16 年 12 月 27 日 条例第 65 号に基づく天然記念物

「行橋市文化財保護条例」平成 14 年 7 月 2 日 条例第 18 号に基づく天然記念物

「みやこ町文化財保護条例」平成 18 年 3 月 20 日 条例第 111 号に基づく天然記念物

「築上町文化財保護条例」平成 18 年 1 月 10 日 条例第 184 号に基づく天然記念物

「豊前市文化財保護条例」昭和 42 年 12 月 27 日 条例第 17 号 <改正>平成 57 年 7 月 5 日 条例第 38 号に基づく天然記念物

特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物、県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物

- ・種の保存法：

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」平成 4 年 6 月 5 日 法律第 75 号

<改正>平成 29 年 6 月 2 日 法律第 51 号に基づく希少野生動植物種

国内：国内希少野生動植物種

- ・環境省 RL2020：「環境省レッドリスト 2020」令和 2 年 環境省

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧種 I 類(CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類)、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

- ・福岡県 RDB2014：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2014—爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、貝類、甲殻類その他、クモ形類—」平成 26 年 福岡県

絶滅：絶滅、野生絶滅：野生絶滅、I A 類：絶滅危惧 I A 類、I B 類：絶滅危惧 I B 類、II 類：絶滅危惧 II 類、

準絶：準絶滅危惧、不足：情報不足、地域：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3-1. 31 (5) 第 5 回自然環境保全基礎調査により確認された魚類 (行橋・葦島・豊前本庄・椎田・中津)

No.	目と名	科と名	種と名	選定基準					
				天然 記念物	種 の 保存法	環境省 RL2020	環境省 RL2017 (海洋)	福岡県 RDB2014	
1	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ			EN		I B類	
2	コイ目	コイ科	ユイ						
-			ギンブナ						
3			フナ属						
4			ヤリタナゴ			NT		II類	
5			アブラボテ			NT		準絶	
6			カネヒラ					準絶	
7			ニッポンバラタナゴ			CR		I B類	
8			カゼトゲタナゴ			EN		I B類	
9			オイカワ						
10			カワムツ						
11			ヌマムツ					準絶	
12			タカハヤ						
13			ウグイ					不足	
14			モツゴ						
15			ムギツク						
16			カマツカ						
17			イトモロコ						
18	ドジョウ科	ヤマトシマドジョウ			VU		準絶		
19	ナマズ目	ギギ科	ギギ					準絶	
20		ナマズ科	ナマズ						
21		アカザ科	アカザ			VU		II類	
22	サケ目	アユ科	アユ					準絶	
23	スズキ目	ケツギョ科	オヤニラミ			EN		準絶	
24		サンフィッシュ科	ブルーギル						
25		シマイサキ科	シマイサキ						
26		ドンコ科	ドンコ						
27		ハゼ科	トビハゼ			NT		II類	
28			マハゼ						
29			アベハゼ						
30			チチブ						
31			カワヨシノボリ						
32			シマヨシノボリ						
33			旧トウヨシノボリ類						
34		ピリンゴ							
35	タイワンドジョウ科	カムルチー							
計	5目	13科	35種	0	0	9	0	14	

注：種名及び分類等は、原則として「令和元年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト」令和元年 11 月 国土交通省 に準じています。

出典：

・「第 5 回自然環境保全基礎調査 (自然環境情報 GIS)」環境省自然環境局生物多様性センター

重要種選定基準

・天然記念物：

「文化財保護法」昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号 <改正>平成 26 年 6 月 13 日 法律第 69 号に基づく天然記念物

「福岡県文化財保護条例」昭和 30 年 4 月 1 日 条例第 25 号 <改正>平成 16 年 12 月 27 日 条例第 65 号に基づく天然記念物

「行橋市文化財保護条例」平成 14 年 7 月 2 日 条例第 18 号に基づく天然記念物

「みやこ町文化財保護条例」平成 18 年 3 月 20 日 条例第 111 号に基づく天然記念物

「築上町文化財保護条例」平成 18 年 1 月 10 日 条例第 184 号に基づく天然記念物

「豊前市文化財保護条例」昭和 42 年 12 月 27 日 条例第 17 号 <改正>平成 57 年 7 月 5 日 条例第 38 号に基づく天然記念物

特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物、県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物

・種の保存法：

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」平成 4 年 6 月 5 日 法律第 75 号

<改正>平成 29 年 6 月 2 日 法律第 51 号 に基づく希少野生動植物種

国内：国内希少野生動植物種

・環境省 RL2020：「環境省レッドリスト 2020」令和 2 年 環境省

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧種 I 類 (CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類)、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

・環境省 RL2017(海域)：「環境省海洋生物レッドリスト 2017」平成 29 年 3 月 21 日 環境省

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

・福岡県 RDB2014：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2014—爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、貝類、甲殻類その他、クモ形類—」平成 26 年 福岡県

絶滅：絶滅、野生絶滅：野生絶滅、I A 類：絶滅危惧 I A 類、I B 類：絶滅危惧 I B 類、II 類：絶滅危惧 II 類、準絶：準絶滅危惧、不足：情報不足、地域：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3-1. 31(6) 第 5 回自然環境保全基礎調査により確認された昆虫類 (行橋・葦島・豊前本庄・椎田・中津)

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	選 定 基 準				
				天然 記念物	種 の 保 存 法	環境省 RL2020	福岡県 RDB2014	
1	トンボ目	カワトンボ科	ミヤマカワトンボ					
2			アサヒナカワトンボ					
3		ヤンマ科	マルタンヤンマ					
4			クロスジギンヤンマ					
5			ギンヤンマ					
6			サラサヤンマ					
7		サナエトンボ科	ヤマサナエ					
8			アオサナエ				準絶	
9			コオニヤンマ					
10			タベサナエ			NT	準絶	
11			オグマサナエ			NT	II類	
12		ムカシヤンマ科	ムカシヤンマ				準絶	
13		エゾトンボ科	オオヤマトンボ					
14			コヤマトンボ					
15		トンボ科	ショウジョウトンボ					
16			シオカラトンボ					
17			シオヤトンボ					
18			ウスバキトンボ					
19			タイリクアカネ					
20	カメムシ目	セミ科	クマゼミ					
21			アブラゼミ					
22			ツクツクボウシ					
23			ニイニイゼミ					
24			ヒグラシ					
25			ハルゼミ					準絶
26	チョウ目	セセリチョウ科	アオバセセリ本土亜種					
27			ダイミョウセセリ					
28			クロセセリ					
29			ヒメキマダラセセリ					準絶
30			イチモンジセセリ					
31			チャバネセセリ					
32			オオチャバネセセリ					
33			キマダラセセリ					
34			コチャバネセセリ					
35			シジミチョウ科	ミズイロオナガシジミ				
36		ムラサキツバメ						
37		ムラサキシジミ						
38		ウラゴマダラシジミ						準絶
39		ルリシジミ						
40		ウラギンシジミ						
41		ツバメシジミ						
42		カラスシジミ						I B類
43		ウラナミシジミ						
44		ベニシジミ						
45		ゴイシシジミ						
46		サツマジシジミ						
47		ヤマトシジミ本土亜種						
48		タテハチョウ科	コムラサキ					
49			サカハチチョウ					
50			ミドリヒョウモン					
51			ツマグロヒョウモン					
52			イシガケチョウ					
53			メスグロヒョウモン					準絶
54			ゴマダラチョウ本土亜種					
55			メスアカムラサキ					
56			ルリタテハ本土亜種					
57			クロヒカゲ本土亜種					
58			テングチョウ日本本土亜種					
59			イチモンジチョウ					
60	ウスイロコマチョウ							
61	クロコマチョウ							
62	コジャノメ							

表 3-1.31(7) 第 5 回自然環境保全基礎調査により確認された昆虫類（行橋・葦島・豊前本庄・椎田・中津）

No.	目と名	科和名	種和名	選定基準				
				天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL2020	福岡県 RDB2014	
63	チョウ目	タテハチョウ科	ヒメジャノメ					
64			サトキマダラヒカゲ					
65			クモガタヒョウモン				II類	
66			コムスジ本州以南亜種					
67			ヒオドシチョウ				準絶	
68			アサギマダラ					
69			キタテハ					
70			オオムラサキ			NT	準絶	
71			ヒメアカタテハ					
72			アカタテハ					
73			ヒメウラナミジャノメ					
74			ウラナミジャノメ本土亜種			VU	II類	
75			アゲハチョウ科	ジャコウアゲハ本土亜種				
76				ミカドアゲハ本土亜種				
77				アオスジアゲハ				
78				カラスアゲハ本土亜種				
79				モンキアゲハ				
80				ミヤマカラスアゲハ				
81				キアゲハ				
82				ナガサキアゲハ				
83		クロアゲハ本土亜種						
84		アゲハ						
85		シロチョウ科		モンキチョウ				
86				ツマグロキチョウ			EN	II類
87				キタキチョウ				
88				スジグロシロチョウ				
89		モンシロチョウ						
90		コウチュウ目	ハンミョウ科	ナミハンミョウ				
91				トウキョウヒメハンミョウ				
92			クワガタムシ科	クワガタ				
93				スジクワガタ				
94				ヒラタクワガタ本土亜種				
95				ミヤマクワガタ				
96				ノコギリクワガタ				
97			カミキリムシ科	ツヤケシハナカミキリ				
98				キバネニセハムシハナカミキリ				
99				ヨツスジハナカミキリ				
100				チャイロヒメハナカミキリ				
101				セスジヒメハナカミキリ				
計		4目	15科	101種	0	0	5	15

注：種名及び分類等は、原則として「令和元年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト」令和元年 11 月 国土交通省 に準じています。

出典：

- ・「第 5 回自然環境保全基礎調査（自然環境情報 GIS）」環境省自然環境局生物多様性センター

重要種選定基準

- ・天然記念物：
 - 「文化財保護法」昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号〈改正〉平成 26 年 6 月 13 日 法律第 69 号に基づく天然記念物
 - 「福岡県文化財保護条例」昭和 30 年 4 月 1 日 条例第 25 号〈改正〉平成 16 年 12 月 27 日 条例第 65 号に基づく天然記念物
 - 「行橋市文化財保護条例」平成 14 年 7 月 2 日 条例第 18 号に基づく天然記念物
 - 「みやこ町文化財保護条例」平成 18 年 3 月 20 日 条例第 111 号に基づく天然記念物
 - 「築上町文化財保護条例」平成 18 年 1 月 10 日 条例第 184 号に基づく天然記念物
 - 「豊前市文化財保護条例」昭和 42 年 12 月 27 日 条例第 17 号〈改正〉平成 57 年 7 月 5 日 条例第 38 号に基づく天然記念物
- 特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物、県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物
- ・種の保存法：
 - 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」平成 4 年 6 月 5 日 法律第 75 号〈改正〉平成 29 年 6 月 2 日 法律第 51 号に基づく希少野生動植物種
 - 国内：国内希少野生動植物種
- ・環境省 RL2020：「環境省レッドリスト 2020」令和 2 年 環境省
 - EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧種 I 類(CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類)、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ・福岡県 RDB2014：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2014—爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、貝類、甲殻類その他、クモ形類—」平成 26 年 福岡県
 - 絶滅：絶滅、野生絶滅、野生絶滅、I A 類：絶滅危惧 I A 類、I B 類：絶滅危惧 I B 類、II 類：絶滅危惧 II 類、準絶滅危惧、不足：情報不足、地域：絶滅のおそれのある地域個体群

表 3-1.31(8) 第 5 回自然環境保全基礎調査により確認された貝類(陸産貝類を除く)
(行橋・葦島・豊前本庄・椎田・中津)

No.	門和名	綱和名	目和名	科和名	種和名	選定基準						
						天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL2020	環境省 RL2017 (海洋)	福岡県 RDB2014		
1	軟体動物門	腹足綱	カサガイ目	ユキノカサガイ科	シボリガイ							
2			アマオブネガイ目	アマオブネガイ科	イシマキガイ							
3						ヒロクチカノコガイ			NT	II類		
4			新生腹足目	リソガイ科		スクミリンゴガイ						
5					タニシ科	マルタニシ				VU	準絶	
6						ヒメタニシ						
7					タマキビ科	マルウズラタマキビガイ						
8						タマキビガイ						
9					ワカウラツボ科	ワカウラツボ				VU	準絶	
10					カワザンショウガイ科	クリイロカワザンショウガイ				NT	準絶	
11						カワザンショウガイ						
12						ヒナタムシヤドリカワザンショウガイ					NT	準絶
13					汎有肺目	オカミミガイ科		ナラビオカミミガイ			VU	II類
14				オカミミガイ					VU	II類		
15				キヌカツギハマシイノミガイ					VU	II類		
16			モノアラガイ科	モノアラガイ						NT	準絶	
17		二枚貝綱	イガイ目	イガイ科	ホトトギスガイ							
18				ウグイスガイ目	イタボガキ科	マガキ						
19				イシガイ目	イシガイ科		イシガイ					
20							カタハガイ				VU	IA類
21							Sinanodonta属					準絶 ^(注2)
22				マルスダレガイ目	シジミ科		ヤマトシジミ			NT	準絶	
23							マシジミ			VU	II類	
24						ドブシジミ科	ドブシジミ					
25						ハナグモリ科	ハナグモリガイ				VU	II類
26					シオサザナミ科	オチバガイ				NT	準絶	
27				異帯目	オキナガイ科	ソトオリガイ						
計	1門	2綱	9目	17科	27種	0	0	14	0	15		

注：種名及び分類等は、原則として「令和元年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト」令和元年 11 月 国土交通省 に準じています。

出典：

- ・「第 5 回自然環境保全基礎調査（自然環境情報 GIS）」環境省自然環境局生物多様性センター

重要種選定基準

- ・天然記念物：
 - 「文化財保護法」昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号 <改正>平成 26 年 6 月 13 日 法律第 69 号に基づく天然記念物
 - 「福岡県文化財保護条例」昭和 30 年 4 月 1 日 条例第 25 号 <改正>平成 16 年 12 月 27 日 条例第 65 号に基づく天然記念物
 - 「行橋市文化財保護条例」平成 14 年 7 月 2 日 条例第 18 号に基づく天然記念物
 - 「みやこ町文化財保護条例」平成 18 年 3 月 20 日 条例第 111 号に基づく天然記念物
 - 「築上町文化財保護条例」平成 18 年 1 月 10 日 条例第 184 号に基づく天然記念物
 - 「豊前市文化財保護条例」昭和 42 年 12 月 27 日 条例第 17 号 <改正>平成 57 年 7 月 5 日 条例第 38 号に基づく天然記念物
- 特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物、県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物
- ・種の保存法：
 - 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」平成 4 年 6 月 5 日 法律第 75 号 <改正>平成 29 年 6 月 2 日 法律第 51 号に基づく希少野生動植物種
 - 国内：国内希少野生動植物種
- ・環境省 RL2020：「環境省レッドリスト 2020」令和 2 年 環境省
 - EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧種 I 類(CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類)、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ・福岡県 RDB2014：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2014—爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、貝類、甲殻類その他、クモ形類—」平成 26 年 福岡県
 - 絶滅：絶滅、野生絶滅：野生絶滅、IA 類：絶滅危惧 IA 類、IB 類：絶滅危惧 IB 類、II 類：絶滅危惧 II 類、準絶：準絶滅危惧、不足：情報不足、地域：絶滅のおそれのある地域個体群

(2) その他の文献による動物の状況

① 哺乳類（陸域）

自然環境保全基礎調査以外の文献として、表 3-1.32 に示す文献を整理した結果、対象区域の陸域に生息する可能性がある哺乳類の重要な種として、表 3-1.33 に示す 4 目 7 科 8 種があげられます。

表 3-1.32 文献資料一覧（哺乳類（陸域））

発行者	文献名
福岡県	福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011—植物群落、植物、哺乳類、鳥類— 平成 23 年 11 月 福岡県

注：文献において、以下に該当する種を選定しています。

福岡県 RDB2011：「対象区域内に位置する地名(市町名、公園名等)」、「県内に広く」等

表 3-1.33 文献により確認された重要な哺乳類（陸域）（対象区域周辺）

No.	目名	科名	種名	文献	選定基準				
				福岡県 RDB2011	天然記念物	種の保存法	福岡県条例	環境省 RL2020	福岡県 RDB2011
1	コウモリ目	キクガシラコウモリ科	コキクガシラコウモリ	●					準絶
2	サル目	オナガザル科	ホンダザル	●					準絶
3	ネズミ目	リス科	ムササビ	●					準絶
4		ヤマネ科	ヤマネ	●	国天				I B 類
5		ネズミ科	スミスネズミ	●					準絶
6			カヤネズミ	●					II 類
7	ネコ目	イヌ科	ホンドキツネ	●					準絶
8		イタチ科	ホンダイタチ	●					準絶
計	4目	7科	8種	8	1	0	0	0	8

注：種名及び分類等は、原則として「令和元年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト」令和元年 11 月 国土交通省 に準じています。

重要種選定基準

・天然記念物：

「文化財保護法」昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号 <改正>平成 26 年 6 月 13 日 法律第 69 号に基づく天然記念物

「福岡県文化財保護条例」昭和 30 年 4 月 1 日 条例第 25 号 <改正>平成 16 年 12 月 27 日 条例第 65 号に基づく天然記念物

「行橋市文化財保護条例」平成 14 年 7 月 2 日 条例第 18 号に基づく天然記念物

「みやこ町文化財保護条例」平成 18 年 3 月 20 日 条例第 111 号に基づく天然記念物

「築上町文化財保護条例」平成 18 年 1 月 10 日 条例第 184 号に基づく天然記念物

「豊前市文化財保護条例」昭和 42 年 12 月 27 日 条例第 17 号 <改正>平成 57 年 7 月 5 日 条例第 38 号に基づく天然記念物

特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物、県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物

・種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」平成 4 年 6 月 5 日 法律第 75 号 <改正>平成 29 年 6 月 2 日 法律第 51 号に基づく希少野生動植物種

国内：国内希少野生動植物種

・福岡県条例：「福岡県希少野生動植物種の保護に関する条例」令和 2 年 10 月 6 日 福岡県条例第 42 号に基づく希少野生動植物種

指定：指定希少野生動植物種

・環境省 RL2020：「環境省レッドリスト 2020」令和 2 年 環境省

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧種 I 類(CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類)、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

・福岡県 RDB2011：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011—植物群落、植物、哺乳類、鳥類—」平成 23 年 福岡県

絶滅：絶滅、野生絶滅：野生絶滅、I A 類：絶滅危惧 I A 類、I B 類：絶滅危惧 I B 類、II 類：絶滅危惧 II 類、準絶：準絶滅危惧、不足：情報不足、地域：絶滅のおそれのある地域個体群

② 哺乳類（海域）

自然環境保全基礎調査以外の文献として、表 3-1.34 に示す文献を整理した結果、対象区域の海域に生息する可能性がある哺乳類の重要な種として表 3-1.35 に示す 1 目 1 科 1 種があげられます。

表 3-1.34 文献資料一覧（哺乳類（海域））

発行者	文献名
福岡県	福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011－植物群落、植物、哺乳類、鳥類－ 平成 23 年 11 月 福岡県

注：文献において、以下に該当する種を選定しています。
福岡県 RDB2011：「周防灘」

表 3-1.35 文献により確認された重要な哺乳類（海域）（対象区域周辺）

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	選定基準					
				文献 福岡県 RDB2011	天然 記念物	種 の 保 存 法	福岡県 条 例	環境省 RL2020	福岡県 RDB2011
1	クジラ目	ネズミイルカ科	スナメリ	●					準絶
計	1目	1科	1種	1	0	0	0	0	1

注：種名及び分類等は、原則として「令和元年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト」令和元年 11 月 国土交通省 に準じています。

重要種選定基準

・天然記念物：

「文化財保護法」昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号 <改正>平成 26 年 6 月 13 日 法律第 69 号に基づく天然記念物

「福岡県文化財保護条例」昭和 30 年 4 月 1 日 条例第 25 号 <改正>平成 16 年 12 月 27 日 条例第 65 号に基づく天然記念物

「行橋市文化財保護条例」平成 14 年 7 月 2 日 条例第 18 号に基づく天然記念物

「みやこ町文化財保護条例」平成 18 年 3 月 20 日 条例第 111 号に基づく天然記念物

「築上町文化財保護条例」平成 18 年 1 月 10 日 条例第 184 号に基づく天然記念物

「豊前市文化財保護条例」昭和 42 年 12 月 27 日 条例第 17 号 <改正>平成 57 年 7 月 5 日 条例第 38 号に基づく天然記念物

特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物、県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物

・種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」平成 4 年 6 月 5 日 法律第 75 号

<改正>平成 29 年 6 月 2 日 法律第 51 号に基づく希少野生動植物種

国内：国内希少野生動植物種

・福岡県条例：「福岡県希少野生動植物種の保護に関する条例」令和 2 年 10 月 6 日 福岡県条例第 42 号に基づく希少野生動植物種

指定：指定希少野生動植物種

・環境省 RL2020：「環境省レッドリスト 2020」令和 2 年 環境省

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧種 I 類 (CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類)、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

・福岡県 RDB2011：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011－植物群落、植物、哺乳類、鳥類－」平成 23 年 福岡県

絶滅：絶滅、野生絶滅：野生絶滅、I A 類：絶滅危惧 I A 類、I B 類：絶滅危惧 I B 類、II 類：絶滅危惧 II 類、

準絶：準絶滅危惧、不足：情報不足、地域：絶滅のおそれのある地域個体群

③ 鳥類

自然環境保全基礎調査以外の文献として、表 3-1.36 に示す文献を整理した結果、対象区域周辺に生息する可能性がある鳥類として、15 目 30 科 92 種があげられ、このうち重要な種は表 3-1.37 に示す 13 目 26 科 59 種が該当します。

そのうち、対象区域には干潟等を利用するシギ、チドリ類等の生息の可能性があります。

表 3-1.36 文献資料一覧（鳥類）

番号	発行者	文献名
①	福岡県	福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011—植物群落、植物、哺乳類、鳥類— 平成 23 年 11 月 福岡県
②	北九州市	平成 29 年度 曾根干潟環境調査 北九州市
③		陸と川と海が会おう場所 曾根干潟のいきもの 曾根干潟環境調査結果 北九州市環境局

注：文献において、以下に該当する種を選定しています。

- ①福岡県 RDB2011 : 「対象区域内に位置する地名(市町名、河川名等)」、「英彦山」、「周防灘」、「曾根干潟」等
- ②H29 曾根干潟調査 : 「干潟域」
- ③曾根干潟のいきもの : 全種

表 3-1.37(1) 文献により確認された重要な鳥類（対象区域周辺）

No.	目 和 名	科 和 名	種 和 名	文 献			選 定 基 準						
				福岡県 RDB2011	H29曾根干潟調査	曾根干潟のいきもの	天然記念物	種の保存法	福岡県条例	環境省 RL2020	福岡県 RDB2011		
1	キジ目	キジ科	ウズラ	●							VU	不足	
2	カモ目	カモ科	ツクシガモ	●	●	●						VU	準絶
3			ホオジロガモ	●	●								II類
4	カイツブリ目	カイツブリ科	アカエリカイツブリ	●									II類
5			カンムリカイツブリ	●	●								準絶
6	ペリカン目	サギ科	ササゴイ	●									準絶
7			アマサギ	●									準絶
8			チュウサギ	●								NT	準絶
9			クロサギ	●									準絶
10			カラシラサギ	●								NT	I B類
11		トギ科	ヘラサギ	●	●							DD	I B類
12			クロツラヘラサギ	●	●	●						EN	I B類
13	ツル目	クイナ科	クイナ	●									準絶
14			ヒクイナ	●								NT	準絶
15	カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ	●									準絶
16			ツツドリ	●									準絶
17	ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ	●								NT	I B類
18	チドリ目	チドリ科	タゲリ	●									準絶
19			ケリ	●								DD	準絶
20			イカルチドリ	●									II類
21			シロチドリ	●	●							VU	準絶
22		ミヤコドリ科	ミヤコドリ	●									II類
23		シギ科	オグロシギ	●									準絶
24			オオソリハシシギ	●	●	●						VU	準絶
25			ダイシャクシギ	●	●	●							II類
26			ホウロクシギ	●	●	●						VU	II類
27			ツルシギ	●	●							VU	

表 3-1. 37(2) 文献により確認された重要な鳥類 (対象区域周辺)

No.	目と名	科と名	種と名	文献			選定基準					
				福岡県 RDB2011	H29曽根 干潟調査	曽根干潟 のいさも の	天然 記念物	種の 保存法	福岡県 条例	環境省 RL2020	福岡県 RDB2011	
28	チドリ目	シギ科	カラフトアオアシシギ	●				国内		CR	I A類	
29			タカブシギ	●						VU	II類	
30			ウズラシギ	●								II類
31			ハマシギ	●	●	●					NT	準絶
32			ヘラシギ	●					国内		CR	I A類
33			タマシギ科	タマシギ	●						VU	準絶
34	ツバメチドリ科	ツバメチドリ	●						VU	II類		
35		カモメ科	ズグロカモメ	●	●	●				VU	II類	
36		コアジサシ	●					指定	VU	II類		
37	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ		●	●				NT		
38		タカ科	チュウヒ	●				国内		EN	I A類	
39			ハイロチュウヒ	●							準絶	
40			ツミ	●							II類	
41			オオタカ	●						NT	準絶	
42			サシバ	●						VU	準絶	
43			ノスリ	●							準絶	
44			クマタカ	●					国内	EN	I B類	
45	フクロウ目	フクロウ科	アオバズク	●							II類	
46			コミミズク	●								II類
47	ブッポウソウ目	カワセミ科	アカショウビン	●							II類	
48		ブッポウソウ科	ブッポウソウ	●					EN	I A類		
49	ハヤブサ目	ハヤブサ科	コチョウゲンボウ	●							準絶	
50			ハヤブサ			●			国内		VU	II類
51	スズメ目	ヤイロチョウ科	ヤイロチョウ	●				国内		EN	I B類	
52		カササギヒタキ科	サンコウチョウ	●							II類	
53		ツリスガラ科	ツリスガラ	●							準絶	
54		ツバメ科	コシアカツバメ	●							準絶	
55		ヨシキリ科	オオヨシキリ	●	●						準絶	
56		ヒタキ科	クロツグミ	●							準絶	
57			コマドリ	●							I A類	
58			コルリ	●							I B類	
59			コサメビタキ	●							不足	
計	13目	26科	59種	56	15	8	0	6	1	29	57	

注：種名及び分類等は、原則として「令和元年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト」令和元年11月 国土交通省 に準じています。

重要種選定基準

・天然記念物：

「文化財保護法」昭和25年5月30日 法律第214号 <改正>平成26年6月13日 法律第69号に基づく天然記念物

「福岡県文化財保護条例」昭和30年4月1日 条例第25号 <改正>平成16年12月27日 条例第65号に基づく天然記念物

「行橋市文化財保護条例」平成14年7月2日 条例第18号に基づく天然記念物

「みやこ町文化財保護条例」平成18年3月20日 条例第111号に基づく天然記念物

「築上町文化財保護条例」平成18年1月10日 条例第184号に基づく天然記念物

「豊前市文化財保護条例」昭和42年12月27日 条例第17号 <改正>平成57年7月5日 条例第38号に基づく天然記念物

特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物、県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物

・種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」平成4年6月5日 法律第75号 <改正>平成29年6月2日 法律第51号に基づく希少野生動植物種

国内：国内希少野生動植物種

・福岡県条例：「福岡県希少野生動植物種の保護に関する条例」令和2年10月6日 福岡県条例第42号に基づく希少野生動植物種

指定：指定希少野生動植物種

・環境省 RL2020：「環境省レッドリスト2020」令和2年 環境省

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧種 I 類 (CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類)、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

・福岡県 RDB2011：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2011—植物群落、植物、哺乳類、鳥類—」平成23年 福岡県

絶滅：絶滅、野生絶滅：野生絶滅、I A 類：絶滅危惧 I A 類、I B 類：絶滅危惧 I B 類、II 類：絶滅危惧 II 類、準絶：準絶滅危惧、不足：情報不足、地域：絶滅のおそれのある地域個体群

④ 両生類・爬虫類

自然環境保全基礎調査以外の文献として、表 3-1.38 に示す文献を整理した結果、対象区域周辺に生息する可能性がある両生類・爬虫類の重要な種として、両生類は 2 目 5 科 8 種、爬虫類は 2 目 3 科 4 種があげられます。

表 3-1.38 文献資料一覧（両生類・爬虫類）

発行者	文献名
福岡県	福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2014—爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、貝類、甲殻類その他、クモ形類— 平成 26 年 8 月 福岡県

注：文献において、以下に該当する種を選定しています。
 福岡県 RDB2014：「対象区域内に位置する地名(市町名)」

表 3-1.39 文献により確認された重要な両生類・爬虫類（対象区域周辺）

No.	分類	目と名	科和名	種和名	選定基準					
					文献 福岡県 RDB2014	天然 記念物	種の 保存法	福岡県 条例	環境省 RL2020	福岡県 RDB2014
1	両生類	有尾目	サンショウウオ科	チクシブチサンショウウオ ^{注)2}	●				VU ^{注)2}	準絶 ^{注)2}
2			イモリ科	アカハライモリ	●				NT	準絶
3		無尾目	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル	●					II 類
4			アカガエル科	ニホンアカガエル	●					II 類
5				ヤマアカガエル	●					II 類
6			トノサマガエル	●				NT	I B 類	
7			ツチガエル	●						準絶
8			アオガエル科	カジカガエル	●					準絶
9	爬虫類	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ	●				NT	II 類
10			スッポン科	ニホンスッポン	●				DD	不足
11		有鱗目	ナミヘビ科	ジムグリ	●					準絶
12				シロマダラ	●					準絶
計	—	4目	8科	12種	12	0	0	0	5	12

注 1：種名及び分類等は、原則として「令和元年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト」令和元年 11 月 国土交通省 に準じています。

注 2：福岡県 RDB2014 ではブチサンショウウオと記載されているが、2019 年に分類が分かれ福岡県東部に生息するものはチクシブチサンショウウオとなったため、福岡県はブチサンショウウオ、環境省はチクシブチサンショウウオとして重要種の抽出を行いました。

重要種選定基準

・天然記念物：

- 「文化財保護法」昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号 <改正>平成 26 年 6 月 13 日 法律第 69 号に基づく天然記念物
- 「福岡県文化財保護条例」昭和 30 年 4 月 1 日 条例第 25 号 <改正>平成 16 年 12 月 27 日 条例第 65 号に基づく天然記念物
- 「行橋市文化財保護条例」平成 14 年 7 月 2 日 条例第 18 号に基づく天然記念物
- 「みやこ町文化財保護条例」平成 18 年 3 月 20 日 条例第 111 号に基づく天然記念物
- 「築上町文化財保護条例」平成 18 年 1 月 10 日 条例第 184 号に基づく天然記念物
- 「豊前市文化財保護条例」昭和 42 年 12 月 27 日 条例第 17 号 <改正>平成 57 年 7 月 5 日 条例第 38 号に基づく天然記念物

特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物、県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物

- 種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」平成 4 年 6 月 5 日 法律第 75 号 <改正>平成 29 年 6 月 2 日 法律第 51 号に基づく希少野生動植物種
- 国内：国内希少野生動植物種
- 福岡県条例：「福岡県希少野生動植物種の保護に関する条例」令和 2 年 10 月 6 日 福岡県条例第 42 号に基づく希少野生動植物種
- 指定：指定希少野生動植物種
- 環境省 RL2020：「環境省レッドリスト 2020」令和 2 年 環境省
- EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧種 I 類(CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類)、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- 福岡県 RDB2014：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2014—爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、貝類、甲殻類その他、クモ形類—」平成 26 年 福岡県
- 絶滅：絶滅、野生絶滅：野生絶滅、I A 類：絶滅危惧 I A 類、I B 類：絶滅危惧 I B 類、II 類：絶滅危惧 II 類、準絶：準絶滅危惧、不足：情報不足、地域：絶滅のおそれのある地域個体群

⑤ 魚類

自然環境保全基礎調査以外の文献として、表 3-1.40 に示す文献を整理した結果、対象区域周辺に生息する可能性がある魚類として、17 目 52 科 102 種があげられ、このうち重要な種は表 3-1.41 に示す 10 目 18 科 44 種が該当します。そのうち、対象事業実施区域やその周辺の海域及び河口ではサメ類、ハゼ類、フグ類等の生息の可能性があります。

表 3-1.40 文献資料一覧（魚類）

番号	発行者	文献名
①	福岡県	福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2014—爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、貝類、甲殻類その他、クモ形類— 平成 26 年 8 月 福岡県
②	日本海洋学会 沿岸海洋研究会	日本全国沿岸海洋誌 昭和 60 年 日本海洋学会沿岸海洋研究会
③	北九州市	平成 29 年度 曾根干潟環境調査 北九州市
④	自然環境 定量評価研究会	曾根干潟の生き物 かんたんガイドブック 名前と見分け方 平成 24 年 自然環境定量評価研究会
⑤	北九州市	陸と川と海が会う場所 曾根干潟のいきもの 曾根干潟環境調査結果 北九州市環境局

注：文献において、以下に該当する種を選定しています。

- ①福岡県 RDB2014 : 「対象区域内に位置する地名(市町名、河川名等)」、「県内広域」、「周防灘」等
- ②沿岸海洋誌 : 「内海のみ」、「内海漁業資源」、「河口域」、「内湾」、「藻場」等
- ③H29 曾根干潟調査 : 底生動物調査時に出現した種
- ④かんたんガイドブック : 全種
- ⑤曾根干潟のいきもの : 全種

表 3-1.41 文献により確認された重要な魚類（対象区域周辺）

No.	目名	科名	種名	文献					選定基準					
				福岡県 RDB2014	沿岸 海洋誌	H29曾根 干潟調査	かんたん ガイド ブック	曾根干潟の いきもの	天然 記念物	種の 保存法	福岡県 条例	環境省 RL2020	環境省 RL2017 (海域)	福岡県 RDB2014
1	ヤツメウナギ目	ヤツメウナギ科	スナヤツメ南方種	●								VU		I B類
2	メジロザメ目	ドチザメ科	シロザメ		●								NT	
3			ホシザメ	●									NT	不足
4	カスザメ目	カスザメ科	カスザメ	●									NT	不足
5	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	●	●							EN		I B類
6	コイ目	コイ科	ヤリタナゴ	●								NT		II類
7			アブラボテ	●								NT		準絶
8			カネヒラ	●										準絶
9			ニッポンバラタナゴ	●								CR		I B類
10			カゼトゲタナゴ	●								EN		I B類
11			ヌマムツ	●										準絶
12			ウグイ	●										不足
13			ゼゼラ	●								VU		準絶
14		ドジョウ科	ドジョウ	●								NT		II類
15			チュウガタスジマドジョウ	●								VU		II類
16			ヤマトシマドジョウ	●								VU		準絶
17			イシドジョウ	●								EN		I A類
18	ナマズ目	ギギ科	ギギ	●										準絶
19		アカザ科	アカザ	●								VU		II類
20	サケ目	アユ科	アユ	●	●									準絶
21	ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ	●								VU		準絶
22	スズキ目	ケツギョ科	オヤニラミ	●								EN		準絶
23		キス科	アオギス	●								CR		I B類
24		アイナメ科	アイナメ		●									LP(瀬戸内海)
25		カジカ科	カジカ		●							EN(小卵型、 中卵型) NT(大卵型)		絶滅(中卵型)、準絶(大卵型)
26			カジカ中卵型	●								EN		絶滅
27			アサヒアナハゼ	●										準絶
28		イカナゴ科	イカナゴ	●	●									I B類
29		カワアナゴ科	カワアナゴ	●										準絶
30		ハゼ科	イドミミズハゼ	●								NT		II類
31			ヒモハゼ	●								NT		準絶
32			シロウオ	●								VU		準絶
33			チワラスボ	●								EN		II類
34			タビラクチ	●								VU		II類
35			トビハゼ	●			●	●				NT		II類
36			シラヌイハゼ	●								NT		準絶
37			マサゴハゼ	●								VU		準絶
38			シロチチブ	●								NT		準絶
39			シロウキハゼ	●	●							NT		準絶
40			チクゼンハゼ	●								VU		I B類
41			キセルハゼ	●	●							EN		II類
42			エドハゼ	●								VU		II類
43	フグ目	フグ科	マフグ		●									NT
44			トラフグ	●	●									準絶
計	10目	18科	44種	40	10	0	1	1	0	0	0	30	5	41

注：種名及び分類等は、原則として「令和元年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト」令和元年11月 国土交通省 に準じています。

重要種選定基準

- ・天然記念物：
 - 「文化財保護法」昭和25年5月30日 法律第214号 <改正>平成26年6月13日 法律第69号に基づく天然記念物
 - 「福岡県文化財保護条例」昭和30年4月1日 条例第25号 <改正>平成16年12月27日 条例第65号に基づく天然記念物
 - 「行橋市文化財保護条例」平成14年7月2日 条例第18号に基づく天然記念物
 - 「みやこ町文化財保護条例」平成18年3月20日 条例第111号に基づく天然記念物
 - 「築上町文化財保護条例」平成18年1月10日 条例第184号に基づく天然記念物
 - 「豊前市文化財保護条例」昭和42年12月27日 条例第17号 <改正>平成57年7月5日 条例第38号に基づく天然記念物
- 特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物、県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物
- ・種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」平成4年6月5日 法律第75号 <改正>平成29年6月2日 法律第51号 に基づく希少野生動植物種
 - 国内：国内希少野生動植物種
- ・環境省 RL2020：「環境省レッドリスト2020」令和2年 環境省
 - EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧種 I類(CR：絶滅危惧 I A類、EN：絶滅危惧 I B類)、VU：絶滅危惧 II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ・福岡県条例：「福岡県希少野生動植物種の保護に関する条例」令和2年10月6日 福岡県条例第42号に基づく希少野生動植物種
 - 指定：指定希少野生動植物種
- ・環境省 RL2017(海域)：「環境省海洋生物レッドリスト2017」平成29年3月21日 環境省
 - EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧 I A類、EN：絶滅危惧 I B類、VU：絶滅危惧 II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ・福岡県 RDB2014：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2014－爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、貝類、甲殻類その他、クモ形類－」平成26年 福岡県
 - 絶滅：絶滅、野生絶滅、I A類：絶滅危惧 I A類、I B類：絶滅危惧 I B類、II類：絶滅危惧 II類、準絶：準絶滅危惧、不足：情報不足、地域：絶滅のおそれのある地域個体群

⑥ 昆虫類

自然環境保全基礎調査以外の文献として、表 3-1.42 に示す文献を整理した結果、対象区域周辺に生息する可能性がある昆虫類の重要な種として、11 目 60 科 130 種があげられます。

表 3-1.42 文献資料一覧（昆虫類）

発行者	文献名
福岡県	福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2014—爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、貝類、甲殻類その他、クモ形類— 平成 26 年 8 月 福岡県

注：文献において、以下に該当する種を選定しています。

福岡県 RDB2014：「対象区域内に位置する地名(市町名、河川名等)」、「英彦山」、「県内」、「各地」等

表 3-1.43(1) 文献により確認された重要な昆虫類（対象区域周辺）

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	選定基準								
					文献 福岡県 RDB2014	天然 記念物	種の 保存法	福岡県 条例	環境省 RL2020	福岡県 RDB2014			
1	クモ綱	ザトウムシ目	タテヅメザトウムシ科	ヒメタテヅメザトウムシ	●					不足			
2			マザトウムシ科	ヒコスベザトウムシ	●					準絶			
3				ヒライワスベザトウムシ	●					準絶			
4				ヒトハリザトウムシ	●				NT	準絶			
5				ゴホントゲザトウムシ	●				DD	不足			
6		クモ目	トタテグモ科	キノボリトタテグモ	●				NT	不足			
7			ウシオグモ科	イソタナグモ	●					不足			
8			ガケジグモ科	ダイセンヤチグモ	●					準絶			
9	昆虫綱	トンボ目	アオイトトンボ科	オツネイトンボ	●					準絶			
10			イトトンボ科	キイトンボ	●					準絶			
11			ヤマイトトンボ科	ヤクシマトゲオトンボ	●					準絶			
12			ヤンマ科	ネアカヨシヤンマ	●				NT	II類			
13				アオヤンマ	●				NT	II類			
14			サナエトンボ科	クロサナエ	●						準絶		
15				アオサナエ	●						準絶		
16				ヒメサナエ	●						準絶		
17				タベサナエ	●					NT	準絶		
18				フタスジサナエ	●					NT	II類		
19			オグマサナエ	●					NT	II類			
20			ムカシヤンマ科	ムカシヤンマ	●						準絶		
21			エゾトンボ科	ハネビロエゾトンボ	●					VU	I B類		
22			トンボ科	オオキトンボ	●					EN	I B類		
23			ゴキブリ目	オオゴキブリ科	エサキクチキゴキブリ	●					準絶		
24			バッタ目	ギリギリス科	エヒコノササキリモドキ	●					準絶		
25			カメムシ目	ウンカ科	ハリマナガウンカ	●						準絶	
26					セミ科	エゾゼミ	●						準絶
27				キウシュウエゾゼミ	●							II類	
28					チツチゼミ	●							I B類
29					エゾハルゼミ	●							準絶
30					ハルゼミ	●							準絶
31	ヨコバイ科	フクロクヨコバイ		●					NT	II類			
32	キジラミ科	エノキカイガラキジラミ		●					NT	I B類			
33	キンカメムシ科	ニシキキンカメムシ		●						準絶			
34	アメンボ科	エサキアメンボ		●					NT	II類			
35	ミズムシ科	オモナガコミズムシ		●						II類			
36	コオイムシ科	コオイムシ		●					NT	準絶			
37	タイコウチ科	ミズカマキリ		●						準絶			
38	ナベブタムシ科	ナベブタムシ	●						II類				
39	アミメカゲロウ目	カマキリモドキ科	オオカマキリモドキ	●					II類				
40	トビケラ目	シンテイトビケラ科	シンテイトビケラ	●						不足			
41		アシエダトビケラ科	クチキトビケラ	●					NT	不足			
42		ヒゲナガトビケラ科	ギンボシツツトビケラ	●					NT	不足			
43		エグリトビケラ科	セグロトビケラ	●						不足			
44		スジトビケラ科	スジトビケラ	●						不足			
45		トビケラ科	ツマグロトビケラ	●						不足			

表 3-1. 43(2) 文献により確認された重要な昆虫類 (対象区域周辺)

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	文献	選定基準							
					福岡県 RDB2014	天然 記念物	種の 保存法	福岡県 条例	環境省 RL2020	福岡県 RDB2014			
46	昆虫綱	チョウ目	ミノガ科	アキノヒメミノガ	●						準絶		
47				オオミノガ	●						II類		
48			マダラガ科	ウスバツバメガ	●						I A類		
49				セセリチョウ科	ミヤマセセリ	●					準絶		
50				ヒメキマダラセセリ	●					準絶			
51				ミヤマチャバネセセリ	●					II類			
52			シジミチョウ科	ミズイロオナガシジミ	●						準絶		
53				ウラゴマダラシジミ	●						準絶		
54				コツバメ	●						II類		
55				スギタニルリシジミ九州亜種	●						II類		
56				オオミドリシジミ	●						I B類		
57				ミヤマカラスシジミ	●						I B類		
58				アカシジミ	●						準絶		
59				クロシジミ	●					EN	II類		
60				クロツバメシジミ九州沿岸亜種	●					NT	準絶		
61				ウラキンシジミ	●						準絶		
62				シルビアシジミ	●					EN	II類		
63				タテハチョウ科	ウラギンシジヒョウモン	●					VU	I B類	
64					メスグロヒョウモン	●						準絶	
65					ウラギンヒョウモン	●						準絶	
66			キマダラモドキ		●					NT	I B類		
67			ヒカゲチョウ		●						I B類		
68			ジャノメチョウ		●						準絶		
69			クモガタヒョウモン		●						II類		
70			ミスジチョウ		●						I B類		
71			ホシミスジ近畿地方以西亜種		●						I B類		
72			ヒオドシチョウ		●						準絶		
73			オオムラサキ		●					NT	準絶		
74			ウラナミジャノメ本土亜種		●					VU	II類		
75			ヒメキマダラヒカゲ		●						I B類		
76			シロチョウ科		ツマグロキチョウ	●				EN	II類		
77			スズメガ科	スキバホウジャク	●				VU	II類			
78			ヤガ科	ムラサキシタバ	●						不足		
79				コトラガ	●						不足		
80				アオバセダカヨトウ	●					準絶			
81			コウチュウ目	オサムシ科	ヒコサンヌレチゴミムシ	●					準絶		
82					マイマイカブリ	●						準絶	
83					セアカオサムシ	●					NT	準絶	
84					クビナガキベリアオゴミムシ	●					DD	I B類	
85					クロモンヒラナガゴミムシ	●						準絶	
86					オオヒラタトックリゴミムシ	●					CR	I B類	
87					ヒコサンオオズナガゴミムシ	●						不足	
88					ハンミョウ科	ルイスハンミョウ	●				EN	I A類	
89					ゲンゴロウ科	コガタノゲンゴロウ	●				VU	II類	
90						シマゲンゴロウ	●				NT	I B類	
91						ウスイロシマゲンゴロウ	●						準絶
92						スジゲンゴロウ	●					EX	絶滅
93						コマルケシゲンゴロウ	●					NT	準絶
94						シャープツブゲンゴロウ	●					NT	I A類
95				ミズスマシ科	コオナガミズスマシ	●				VU	I A類		
96				ガムシ科	コガムシ	●				DD	II類		
97				クワガタムシ科	ルリクワガタ四国九州亜種	●					準絶		
98				コガネムシ科	ツノコガネ	●						II類	
99					オオチャイロハナムグリ	●					NT	II類	
100					ヒロシマオオトラフハナムグリ	●					準絶		
101				ヒメドロムシ科	ヨコミヅドロムシ	●				VU	準絶		
102					セマルヒメドロムシ	●					VU	II類	
103					アワツヤドロムシ	●					準絶		
104				ジョウカイボン科	ヒコサンクビボソジョウカイ	●						II類	
105					オオサワクビボソジョウカイ	●						II類	
106				ジョウカイモドキ科	クロキオビジョウカイモドキ	●					II類		
107				テントウムシ科	ウンモンテントウ	●					II類		
108				オオキノコムシ科	オオキノコムシ	●						II類	
109					ムモンシリグロオオキノコムシ	●						不足	
110					トモンチビオオキノコムシ	●						不足	
111					アカハネムシ科	オオクシヒゲビロウドムシ	●					II類	
112					クシヒゲビロウドムシ	●					II類		
113					クロアカハネムシ	●					II類		
114					ウスイロアカハネムシ	●					II類		

表 3-1. 43(3) 文献により確認された重要な昆虫類（対象区域周辺）

No.	綱和名	目和名	科和名	種和名	文献	選定基準							
					福岡県 RDB2014	天然 記念物	種の 保存法	福岡県 条例	環境省 RL2020	福岡県 RDB2014			
115	昆虫綱	コウチュウ目	アトコブゴミムシダマシ科	アトコブゴミムシダマシ	●						不足		
116			カミキリムシ科	ヒラヤマコブハナカミキリ	●							II類	
117				ヒコサンヒゲナガコバネカミキリ	●							準絶	
118				スネケブカヒロコバネカミキリ	●							II類	
119				フクチセダカコブヤハズカミキリ	●							II類	
120				クスベニカミキリ	●							準絶	
121				フタコブルリハナカミキリ	●							II類	
122				ムナコブハナカミキリ	●							準絶	
123				ハムシ科	ヒコサンクロボシハムシ	●							不足
124					タグチホソヒラタハムシ	●							II類
125				ミツギリゾウムシ科	クロアシヒゲナガヒラタミツギリゾウムシ	●							不足
126			ゾウムシ科	タカハシトゲゾウムシ	●							不足	
127			ハチ目	フシダカバチ科	クマモトツチスガリ	●							準絶
128	テングツチスガリ	●									準絶		
129	ミツバチ科	クロマルハナバチ		●					NT		I B類		
130	ハキリバチ科	ムナカタハキリバチ本土亜種		●							準絶		
計	2綱	11目	60科	130種	130	0	0	0	40	130			

注：種名及び分類等は、原則として「令和元年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト」令和元年11月 国土交通省 に準じています。

重要種選定基準

・天然記念物：

「文化財保護法」昭和25年5月30日 法律第214号 <改正>平成26年6月13日 法律第69号に基づく天然記念物

「福岡県文化財保護条例」昭和30年4月1日 条例第25号 <改正>平成16年12月27日 条例第65号に基づく天然記念物

「行橋市文化財保護条例」平成14年7月2日 条例第18号に基づく天然記念物

「みやこ町文化財保護条例」平成18年3月20日 条例第111号に基づく天然記念物

「築上町文化財保護条例」平成18年1月10日 条例第184号に基づく天然記念物

「豊前市文化財保護条例」昭和42年12月27日 条例第17号 <改正>平成57年7月5日 条例第38号に基づく天然記念物

特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物、県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物

・種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」平成4年6月5日 法律第75号 <改正>平成29年6月2日 法律第51号 に基づく希少野生動植物種

国内：国内希少野生動植物種

・福岡県条例：「福岡県希少野生動植物種の保護に関する条例」令和2年10月6日 福岡県条例第42号に基づく希少野生動植物種

指定：指定希少野生動植物種

・環境省RL2020：「環境省レッドリスト2020」令和2年 環境省

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧種 I 類 (CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類)、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

・福岡県 RDB2014：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2014—爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、貝類、甲殻類その他、クモ形類—」平成26年 福岡県

絶滅：絶滅、野生絶滅：野生絶滅、I A 類：絶滅危惧 I A 類、I B 類：絶滅危惧 I B 類、II 類：絶滅危惧 II 類、準絶：準絶滅危惧、不足：情報不足、地域：絶滅のおそれのある地域個体群

⑦ 底生動物

自然環境保全基礎調査以外の文献として表 3-1.44 に示す文献を整理した結果、対象区域周辺に生息する可能性がある底生動物として 29 目 80 科 165 種があげられ、このうち重要な種は表 3-1.45 に示す 25 目 64 科 125 種が該当します。そのうち、対象事業実施区域やその周辺の海域及び河口では貝類、甲殻類の生息の可能性があります。

表 3-1.44 文献資料一覧（底生動物）

番号	発行者	文献名
①	福岡県	福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2014—爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、貝類、甲殻類その他、クモ形類— 平成 26 年 8 月 福岡県
②	日本海洋学会 沿岸海洋研究会	日本全国沿岸海洋誌 昭和 60 年 日本海洋学会沿岸海洋研究会
③	北九州市	平成 29 年度 曾根干潟環境調査 北九州市
④	自然環境 定量評価研究会	曾根干潟の生き物 かんたんガイドブック 名前と見分け方 平成 24 年 自然環境定量評価研究会
⑤	北九州市	陸と川と海が会う場所 曾根干潟のいきもの 曾根干潟環境調査 結果 北九州市環境局

注：文献において、それぞれ以下に該当する種をここでは選定しています。

- ①福岡県 RDB2014 : 「対象区域内に位置する地名(市町名、河川名等)」、「周防灘」、「曾根干潟」、「汽水域」等
- ②沿岸海洋誌 : 「その他の水産生物」、「河口域」、「内湾」、「藻場」等
- ③H29 曾根干潟調査 : 全種
- ④かんたんガイドブック : 全種
- ⑤曾根干潟のいきもの : 全種

表 3-1.45(1) 文献により確認された重要な底生動物（対象区域周辺）

No.	門和名	綱和名	目和名	科和名	種和名	文献					選定基準					
						福岡県 RDB2014	沿岸 海洋誌	H29曽根 干潟調査	かんたん ガイド ブック	曽根干潟の いきもの	天然 記念物	種の 保存法	福岡県 条例	環境省 RL2020	環境省 RL2017 (海域)	福岡県 RDB2014
1	刺胞動物門	花虫綱	ウミエラ目	ウミサボテン科	ウミサボテン	●				●						準絶
2	扁形動物門	有様状体綱	三岐腸目	コガタウミウズムシ科	カブトガニウズムシ	●				●				CR+EN		I A類
3	軟体動物門	腹足綱	カサガイ目	ユキノカサガイ科	ツボミガイ	●			●	●				NT		準絶
4			古腹足目	ニシキウズガイ科	キサゴ	●				●						不足
5					イボキサゴ	●		●		●				NT		II類
6			アマオブネガイ目	アマオブネガイ科	ヒロクチカノコガイ	●				●				NT		II類
7				ユキスズメガイ科	ミヤコドリガイ	●				●				NT		準絶
8					ヒナユキスズメガイ	●				●				NT		準絶
9			新生腹足目	ウミニナ科	ウミニナ	●		●		●				NT		準絶
10					イボウミニナ	●				●				VU		I B類
11			キバウミニナ科		フトヘナタリガイ	●			●	●				NT		準絶
12					シマヘナタリガイ	●			●	●				CR+EN		I B類
13					クロヘナタリガイ	●				●				CR+EN		II類
14					ヘナタリガイ	●		●		●				NT		準絶
15					カワアイガイ	●		●		●				VU		II類
16			スナモチツボ科		サナギモツボ	●				●				VU		I B類
17			ホソシジョウジガイ科		スジウネリジョウジガイ	●				●				VU		II類
18					ヌノメジョウジガイ	●				●				NT		準絶
19			ワカウラツボ科		イリエツボ	●				●				CR+EN		II類
20					サザナミツボ	●				●				NT		準絶
21					ワカウラツボ	●				●				VU		準絶
22			カワザンショウガイ科		クリイロカワザンショウガイ	●				●				NT		準絶
23					ツバカワザンショウガイ	●				●				NT		不足
24					イヨカワザンショウガイ	●				●				NT		準絶
25					ヒナカムコサドリカワザンショウガイ	●				●				NT		準絶
26					ヨシダカワザンショウガイ	●				●				NT		II類
27					オホシデンカワザンショウガイ	●				●				VU		I B類
28					カハダカワザンショウガイ	●				●				VU		準絶
29			イソコハクガイ科		シラギクガイ	●				●				NT		準絶
30					アラウズマキ	●				●				VU		準絶
31					ナギツボ	●				●				NT		準絶
32			タマガイ科		ネコガイ	●				●				NT		準絶
33					サキグロタマツメタガイ	●				●				CR+EN		不足
34					ゴマフタマガイ	●				●				CR+EN		I A類
35					ツガイ	●				●				NT		準絶
36			イトカケガイ科		オダマキ	●				●				NT		II類
37					クレハガイ	●				●				NT		準絶
38			フトコロガイ科		マルテンスマツムシ	●				●				CR+EN		I B類
39			ムシロガイ科		ヒロオビヨフバイ	●				●				CR+EN		II類
40			エツバイ科		オガイ	●				●				EN		I B類
41					ミクリガイ	●				●						準絶
42			テングニシ科		テングニシ	●				●				NT		準絶
43			バイ科		バイ	●				●				NT		II類
44			マクラガイ科		マクラガイ	●				●				NT		準絶
45			コロモガイ科		オリイレボラ	●				●				VU		II類
46			真後鰓目	ブドウガイ科	カミスジカコガイダマン	●				●				CR+EN		II類
47			汎有肺目	イソアワモチ科	センペイアワモチ	●				●				CR+EN		II類
48				オカミミガイ科	ナラビオカミミガイ	●				●				VU		II類
49					オカミミガイ	●				●				VU		II類
50					ウスコミミガイ	●				●				NT		準絶
51					クリイロコミミガイ	●				●				VU		I B類
52					キヌカツギハマシイノミガイ	●				●				VU		II類
53				モノアラガイ科	モノアラガイ	●				●				NT		準絶
54				ヒラマキガイ科	ヒラマキズマイマイ	●				●				DD		不足
55			掘足綱	ツノガイ目	ゾウゲツノガイ科	●				●						準絶
56			腹足綱	汎有肺目	イソチドリ科	ヒメゴウナ	●			●				NT		II類
57			二枚貝綱	フネガイ目	フネガイ科	●				●						準絶
58					クマサルボウ	●				●						II類
59					ビョウブガイ	●				●				CR+EN		I A類
60					ハイガイ	●		●		●				VU		I B類
61				サンカクサルボウ科	ササゲミミエガイ	●				●				CR+EN		I B類
62				イガイ目	イガイ科	●				●				CR+EN		I B類
63					コケガラス	●				●				NT		準絶
64			ウグイスガイ目	イタボガキ科	スミノエガキ	●				●				VU		II類
65					イタボガキ	●				●				CR+EN		I B類
66				ハボウキガイ科	ズベタイラギ	●				●				NT		準絶
67					リシケタイラギ	●				●				NT		準絶
68			イタヤガイ目	イタヤガイ科	イタヤガイ	●				●						準絶
69			イシガイ目	イシガイ科	トンガリササノハガイ	●				●				NT		II類
70					マツカサガイ	●				●				NT		II類
71			マルズダレガイ目	ツキガイ科	イセシラガイ	●				●				CR+EN		I B類
72				ウロコガイ科	ニッポンマメアゲマキガイ	●				●				NT		準絶
73					オウギウロコガイ	●				●				CR+EN		I B類
74				ガンツキ科	ガンツキ	●				●				CR+EN		I A類
75				シジミ科	ヤマトシジミ	●				●				NT		準絶
76					マシジミ	●				●				VU		II類

表 3-1. 45(2) 文献により確認された重要な底生動物 (対象区域周辺)

No.	門和名	綱和名	目和名	科和名	種和名	文献					選定基準								
						福岡県 RDB2014	沿岸 海洋誌	H29曽根 干潟調査	かんたん ガイド ブック	曽根干潟の いきもの	天然 記念物	種の 保存法	福岡県 条例	環境省 RL2020	環境省 RL2017 (海域)	福岡県 RDB2014			
77	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	マルスダレガイ科	シラオガイ	●				●				NT		II類			
78					チョウセンハマグリ	●				●								II類	
79					ハマグリ	●							●			VU		II類	
80					アツカガミ	●							●			CR+EN		IA類	
81					ハナグモリガイ	●							●			VU		II類	
82					ニッコウガイ科	サビシラトリガイ	●						●			NT		準絶	
83						サギガイ	●						●			NT		準絶	
84					テリザクラガイ	●			●				●			VU		II類	
85					ユウシオガイ	●							●			NT		準絶	
86					サクラガイ	●							●			NT		準絶	
87					ウスザクラガイ	●							●			NT		不足	
88					ハザクラガイ	●							●			NT		準絶	
89					フジナミガイ	●							●			CR+EN		IA類	
90					オチバガイ	●							●			NT		準絶	
91					ムラサキガイ	●							●			VU		II類	
92					アリスガイ	●							●			VU		II類	
93					オオトリガイ	●							●			NT		準絶	
94					チリメンユキガイ	●							●			CR+EN		絶滅	
95					ヤチヨノハナガイ	●							●			CR+EN		IB類	
96					ミルクイガイ	●							●			VU		II類	
97					マゴコロガイ	●							●			NT		IB類	
98					オキナガイ科	コオキナガイ	●						●			CR+EN		IA類	
99					オキナガイ属	●							●			VU		不足	
100					オオノガイ目	オオノガイ科	ヒメマスオ	●					●				VU		II類
101							クシケマスホウガイ	●						●			NT		II類
102	オオノガイ	●								●				NT		準絶			
103	クチベニガイ科	クチベニガイ	●								●					準絶			
104	環形動物門	ゴカイ綱	サシバゴカイ目	ゴカイ科	ウチワゴカイ	●				●				NT	不足				
105					イトメ	●					●					NT	不足		
106					ツバサゴカイ科	ツバサゴカイ	●					●					EN	II類	
107					オフェリアゴカイ目	オフェリアゴカイ科	ニッポンオフェリア	●					●					不足	
108					星口動物門	カブトガニ綱	カブトガニ目	カブトガニ科	カブトガニ	●			●					不足	
109					節足動物門	軟甲綱	エビ目	テッポウエビ科	クボミテッポウエビ	●			●				NT	準絶	
110				ムツアシガニ科	ヒメムツアシガニ	●			●				NT	準絶					
111				ベンケイガニ科	ウモレベンケイガニ	●			●				VU	II類					
112				クシテガニ	●				●				NT	準絶					
113				ヒメアシハラガニ	●			●	●				NT	準絶					
114				ムツハアリアケガニ科	ムツハアリアケガニ	●		●	●				NT	準絶					
115				アリアケガニ	●				●				VU	IB類					
116				アリアケモドキ	●				●					II類					
117				カワスナガニ	●				●			NT		IB類					
118				オサガニ科	オサガニ	●		●	●				NT	準絶					
119				オオヨコナガビンノ	●				●				EN	IB類					
120				スナガニ科	ハクセンシオマネキ	●			●				VU	II類					
121				シオマネキ	●				●				VU	IB類					
122				メナシビンノ科	メナシビンノ	●			●				NT	準絶					
123				カニダマシ科	ウチノミヤドリカニダマシ	●			●					IB類					
124				ジャミセンガイ科	ミドリジャミセンガイ	●			●					準絶					
125	腕足動物門	腕足綱	舌殻目	ジャミセンガイ科	ミドリジャミセンガイ	●			●					DD	準絶				
計	7門	11綱	25目	64科	125種	123	0	7	10	123	0	0	98	14	124				

注：種名及び分類等は、原則として「令和元年度河川水辺の国勢調査のための生物リスト」令和元年11月 国土交通省 に準じています。

重要種選定基準

天然記念物：

「文化財保護法」昭和25年5月30日 法律第214号 <改正>平成26年6月13日 法律第69号に基づく天然記念物

「福岡県文化財保護条例」昭和30年4月1日 条例第25号 <改正>平成16年12月27日 条例第65号に基づく天然記念物

「行橋市文化財保護条例」平成14年7月2日 条例第18号に基づく天然記念物

「みやこ町文化財保護条例」平成18年3月20日 条例第111号に基づく天然記念物

「築上町文化財保護条例」平成18年1月10日 条例第184号に基づく天然記念物

「豊前市文化財保護条例」昭和42年12月27日 条例第17号 <改正>平成57年7月5日 条例第38号に基づく天然記念物

特天：国指定特別天然記念物、国天：国指定天然記念物、県天：県指定天然記念物、市天：市指定天然記念物

・種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」平成4年6月5日 法律第75号

<改正>平成29年6月2日 法律第51号 に基づく希少野生動植物種

国内：国内希少野生動植物種

・福岡県条例：「福岡県希少野生動植物種の保護に関する条例」令和2年10月6日 福岡県条例第42号に基づく希少野生動植物種

指定：指定希少野生動植物種

・環境省RL2020：「環境省レッドリスト2020」令和2年 環境省

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧種I類(CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類)、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

・福岡県RDB2014：「福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック2014—爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、貝類、甲殻類その他、クモ形類—」平成26年 福岡県

絶滅：絶滅、野生絶滅：野生絶滅、IA類：絶滅危惧IA類、IB類：絶滅危惧IB類、II類：絶滅危惧II類、

準絶：準絶滅危惧、不足：情報不足、地域：絶滅のおそれのある地域個体群

1.4.3 その他、生物の生育・生息環境の概要

「自然環境保全基礎調査 干潟・藻場・サンゴ礁調査」（第4回調査 平成元～4年度・第5回調査 平成9～13年度 環境省自然環境局生物多様性センター）による干潟及び藻場の状況を図3-1.19に示します。

環境省による「生物多様性の観点から重要度の高い海域」として周防灘南部、「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」として長井浜から西角田漁港周辺干潟が存在します。対象区域の分布状況を図3-1.19に示します。

また、「せとうちネット」（環境省）によると、対象事業実施区域が位置する周防灘西部の藻場の面積は、合計3,292haで、最も多くを占めるのは、その他藻場を除くと、アオサ、アオノリ場2,292ha、ついでガラモ場24haとなっています。

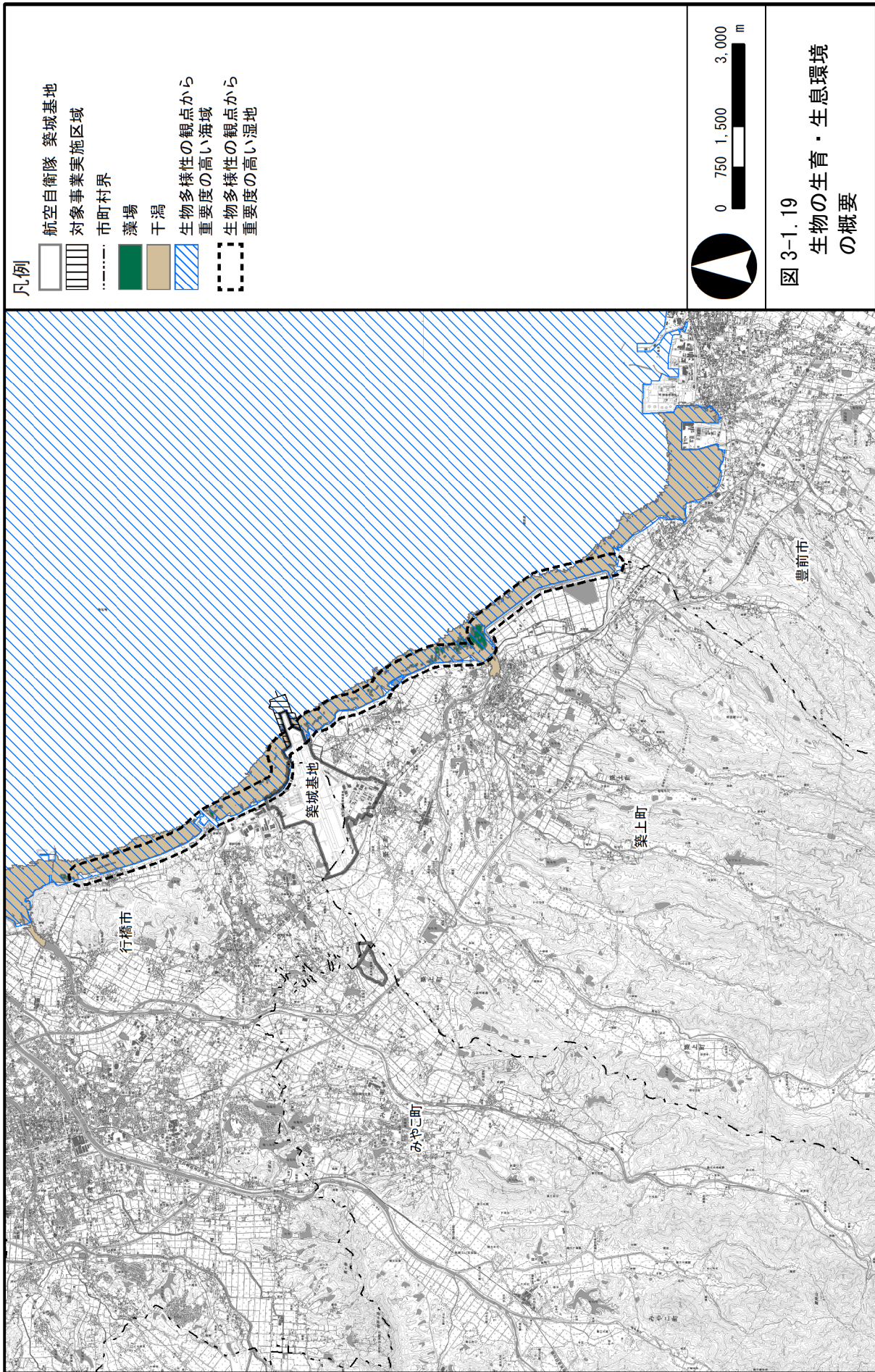
表 3-1.46 藻場のタイプ別面積(周防灘)

タイプ別面積(ha)		周防灘東部		周防灘西部	
現存藻場のタイプ別面積	コンブ場	0		0	
	アラメ場	567	(3)	8	
	ガラモ場	797	(6)	24	
	ワカメ場	97		13	
	テングサ場	477	(1)	14	
	アマモ場	362	(11)	1	
	アオサ、アオノリ場	372	(19)	2,292	(17)
	その他	180	(11)	940	(13)
合計		2,852	(51)	3,292	(30)

注：()の数字は、第2回調査(昭和53年度)以後、消滅した面積を示します。

出典：「せとうちネット」環境省(令和元年10月現在)

藻場(平成元～2年度)：「第4回自然環境保全基礎調査報告書」(環境庁、平成9年3月)



出典：「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査 調査結果（西部海域）」平成 30 年 9 月 環境省
「生物多様性の観点から重要度の高い海域」令和 2 年 6 月現在 環境省
「生物多様性の観点から重要度の高い湿地」令和 2 年 6 月現在 環境省

1.4.4 生態系の状況

対象区域における陸域及び水域生態系について、環境類型区分を図 3-1.20 に示します。既存資料調査結果から推定される生態系の状況は、以下のとおりです。

(1) 生態系の状況(陸域)

対象区域の環境類型は、樹林(広葉樹林、マツ林)、耕作地(果樹園、畑、水田)、草地(人工草地以外)、湿地・河川・池沼に区分され、これらの環境における上位性注目種として、ホンドキツネ、サギ類及びカモ類があげられます。対象区域においては、特殊性注目種の該当種はないものと推定されます。

表 3-1.47 生態系の状況(陸域)

区分	上位性	典型性	特殊性
樹林 (広葉樹林、マツ林)	哺乳類:ホンドキツネ	哺乳類:ノウサギ、ネズミ類 鳥類:シジュウカラ、モズ、キビタキ、カワラヒワ等 爬虫類・両生類:ヘビ類、カエル類 昆虫類:カミキリムシ類	—
耕作地 (果樹園、畑、水田)	哺乳類:ホンドキツネ 魚食性鳥類:サギ類	哺乳類:ノウサギ、ネズミ類 鳥類:シジュウカラ、モズ等 爬虫類・両生類:ヘビ類、カエル類 昆虫類:トンボ類、チョウ類	—
草地(人工草地以外)	哺乳類:ホンドキツネ	哺乳類:ノウサギ、ネズミ類 鳥類:モズ、カワラヒワ、ヒバリ等 爬虫類・両生類:ヘビ類、カエル類 昆虫類:チョウ類	—
湿地・河川・池沼	魚食性鳥類:サギ類、 カモ類	鳥類:オオヨシキリ等 爬虫類・両生類:ヘビ類、カエル類 昆虫類:トンボ類、チョウ類	—

注:動物、植物の既存資料調査結果を用いて区分しました。

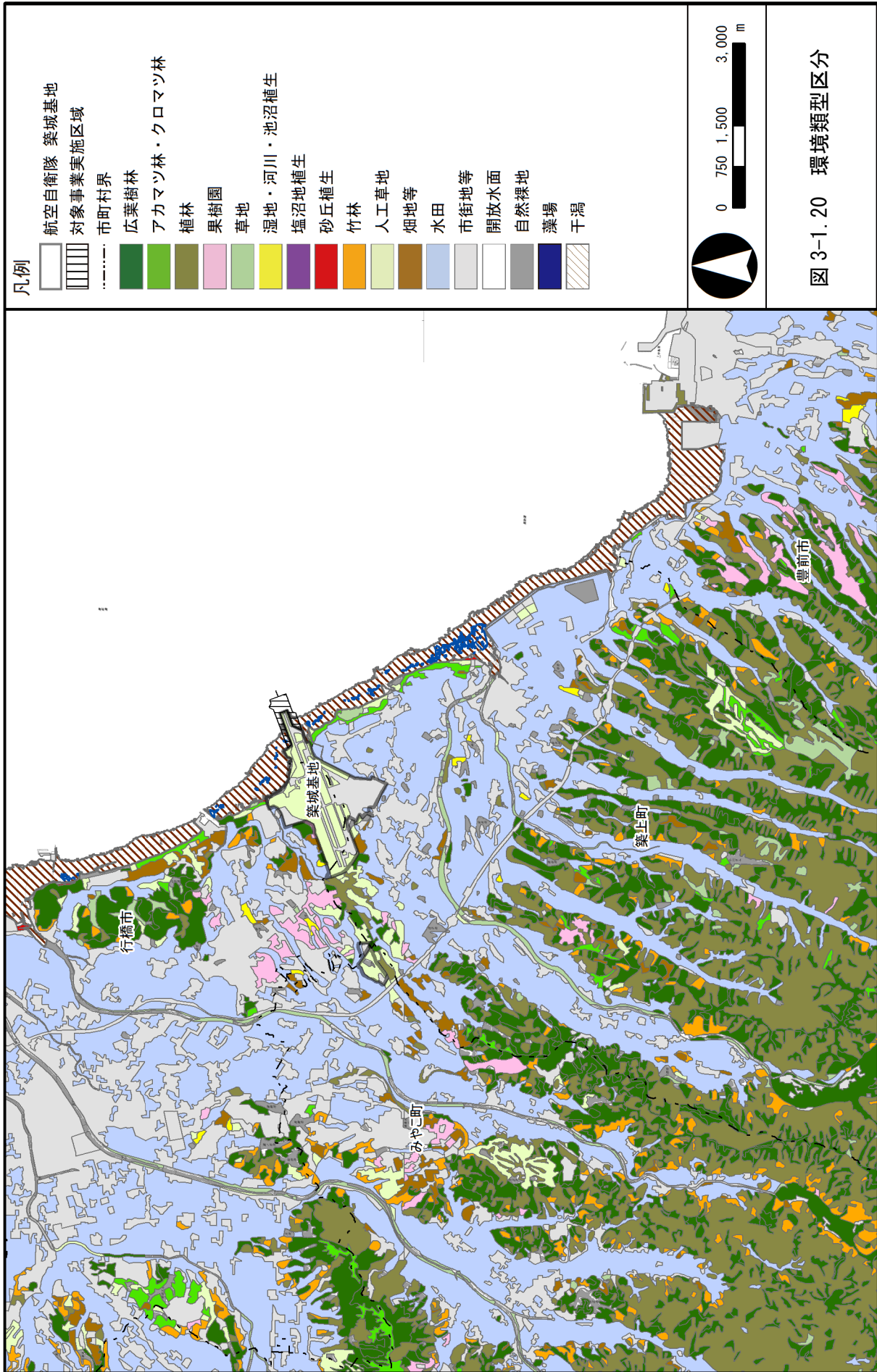
(2) 生態系の状況(水域)

対象区域の水域は、干潟、藻場及び沿岸域に区分され、これらの環境における上位性注目種として、干潟ではシギ・チドリ類、サギ類、カモ類、藻場ではスズキ等、沿岸域ではスナメリ及びミサゴがあげられます。また、特殊性注目種として、干潟のカブトガニがあげられます。

表 3-1.48 生態系の状況(水域)

区分	基質	上位性	典型性	特殊性
干潟	砂泥	鳥類:シギ・チドリ類 サギ類、カモ類	魚類:ハゼ類(トビハゼ等)等 底生動物:カワザンショウガイ、オカミミガイ、ゴカイ、ウミユナ、ヘナタリガイ、シオマネキ等 その他:植物プランクトン、動物プランクトン	カブトガニ
藻場	砂泥、 岩礁	魚食性魚類:スズキ等	魚類:メバル、アイナメ、マダイ等 底生動物:ゴカイ等 その他:植物プランクトン、動物プランクトン	—
沿岸域	砂泥、 岩礁	哺乳類:スナメリ 鳥類:ミサゴ	鳥類:カモメ類等 魚類:クサフグ、マフグ等 底生動物:ゴカイ等 その他:植物プランクトン、動物プランクトン	—

注:動物、植物の既存資料調査結果を用いて区分しました。



出典：「自然環境保全基礎調査 植生調査」平成11～16年度調査実施 環境省自然環境局生物多様性センターを基に作成。
 「自然環境保全基礎調査 干潟・藻場・サンゴ礁調査」第4回調査 平成元～4年度・第5回調査 平成9～13年度 環境省自然環境局生物多様性センター

1.5 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場

1.5.1 景観の状況

行橋市では、行橋市景観まちづくり条例（平成20年3月21日 行橋市条例第3号<改正>令和2年3月16日 行橋市条例第12号）が制定され、行橋市景観計画（令和2年3月）が策定されています。行橋市景観計画では、行橋市全域が景観計画区域とされています。

豊前市では、豊前市景観条例（平成21年6月22日 豊前市条例第11号）が制定され、豊前市景観計画が策定されています。豊前市景観計画（平成23年3月）では、豊前市全域が景観計画区域とされています。

また、京築地域（行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町）では、景観法に基づき京築広域景観計画（平成23年12月2日 福岡県 <変更>平成29年9月22日）が策定されています。

行橋市景観計画及び京築広域景観計画では、各計画の対象区域内の景観資源が抽出されています。

対象区域における景観計画、観光情報等から抽出した景観資源及び眺望点の状況を表3-1.49及び図3-1.21に示します。分類別では、眺望景観が17箇所、自然景観が28箇所、まちなみ景観が2箇所、歴史・文化景観が33箇所、なりわい景観が4箇所、祭礼景観が23箇所となっています。

表 3-1. 49(1) 景観資源及び眺望点の状況

種別	市町	図番号	名称	景観資源	眺望点	備考
眺望景観	行橋市	1	今川	○	○	
		2	長峡川	○	○	
		3	祓川		○	
		4	姥が懐（沓尾海岸）	○	○	
		5	新田原の丘陵地帯	○	○	
		6	京都平野	○	○	
		7	松原展望台広場		○	
	築上町	8	浜の宮海岸	○	○	
		9	城井川	○	○	
		10	築城町農業公園 （しいだアグリパーク）	○	○	
	みやこ町	11	京都平野	○	○	
		12	犀川駅	○		
		13	蔵持山	○	○	
	豊前市	14	豊前松江駅		○	
		15	紅葉ヶ丘公園	○	○	
		16	松江地区		○	
		17	天地山公園	○	○	
自然景観	行橋市	18	行橋総合公園		○	
		19	市役所横今川河畔	○	○	
		20	舟路川	○		
		21	長井浜海水浴場（長井浜公園）	○	○	
		22	石並松原	○	○	
		23	稲童海岸	○	○	
		24	御所ヶ谷住吉池公園	○	○	
		25	大首池	○	○	
	築上町	26	ヒモヅル群生地	○		県指定文化財
		27	メタセの杜	○	○	
		28	ふるさと公園広場		○	
		29	城井川堤防桜並木	○	○	
		30	小原不動窟の大ソテツ	○		県指定文化財
		31	小川ダム	○	○	
	みやこ町	32	本庄のクス（大楠）	○		国指定文化財
		33	八景山自然公園	○	○	
		34	豊津花菖蒲公園	○	○	
		35	大正池	○	○	
		36	本庄池	○	○	
		37	木井神社のイチイガシ	○		県指定文化財
		38	木井馬場のムクノキ	○	○	県指定文化財

注1：図番号は図3-1.21に対応しています。

注2：景観資源のうち、他の景観資源を眺望するための利用も考えられる地点を眺望点として選定しました。

出典：「行橋市景観計画」令和2年3月 行橋市

「豊前市景観計画」平成23年3月 豊前市

「京築広域景観計画」平成23年12月 福岡県

「ゆくゆくはし 行橋市観光ポータルサイト」令和3年6月現在 行橋市

「観光一覧」令和3年6月現在 築上町

「築上町観光協会オフィシャルサイト」令和3年6月現在 築上町

「みやこ町ガイドブック」令和2年2月 みやこ町

「観光情報」令和3年6月現在 豊前市

「福岡観光情報公式サイト クロスロードふくおか」令和3年6月現在 福岡県観光連盟

「豊前の民俗芸能」令和3年6月現在 豊前市

表 3-1. 49 (2) 景観資源及び眺望点の状況

種別	市町	図番号	名称	景観資源	眺望点	備考
自然景観	みやこ町	39	神楽山	○	○	
		40	蔵持の大杉（蔵持山）	○	○	県指定文化財
		41	ほたるの里公園		○	
	豊前市	42	城山桜公園	○	○	
		43	豊前フルーツランド		○	
		44	宝福寺山つつじ公園	○	○	
		45	平池公園	○	○	
まちなみ景観	行橋市	46	コスメイト行橋	○		
		47	今川河童駅	○		
歴史・文化景観	行橋市	48	旧飴屋門	○		市指定文化財
		49	道標	○		
		50	旧百三十銀行行橋支店 （煉瓦造建築物）	○		県指定文化財
		51	正ノ宮正八幡神社	○		
		52	JR 行橋駅	○		
		53	ビワノクマ古墳	○	○	県指定文化財
		54	八雷古墳 八雷神社	○	○	市指定文化財
		55	鯨塚	○		
		56	守田蓑洲旧居	○		市指定文化財
		57	松山神社	○	○	
		58	浄喜寺	○		
		59	今井～元永地区	○		
		60	今井津須佐神社	○	○	
		61	松山子安観音	○		
		62	隼人塚古墳	○		市指定文化財
		63	稲童1号掩体壕	○		市指定文化財
		64	新田原カトリック教会	○		
	65	福原長者原遺跡	○		国指定文化財	
	66	道路標柱	○		市指定文化財	
	67	郡境標柱	○		市指定文化財	
	行橋市・ みやこ町	68	御所ヶ谷神籠石	○	○	国指定文化財
		69	馬ヶ岳城跡	○	○	市指定文化財
	築上町	70	道標	○		
71		金富神社	○			
72		船迫窯跡	○	○	国指定文化財	
73		旧蔵内邸	○	○	国指定文化財 国登録文化財 県指定文化財	

注1：図番号は図3-1.21に対応しています。

注2：景観資源のうち、他の景観資源を眺望するための利用も考えられる地点を眺望点として選定しました。

出典：「行橋市景観計画」令和2年3月 行橋市

「豊前市景観計画」平成23年3月 豊前市

「京築広域景観計画」平成23年12月 福岡県

「ゆくゆくはし 行橋市観光ポータルサイト」令和3年6月現在 行橋市

「観光一覧」令和3年6月現在 築上町

「築上町観光協会オフィシャルサイト」令和3年6月現在 築上町

「みやこ町ガイドブック」令和2年2月 みやこ町

「観光情報」令和3年6月現在 豊前市

「福岡観光情報公式サイト クロスロードふくおか」令和3年6月現在 福岡県観光連盟

「豊前の民俗芸能」令和3年6月現在 豊前市

表 3-1. 49 (3) 景観資源及び眺望点の状況

種別	市町	図番号	名称	景観資源	眺望点	備考
歴史・文化景観	築上町	74	妙見宮葛城神社	○	○	
		75	弘法大師窟	○		
	みやこ町	76	豊前国府跡	○	○	県指定文化財
		77	豊前国分寺跡 三重塔	○	○	国指定文化財 県指定文化財
		78	旧福岡県立育徳館高校講堂「思永館」	○		県指定文化財
	豊前市	79	黒部古墳群	○	○	県指定文化財
		80	宇島港	○	○	
なりわい景観	行橋市	81	新田原地区の果樹園	○		
	築上町	82	日奈古地区の果樹園	○		
	みやこ町	83	豊津地区の茶畑	○		
		84	奈古地区の果樹園	○		
祭礼景観	行橋市	85	元永神楽	○		国指定文化財
		86	今井祇園行事	○		県指定文化財
		87	下検地楽	○		県指定文化財
		88	稲童神楽	○		国指定文化財
		89	道場寺神楽	○		国指定文化財
	築上町	90	高塚楽	○		市指定文化財
		91	赤幡神楽	○		県指定文化財
		92	金富神楽	○		
		93	岩丸神楽	○		市指定文化財
		94	小原神楽	○		市指定文化財
	みやこ町	95	岩戸神楽	○		市指定文化財
		96	光富神楽	○		国指定文化財
		97	生立八幡神社山笠	○		県指定文化財
		98	上高屋神楽	○		国指定文化財
		99	横瀬神楽	○		国指定文化財
	豊前市	100	中村神楽	○		国指定文化財
		101	角田八幡神社神幸祭	○		
102		豊前楽	○		市指定文化財	
103		大村神楽	○		国指定文化財	
104		大富神社神幸祭	○		県指定文化財	
105		感応楽	○		国指定文化財	
106		若楽	○			
107		宇島神社神幸祭	○		市指定文化財	

注1：図番号は図3-1.21に対応しています。

注2：景観資源のうち、他の景観資源を眺望するための利用も考えられる地点を眺望点として選定しました。

出典：「行橋市景観計画」令和2年3月 行橋市

「豊前市景観計画」平成23年3月 豊前市

「京築広域景観計画」平成23年12月 福岡県

「ゆくゆくはし 行橋市観光ポータルサイト」令和3年6月現在 行橋市

「観光一覧」令和3年6月現在 築上町

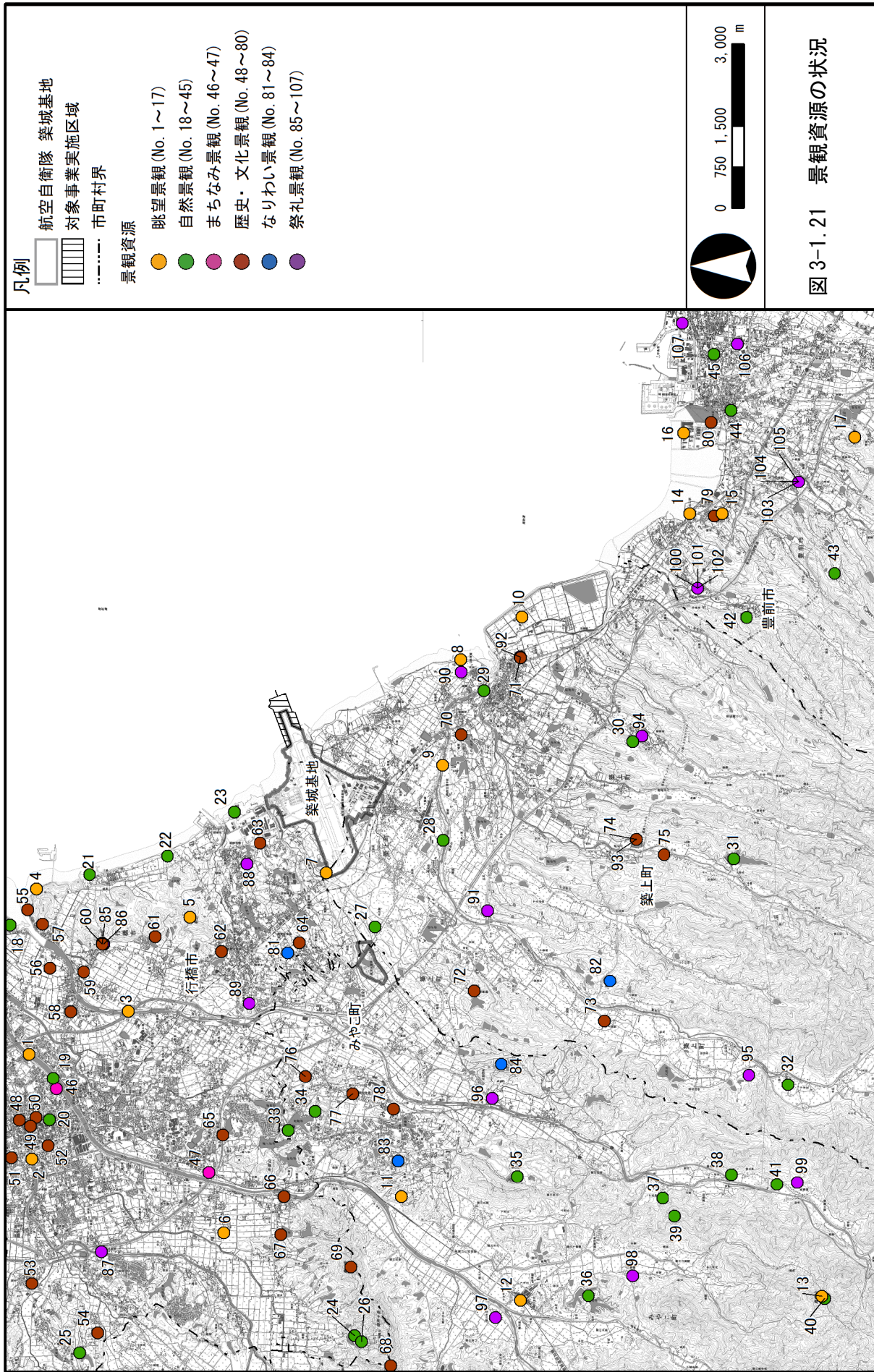
「築上町観光協会オフィシャルサイト」令和3年6月現在 築上町

「みやこ町ガイドブック」令和2年2月 みやこ町

「観光情報」令和3年6月現在 豊前市

「福岡観光情報公式サイト クロスロードふくおか」令和3年6月現在 福岡県観光連盟

「豊前の民俗芸能」令和3年6月現在 豊前市



出典：「行橋市景観計画」令和2年3月 行橋市
 「豊前市景観計画」平成23年3月 豊前市
 「京築広域景観計画」平成23年12月 福岡県
 「ゆくゆくはし 行橋市観光ポータルサイト」令和3年6月現在 行橋市
 「観光一覧」令和3年6月現在 築上町

「築上町観光協会オフィシャルサイト」令和3年6月現在 築上町
 「みやこ町ガイドブック」令和2年2月 みやこ町
 「観光情報」令和3年6月現在 豊前市
 「福岡観光情報公式サイト クロスロードふくおか」令和3年6月現在 福岡県観光連盟
 「豊前の民俗芸能」令和3年6月現在 豊前市

1.5.2 人と自然との触れ合いの活動の場の状況

対象区域における人と自然との触れ合いの活動の場に該当する場所を表 3-1.50 及び図 3-1.22 に示します。対象区域には 33 件の人と自然との触れ合いの活動の場があり、対象事業実施区域に最も近い人と自然との触れ合いの活動の場として松原展望台広場があります。

表 3-1.50(1) 人と自然との触れ合いの活動の場の状況

市町	図番号	名称	概要
行橋市	1	行橋総合公園	市民体育館、人工芝のサッカー場から武道場、弓道場、庭球場、多目的グラウンド、オートキャンプ場等が整備されており、競技大会や催しに幅広く利用されています。
	2	舟路川	行橋の町中を南北に流れる今川と長峽川を結ぶ小運河。レンガを敷き詰めた遊歩道が整備され、市民の散策スポットとして親しまれています。
	3	長井浜海水浴場 (長井浜公園)	春にはまて貝を掘る行楽客で賑わい、夏にはビーチスポーツを楽しむことができます。散歩やヨガを楽しむスポットとしても親しまれています。
	4	今川の桜並木	今川の兩岸に咲き誇る千本の桜並木。「さくらウォーク in ゆくはし」では今川湖畔を含む約 5.8km の距離を多くの人が歩きます。
	5	松原展望台広場	航空自衛隊築城基地の滑走路を一望できる公園です。芝生広場や休憩所などもあり、子ども連れでも気軽に遊べます。
	6	御所ヶ谷住吉池公園	水と緑あふれるいこいの空間。すぐそばには国史跡 御所ヶ谷神籠石が広がっています。
行橋市・みやこ町	7	馬ヶ岳城跡	黒田官兵衛が九州最初の居城とした中世の山城です。登山コースが整備されていて、山頂までは 1 時間程度で到着します。見晴らしがよく、この地方が一望できる眺望が魅力です。
築上町	8	綱敷天満宮	境内には菅原道真公にちなみ約 1,000 本の梅の木が植えられ、「しいだ梅まつり」が毎年開催されるなど道真公を偲び慕ぶイベントが開催されています。
	9	浜の宮海岸	豊前海を一望できる絶景が魅力で、福岡県の「自然百選」にも選ばれた樹齢 300 年以上のクロマツ林が続いています。潮干狩りスポットにもなっています。
	10	築上町農業公園 (しいだアグリパーク)	潮風を感じながら自然と遊ぶ築城町内で最も大きい公園です。遊具施設、芝生広場、スポーツ施設があり、毎年 10 月には町内最大のイベント「ちくじょう祭り」の会場としても使われ、多くの来場者でにぎわいます。
	11	城井川堤防桜並木	城井川河川敷一帯の癒しスポットです。約 600 本のソメイヨシノが植えられており、満開を迎えるころには、桜のトンネルが出現し、多くの花見客でにぎわいます。
	12	小原不動窟の大ソテツ	真如寺川の岸边、岩肌が切り立った小原不動窟の前に、大ソテツが生育しています。樹齢は 250 年から 400 年と推測され、県内はもとより近県でも例を見ない大きさです。県の天然記念物に指定されています。

注：図番号は図 3-1.22 に対応しています。

出典：「行橋市観光パンフレット」令和 3 年 6 月現在 行橋市役所 商業観光課

「ゆくゆくゆくはし行橋市観光ポータルサイト」令和 3 年 6 月現在 行橋市

「築上町観光協会オフィシャルサイト」令和 3 年 6 月現在 築上町

「観光一覧」令和 3 年 6 月現在 築上町

「みやこ町ガイドブック」令和 2 年 2 月 みやこ町

「観光情報」令和 3 年 6 月現在 豊前市

「福岡観光情報公式サイト クロスロードふくおか」令和 3 年 6 月現在 福岡県観光連盟

表 3-1. 50(2) 人と自然との触れ合いの活動の場の状況

市町	図番号	名 称	概 要
築上町	13	ふるさと公園広場	コンパクトにまとまった公園で、野外ステージもあり、休憩できる東屋もあります。
	14	女鹿清水	この湧水を飲むとお乳の出がよくなるといわれ、乳の観音様の水として、水を汲んで帰る方が絶えません。
	15	小川ダム	1996年に竣工したロックフィル方式の城井川水系のダムです。周回道路に沿って桜があり、春に美しい光景を水面に映します。
	16	メタセの杜	物産館の周囲にメタセコイアの並木があり、憩いの場として利用されています。芝生広場や遊具も整備されています。
	17	不老山正光寺	9月には珍しい白い彼岸花が境内に咲き誇ることで知られており、「白い彼岸花祭り」は多くの観光客でにぎわいます。
	18	本庄の大楠	大楠神社境内にある推定樹齢1900年の巨樹です。日本三大楠の一つであり、国の天然記念物にも指定されています。毎年10月頃にこの大楠をライトアップしてクラシックコンサートが開かれます。
みやこ町	19	八景山自然公園	八景山山麓には古墳時代後期に造られた数多くの古墳があり、古墳を包むように山全体に桜が植えられ、満開時には桜色の山になります。
	20	本庄池	池は周囲を遊歩道で囲まれており、春には桜、5月下旬から6月にかけて菖蒲の花を見ることができます。遊歩道の他にも吊り橋や浮き橋が整備されていて、バードウォッチングにも最適です。
	21	豊津花菖蒲公園	三千株、約1万本の花菖蒲が5月下旬から6月中旬まで、約30種類の白や紫の花を咲かせます。6月には「花しょうぶまつり」が開催され多くの人でにぎわいます。
	22	ほたるの里公園	祓川沿岸にある川遊びが楽しめる公園です。ウォータースライダー、自然石を使った緩傾斜護岸や飛び石などが設置されており、自然の雰囲気を残しながら利用できます。
	23	豊前国府跡公園	九世紀頃、現在のみやこ町国作に設置された豊前国の行政を司った役所跡が歴史公園として整備されています。子どもが楽しめる遊具も設置され、広い園内で思い切り楽しめます。
	24	蔵持山	蔵持山は「英彦山六峰」の一つに数えられる豊前地方屈指の霊山で、千年以上の歴史を誇り、山内には数々の遺跡が残されています。
	25	神楽山	木井馬場地区の背後にそびえる神楽山は標高272m。黒田官兵衛に滅ぼされるまで約400年間この地を治めた宇都宮氏が、神楽山頂に要害を構えていました。山頂一帯には土の要塞としての痕跡がよく残っています。
	26	豊前国分寺跡公園	2月、3月には園内に植えられた約100本の梅が可憐な花を咲かせ甘い香りとともに春の訪れを告げてくれます。2月下旬には「三重塔まつり」が開催されます。

注：図番号は図3-1.22に対応しています。

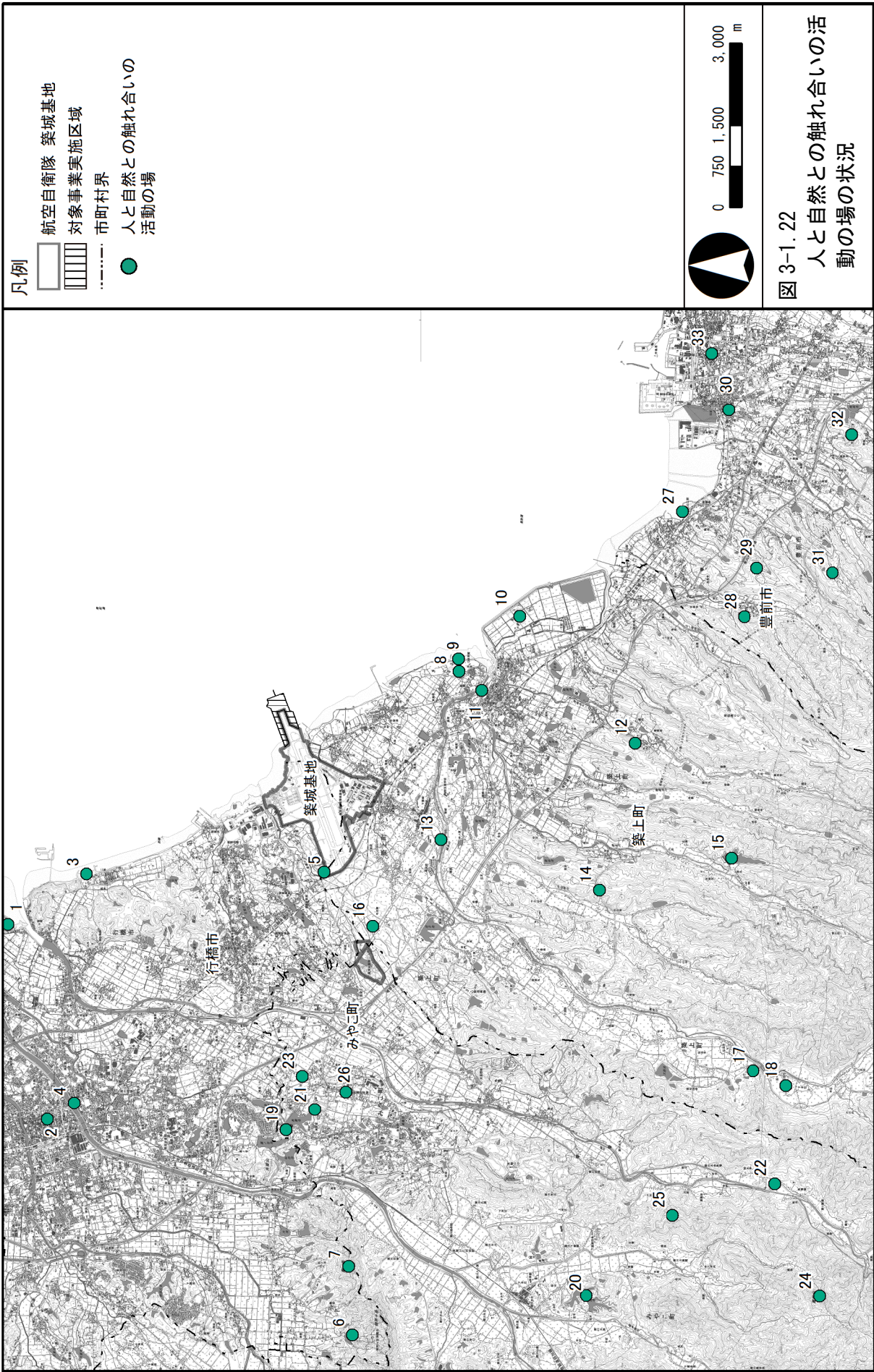
出典：「行橋市観光パンフレット」令和3年6月現在 行橋市役所 商業観光課
 「ゆくゆくはし行橋市観光ポータルサイト」令和3年6月現在 行橋市
 「築上町観光協会オフィシャルサイト」令和3年6月現在 築上町
 「観光一覽」令和3年6月現在 築上町
 「みやこ町ガイドブック」令和2年2月 みやこ町
 「観光情報」令和3年6月現在 豊前市
 「福岡観光情報公式サイト クロスロードふくおか」令和3年6月現在 福岡県観光連盟

表 3-1. 50(3) 人と自然との触れ合いの活動の場の状況

市町	図番号	名 称	概 要
豊前市	27	松江海岸	JR 豊前松江駅から徒歩 10 分ほどの距離にある松江海岸では、アサリ貝やマテ貝を掘ることができます。
	28	城山桜公園	馬場地区にある馬場城跡は、地域住民により城山桜公園として整備されています。石段の登山道が整備されており、山頂の城跡全体には、染井吉野や八重桜、河津桜、山桜などが植えられています。
	29	静豊園の河津桜	静豊園では園主が大切に育てた河津桜約 300 本が、毎年、大輪の花を咲かせています。静豊園は個人所有のみかん栽培農地で、河津桜が見ごろを迎える時期に限り園主のご好意で無料開放されています。
	30	宝福寺山つつじ公園	ヨドガワ・キリシマなどを中心に約 3,000 本のツツジが公園を覆います。見頃の 4 月下旬～5 月上旬には、つつじ祭りが開催されます。
	31	豊前フルーツランド	季節毎に様々なフルーツ狩りが楽しめる観光農場です。周防灘が一望できる景観も魅力です。
	32	天地山公園	日本の都市公園百選に登録されている雄大で緑豊かな公園です。展望広場からは、市街地から周防灘へ広がる素晴らしい景観を見ることができます。野外音楽堂、冒険広場、子ども広場、芝生広場などがあります。
	33	平池公園	豊前市の中心市街地にある公園で、花見の名所です。遊具も備えた公園です。3 月中旬から 4 月中旬頃にかけて地元商店街主催のさくら祭りが行われます。

注：図番号は図 3-1. 22 に対応しています。

出典：「行橋市観光パンフレット」令和 3 年 6 月現在 行橋市役所 商業観光課
 「ゆくゆくは行橋市観光ポータルサイト」令和 3 年 6 月現在 行橋市
 「築上町観光協会オフィシャルサイト」令和 3 年 6 月現在 築上町
 「観光一覧」令和 3 年 6 月現在 築上町
 「みやこ町ガイドブック」令和 2 年 2 月 みやこ町
 「観光情報」令和 3 年 6 月現在 豊前市
 「福岡観光情報公式サイト クロスロードふくおか」令和 3 年 6 月現在 福岡県観光連盟



出典：「行橋市観光パンフレット」令和3年6月現在 行橋市役所 商業観光課
 「ゆくゆくゆくはし行橋市観光ポータルサイト」令和3年6月現在 行橋市
 「築上町観光協会オフィシャルサイト」令和3年6月現在 築上町
 「観光一覧」令和3年6月現在 築上町

「みやこ町ガイドブック」令和2年2月 みやこ町
 「観光情報」令和3年6月現在 豊前市
 「福岡観光情報公式サイト」クロスロードふくおか
 令和3年6月現在 福岡県観光連盟

図 3-1-22
 人と自然との触れ合いの活動の場の状況

1.6 歴史的文化的環境

1.6.1 指定文化財の状況

対象区域における指定文化財の状況を表 3-1.51 及び図 3-1.23 に示します。指定文化財は、国指定文化財が 9 件（図番号 2-1～2-9 豊前神楽は 1 件、図番号 3 は行橋市及びみやこ町にまたがり存在します）、国登録文化財が 3 件、県指定文化財が 36 件、市町指定文化財が 71 件あり、全部で 119 件あります。

表 3-1.51(1) 指定文化財の状況(行橋市)

指定	種 別	図番号	名 称
国指定	重要文化財（考古資料）	1	福岡県稲童古墳群出土品
	重要無形民俗文化財	2-1	豊前神楽（稲童神楽）
		2-2	豊前神楽（今井神楽）
		2-3	豊前神楽（道場寺神楽）
		2-4	豊前神楽（元永神楽）
	史跡	3	御所ヶ谷神籠石
4		福原長者原官衙遺跡	
県指定	有形文化財（建造物）	5	旧百三十銀行行橋支店
	有形文化財（工芸）	6	梵鐘 應永廿八年在銘
	有形文化財（歴史資料）	7	仏山塾関連資料
	有形文化財（考古資料）	8	稲童古墳群第 8・15・21 号墳出土品
	無形民俗文化財	9	今井祇園行事
		10	下検地楽
	史跡	11	ビワノクマ古墳
		12	仏山塾(水哉園)跡
天然記念物	13	御所ヶ谷のヒモヅル自生地	
市指定	有形文化財（建造物）	14	旧飴屋門
	有形文化財（絵画）	15	絹本著色親鸞聖人像附 裏書
		16	絹本著色親鸞聖人絵伝
		17	紙本著色良慶上人像
	有形文化財（彫刻）	18	木造八幡神坐像
		19	木造如意輪観音坐像
	有形文化財（古文書）	20	国作手永大庄屋御用日記
	有形文化財（歴史資料）	21	大橋村 行事村 宮市村見取図
	有形文化財（考古資料）	22	馬場代 2 号墳出土品
	有形民俗文化財	23	郡境標柱
		24	郡境標柱
		25	郡境標柱
		26	道路標柱
		27	絵馬「張良吹簫散楚兵」
	史跡	28	隼人塚古墳
29		八雷古墳	
30		稲童 1 号掩体壕	
31		守田蓑洲旧居	
32		馬ヶ岳城跡	

注：図番号は図 3-1.23 に対応しています。

出典：「行橋市内の文化財」令和 3 年 6 月現在 行橋市

表 3-1. 51 (2) 指定文化財の状況(築上町)

指定	種 別	図番号	名 称	
国指定	史跡	33	船迫窯跡	
	天然記念物	34	本庄のクス	
	名勝	35	旧蔵内氏庭園	
国登録	有形文化財	36	旧蔵内家住宅大玄関ほか 11 棟	
県指定	有形文化財	37	旧蔵内家住宅	
		—	小倉懸烙印	
		38	紙本著色怒天神像	
		39	西山宗因筆連歌懐紙 一、賦初何連歌百韻 一冊 二、浜宮千句 一冊 附 連歌懐紙箱 一箱	
			40	小笠原家奉納和歌集及び連歌懐紙 一、浜宮聖廟法楽詠五十首和歌 一卷 二、夢想之連歌百韻 一冊 三、聖廟之法楽百韻 一冊
	無形民俗文化財	41		円座餅搗き行事
		42	赤幡神楽	
	天然記念物	43	小原不動窟の大ソテツ	
	町指定	有形文化財(建造物)	44	本庄の雪穴
		有形文化財(彫刻)	45	木造文殊菩薩騎獅像
有形文化財(工芸品)		46	日奈古瑞光寺の無縫塔	
		47	下日奈公民館の無縫塔	
有形文化財(歴史資料)		48	双子池記念碑	
		49	大楠宮小楠宮社記	
		50	宇都宮鎮房奉納額	
		51	城井谷絵図	
		52	香春藩論文高札	
有形文化財(書跡)		53	築城軍幸延塚卯右衛門 天保七年十二月二日の書置	
有形民俗文化財		54	杣始之儀絵図	
		55	女鹿谷観音堂略図	
		—	宇佐宮杣始御昼休掛札	
		56	つなぎ馬の絵馬	
無形民俗文化財		57	岩戸楽	
		58	岩戸神楽	
		59	安武楽	
		60	高塚楽	
		61	小原神楽	
		62	岩丸神楽	
	63	船迫窯跡地区高木神社神幸行事		
史跡	64	龍神の石畳及び記念碑		
天然記念物	65	大楠神社のサカキ		
	66	岩戸見神社のイチイガシ		
	67	小原正八幡神社のイチイガシ		
	68	小原正八幡神社のクス		

注 1：図番号は図 3-1. 23 に対応しています。

注 2：図番号の記載がないものは個人所有のため位置は示していません。

出典：「築上町内の指定文化財一覧」令和元年 10 月確認 築上町

「新指定の築上町文化財」令和 3 年 6 月現在 築上町教育委員会

表 3-1.51(3) 指定文化財の状況(みやこ町)

指定	種 別	図番号	名 称
国指定	史跡	3	御所ヶ谷神籠石
		69	豊前国分寺跡
	無形民俗文化財	2-5	豊前神楽 光富保存会
		2-6	豊前神楽 上高屋神楽保存会
		2-7	豊前神楽 横瀬神楽講
県指定	有形文化財(建造物)	70	三重塔
		71	旧福岡県立豊津中学校講堂 「思永館」
	有形文化財(彫刻)	72	木造僧形八幡神坐像
		73	木造阿弥陀如来坐像
	有形文化財(工芸)	74	銅製鰐口 永享八年銘
		75	銅製鰐口 宝徳元年、大工頼安銘
		76	銅製鰐口 無銘
		77	金銅十一面観音懸仏
	有形文化財(歴史資料)	78	小笠原文庫
	無形民俗文化財	79	生立八幡神社山笠
	史跡	80	豊前国府跡
		81	彦徳甲塚古墳
		82	上坂廃寺跡
		83	皆見大塚古墳
	天然記念物	84	木井馬場のムクノキ
		85	蔵持の大杉
		86	木井神社のイチイガシ
町指定	有形文化財(工芸)	87	刀 紀政広 作
		88	銅造小懸仏
	有形文化財(絵画)	89	胎蔵界曼荼羅図
	有形文化財(歴史資料)	90	小宮豊隆資料
	有形文化財(考古資料)	91	下田経塚出土品
		92	山鹿宮田遺跡出土経筒等鋳型資料
	有形民俗文化財	93	鉞
		94	獅子頭
		95	木製鋏
		96	安武手永大庄屋文書
	記念物(史跡)	97	蔵持山修験道遺跡
		98	豊前国分尼寺跡
		99	甲塚方墳
100		庄屋塚古墳	
101		馬ヶ岳城跡	
天然記念物	102	生立八幡宮の大楠	
	103	天八幡神社の大樟	

注1: 図番号は図 3-1.23 に対応しています。

注2: 図番号の記載がないものは個人所有のため位置は示していません。

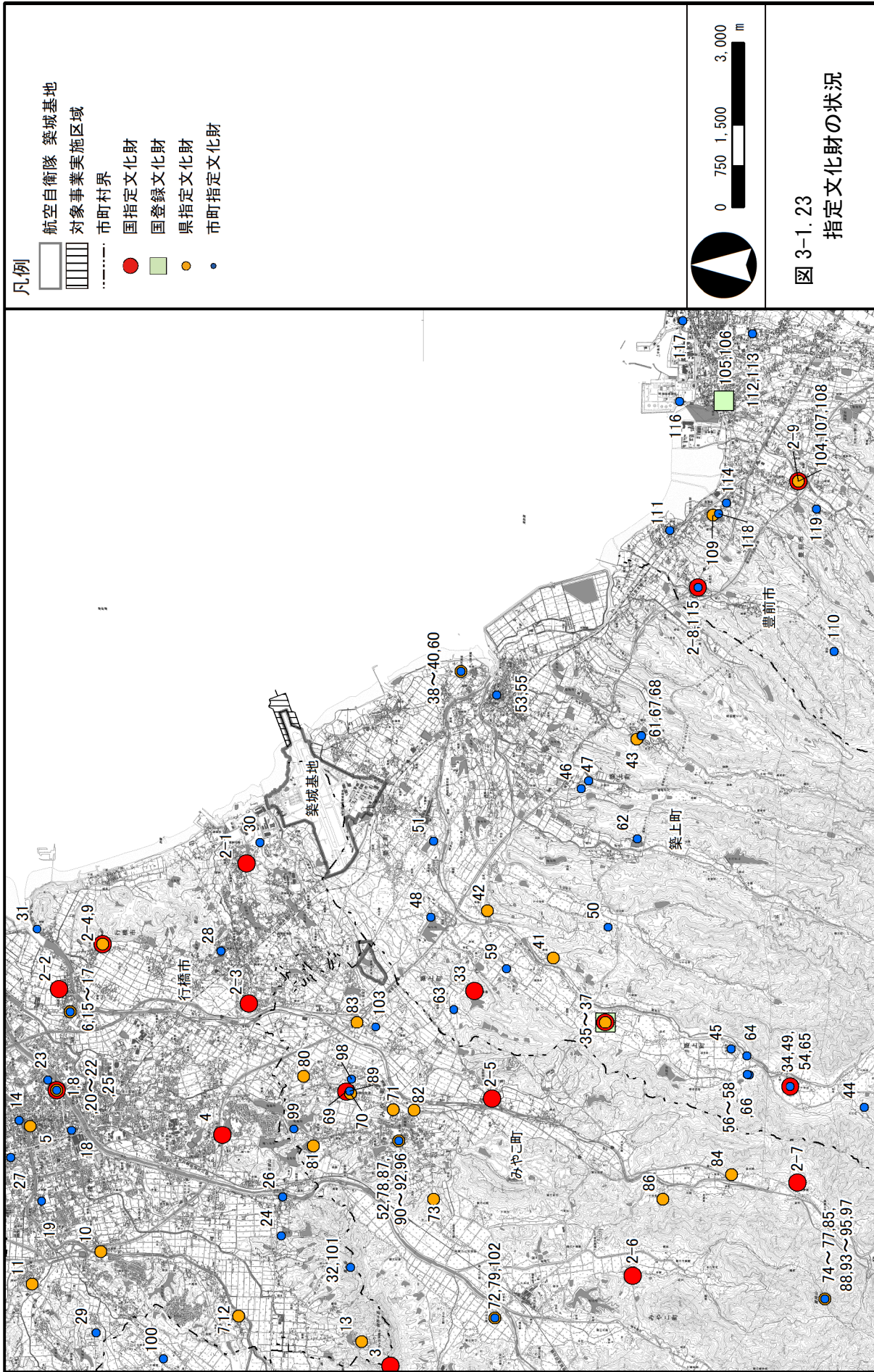
出典: 「R3 みやこ町指定文化財所在地等一覧」令和3年4月現在 みやこ町教育委員会

表 3-1.51 (4) 指定文化財の状況(豊前市)

指定	種 別	図番号	名 称
国指定	重要無形民俗文化財	2-8	豊前神楽(豊前市の岩戸神楽) 中村神楽保存会
		2-9	豊前神楽(豊前市の岩戸神楽) 大村神楽講
		104	感応楽
国登録	登録有形文化財	105	浦野醤油屋醸造元主屋
		106	浦野醤油屋醸造元塀
県指定	有形民俗文化財	107	大富神社の棟札
	無形民俗文化財	108	大富神社神幸祭(八屋祇園)
	史跡	109	黒部古墳群
市指定	有形文化財(彫刻)	110	木造不動明王像及び脇侍二童子像
	有形文化財(絵画)	111	浄圓寺絹本阿弥陀来迎図
	有形文化財(考古)	112	鬼木四反田遺跡及び関連遺跡出土青銅器
		113	黒部古墳群出土遺物
	有形文化財(歴史)	114	上毛・築城の郡界石
	無形民俗文化財	115	角田八幡神社の豊前楽
		116	巖島神社の百手祭
		117	宇島祇園
	史跡	118	黒峰尾古墳群
119		平原横穴墓群	

注：図番号は図 3-1.23 に対応しています。

出典：「豊前市内指定文化財一覧」令和 3 年 4 月現在 豊前市



- 凡例
- 航空自衛隊 築城基地
 - 対象事業実施区域
 - 市町村界
 - 国指定文化財
 - 国登録文化財
 - 県指定文化財
 - 市町指定文化財

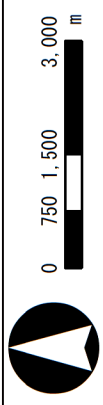


図 3-1-23
指定文化財の状況

出典：「行橋市内の文化財」令和3年6月現在 行橋市
「築上町内の指定文化財一覧」令和元年10月確認 築上町
「新指定の築上町文化財」令和3年6月現在 築上町
「R3 指定文化財等分布図」令和3年4月現在 みやこ町教育委員会
「豊前市内指定文化財一覧」令和3年4月現在 豊前市

1.6.2 埋蔵文化財等の状況

対象事業実施区域及び航空自衛隊築城基地周辺における埋蔵文化財等の状況を表 3-1.52 及び図 3-1.24 に、対象区域における埋蔵文化財等の状況を表 3-1.53 に示します。航空自衛隊築城基地周辺においては、16 件の埋蔵文化財が分布しています。

表 3-1.52 航空自衛隊築城基地周辺の埋蔵文化財等の状況

市町村	図番号	名 称	種 別	時 代
行橋市	1	渡築紫遺跡(A区)	古墳	古墳時代
	2	渡築紫遺跡(C区)	集落跡	旧石器時代・古墳時代
	3	松原尾曲古墳	古墳	古墳時代
	4	松原遺跡群(1地区)	散布地	-
	5	松原遺跡群(2地区)	散布地	-
築上町	6	西八田・平原遺跡	集落跡	縄文～古墳時代
	7	西八田・堂ノ本遺跡	居館跡	鎌倉～江戸時代
	8	西八田・灰塚遺跡	集落跡	弥生～古墳時代
	9	西八田・香楽遺跡	集落跡	鎌倉～室町時代
	10	野ノ仲城跡推定地	城跡	鎌倉～室町時代
	11	西八田・八田久保遺跡	散布地	不明
	12	西八田・寒田遺跡	散布地	不明
	13	西八田・勘蔵遺跡	集落跡	鎌倉時代
	14	西八田・道天遺跡	散布地	不明
	15	東八田・松ヶ迫遺跡	散布地	不明
	16	狐塚遺跡	墓地	弥生

注：図番号は図 3-1.24 に対応しています。

出典：「行橋市内遺跡等分布地図」令和 3 年 5 月確認 行橋市

「築上町内遺跡等分布地図」平成 31 年 3 月 築上町教育委員会

表 3-1. 53(1) 対象区域の埋蔵文化財等の状況

市町	遺跡番号	遺跡の名称	市町	遺跡番号	遺跡の名称	市町	遺跡番号	遺跡の名称
行橋市	14016001	草野古川遺跡	行橋市	14044009	沓尾上宮ノ前遺跡	行橋市	14049014-7	稲童7号墳
	14016002	行事東光寺遺跡		14044010	沓尾上宮ノ前上遺跡		14049014-8	稲童8号墳
	14010001	御蔵所跡(京都郡)		14044011	沓尾上宮ノ前上古墳群		14049014-9	稲童9号墳
	14005001	御蔵所跡(仲津郡)		14045001	馬場村後遺跡		14049014-10	稲童10号墳
	14005002	大橋御茶屋跡 (大橋洋学校跡)		14045002	馬場観音山古墳群		14049014-11	稲童11号墳
	14020001	大橋人家遺跡		14045003	代遺跡		14049014-12	稲童12号墳
	14028001	今川川底遺跡		14045004	馬場山ノ神池東古墳群		14049014-13	稲童13号墳
	14019001	田川線近代化遺跡群		14045005	馬場山ノ神池南古墳群		14049014-14	稲童14号墳
	14112001	長木大首池北古墳群		14045006	馬場代2号墳		14049014-15	稲童15号墳
	14112002	長木小首遺跡		14045007	馬場代古墳群		14049014-16	稲童16号墳
	14112003	長木小首古墳		14045008	馬場津留池北東古墳群		14049014-17	稲童17号墳
	14112004	長木堂原遺跡		14045009	馬場古門遺跡		14049014-18	稲童18号墳
	14112005	八雷古墳		14046001	辻垣ヲサマル遺跡		14049014-19	稲童19号墳
	14112006	長木宮ノ下遺跡		14046002	辻垣島田・長通遺跡		14049014-20	稲童20号墳(石並古墳)
	14112007	長木下屋敷遺跡		14046003	辻垣下河原遺跡		14049014-21	稲童21号墳
	14112008	長木条里跡		14046004	辻垣下出口遺跡		14049014-22	稲童22号墳
	14112009	長木力石竹ヶ本横穴群		14047001	小迫谷古墳群		14049014-23	稲童23号墳
	14112010	長木小迫池上横穴群		14047002	穴田古墳群		14049014-24	稲童24号墳
	14112011	長木丸山遺跡		14047003	高瀬穴田遺跡		14049014-25	稲童25号墳
	14113001	二塚遺跡		14047004	穴田11号墳		14049015	稲童石並遺跡
	14113003	二塚吉本古墳群		14047005	高瀬遺跡		14049016	稲童遺跡
	14114001	吉国木実堂古墳		14047007	高瀬古墳		14049017	稲童蛭子神社遺跡
	14115001	延永水取遺跡		14047008	高瀬上人塚古墳		14049018	稲童鳴山遺跡
	14115002	延永中熊遺跡		14047009	高瀬竹ノ内遺跡		14049019	稲童九郎右衛門遺跡
	14115003	ピワノクマ古墳		14047010	高瀬宮山古墳群		14049021	稲童田淵古墳
	14115004	ピワノクマ墳墓群		14047011	視山城跡		14049022	稲童サヤノ辻古墳群
	14115005	ピワノクマ遺跡		14047012	高瀬視山古墳群		14049023	稲童サヤノ辻遺跡
	14115006	延永宮本遺跡		14047013	高瀬欠塚古墳群		14049024	稲童平原遺跡
	14115007	延永勝丸遺跡		14047015	隼人塚古墳		14049025	稲童上迫遺跡
	14115008	延永石畑遺跡		14047016	高瀬清光寺遺跡		14049026	稲童野稻迫遺跡
	14115009	長尾病院南西遺跡		14047017	高瀬引水導遺跡		14049027	稲童豊後塚遺跡
	14115010	延永ヤヨミ園遺跡		14048001	道場寺居屋敷遺跡		14049028	稲童豊後塚遺跡(1次調査)
	14039001	金屋遺跡		14048002	道場寺寺屋敷横穴		14049029	稲童豊後塚遺跡(2次調査)
	14040002	今井文久遺跡		14048003	道場寺山祭祀遺跡		14049030	稲童豊後塚遺跡(3次調査)
	14040006	今井条里跡		14048006	道場寺鬼塚古墳		14049031	稲童浜南遺跡
	14042001	津留遺跡		14048007	道場寺茶屋遺跡		14049032	稲童大山遺跡
	14042002	津留足尾遺跡		14048008	道場寺上人塚古墳		14049033	稲童大山古墳群
	14042003	津留見田遺跡		14048009	道場寺並松古墳		14049037	稲童高畑古墳群
	14042004	津留七反田遺跡		14048010	道場寺五反田池北遺跡		14049038	稲童高畑遺跡
	14042005	津留井田遺跡		14048011	道場寺郡界原遺跡		14049039	渡筑紫遺跡(A区) (渡筑紫古墳群)
	14043001	元永西梅崎古墳群		14049001	稲童山田池古墳		14049040	渡筑紫遺跡(B区)
	14043002	元永東梅崎古墳		14049002	稲童山田古墳群		14049041	渡筑紫遺跡(C区)
	14043003	元永丸山古墳		14049003	稲童山田遺跡		14049042	渡筑紫遺跡(1地区)
	14043004	元永城尾古墳群		14049004	稲童視山東古墳		14049043	渡筑紫遺跡(2地区)
	14043005	元永城跡		14049005	稲童西尾遺跡		14049044	渡筑紫遺跡(3地区)
	14043006	元永報恩寺裏山古墳群		14049006	稲童堂古墳群(A地点)		14049045	渡筑紫遺跡(4地区)
	14043007	元永生目神社境内古墳		14049007	稲童堂古墳群(B地点)		14049046	渡筑紫遺跡(5地区)
14043008	元永ゲンジ山古墳群	14049008	稲童堂古墳群(C地点)	14049047	稲童平原遺跡			
14043009	元永道城山古墳群	14049009	稲童視山南古墳群	14049048	稲童小迫池東南遺跡			
14043010	元永平畑古墳群	14049010	稲童次郎池遺跡	14050001	松原尾曲古墳			
14043011	元永イツリ古墳群	14049011	稲童赤迫古墳群	14050002	松原遺跡群(1地区)			
14043012	元永棟方古墳群	14049012	稲童若林遺跡	14050003	松原遺跡群(2地区)			
14043013	元永新開遺跡	14049013	稲童嶋巡遺跡	14051001	長井遺跡			
14043014	元永宮畑遺跡	14049014	稲童古墳群	14051002	長井作り山遺跡			
14043015	元永津留条里跡	14149014-1	稲童1号墳	14051003	長井片鉾古墳			
14044003	沓尾宮ノ下遺跡	14049014-2	稲童2号墳	14051004	長井キビリ古墳群			
14044005	沓尾兵庫山古墳群	14049014-3	稲童3号墳	14051005	長井大熊遺跡			
14044006	久津尾崎城跡	14049014-4	稲童4号墳	14051006	長井宗遺跡群			
14044008	沓尾宮ノ下古墳群	14049014-5	稲童5号墳	14051007	長井宗古墳群			
		14049014-6	稲童6号墳					

出典：「行橋市内遺跡等分布地図」令和3年5月確認 行橋市
「築上町内遺跡等分布地図」平成31年3月 築上町教育委員会
「みやこ町内遺跡等分布地図」令和3年5月確認 みやこ町
「豊前市歴史文化基本構想」平成31年3月 豊前市

表 3-1. 53(2) 対象区域の埋蔵文化財等の状況

市町	遺跡番号	遺跡の名称	市町	遺跡番号	遺跡の名称	市町	遺跡番号	遺跡の名称
行橋市	14051008	長井尾ノ花遺跡	行橋市	14098001	宝山城跡	行橋市	14105008	大谷遠弥古墳
	14051009	長井小原遺跡		14098002	宝山西ノ遺跡		14105009	大谷七反田遺跡
	14051010	長井駄廻遺跡		14098003	宝山下馬場遺跡		14105010	官道
	14051011	長井丸尾遺跡		14098004	宝山西出遺跡		14105011	大谷車堀遺跡
	14051012	長井陣山遺跡		14098005	宝山桑ノ木遺跡		14105012	大谷山伏田遺跡
	14051013	長井陣山古墳群		14100001	流末溝田遺跡		14105013	大谷平山古墳群
	14053001	袋迫遺跡群(1地区)		14100003	流末古川東遺跡		14105014	大谷鯉無田古墳
	14053002	袋迫遺跡群(2地区)		14100004	流末八旗神社南遺跡		14105015	大谷鯉無田池西古墳
	14053003	袋迫遺跡群(3地区)		14100005	今川条里跡		14105016	大谷鯉無田池西古墳
	14054001	羽根木条里跡		14101001	矢留本畔遺跡		14105017	大谷茶白山古墳群
	14055001	羽根木坂の上遺跡		14101002	矢留二升五合古墳		14105018	大谷清水古墳
	14056001	羽根木古屋敷遺跡		14101003	矢留塚遺跡		14105019	大谷妙見古墳
	14056002	戸殿森遺跡		14101004	矢留堂ノ前遺跡		14105020	大谷古寺ノ上古墳
	14056003	行橋保養院遺跡		14101005	矢留堂ノ山遺跡		14105021	大谷護念寺古墳群
	14058001	平島油田遺跡		14101006	矢留堂山古墳		14105022	大谷ゴウヤ横穴群
	14059001	崎野遺跡		14101007	矢留堂ヶ迫古墳		14105023	大谷護念寺跡
	14059003	崎野ツカモト遺跡		14101008	矢留火熊遺跡		14105024	馬ヶ岳城跡
	14060002	長江古賀遺跡		14101009	矢留大將山遺跡		14105025	大谷往還池西古墳群
	14062001	赤ハゲ遺跡		14101010	矢留大將山古墳		14105026	大谷往還池東古墳群
	14062003	長江笠取遺跡		14101011	矢留奥山古墳		14105027	大谷鹿ヶ谷横穴墓群
	14062004	福富立石遺跡(2地区)		14101012	矢留遺跡		14107001	上稗田向原遺跡
	14066001	福富立石遺跡(1地区) (旧・宇戸遺跡)		14101013	矢留松田池東古墳		14106002	上稗田貴船小松原遺跡
	14066002	柳井田黒宮遺跡		14101014	矢留裏ノ谷池南古墳		14106003	上稗田朝比奈山遺跡
	14066003	柳井田早崎遺跡		14101015	矢留屋敷田山横穴群		14106004	上稗田呼塚古墳群
	14066004	柳井田藤ヶ塚畑遺跡		14101016	矢留豊栄古墳群		14106007	上稗田宮ノ上A遺跡
	14067002	崎野山城遺跡		14102002	天生田野入遺跡		14106008	上稗田宮ノ上B遺跡
	14068001	長江トウノ木遺跡		14102003	天生田下池田遺跡		14106009	上稗田春田古墳
	14068002	農事試験場遺跡		14102004	天生田矢萩遺跡		14106010	稗田宝山条里跡
	14068003	福富竜ヤシキ遺跡		14102005	天生田大池遺跡		14107001	下稗田遺跡
	14069001	船越遺跡		14102006	天生田清池神社古墳		14107002	下稗田中尾遺跡 (下稗田遺跡)
	14069002	福富小畑遺跡		14102007	天生田宮ノ浦古墳群		14107003	下稗田松山遺跡
	14069003	崎野栗ノ本遺跡		14102008	天生田迫古墳群		14107004	稗田城跡
	14070001	福富ソウリ遺跡		14102009	天生田大將陣横穴群		14107005	下稗田竹峯遺跡
	14070002	福富大平遺跡 (旧泉中学校遺跡)		14102010	天生田古城尾古墳群		14107006	井無田遺跡(下稗田遺跡)
	14072001	長江平塚遺跡		14103002	津積片峰古墳群		14107007	松ヶ迫遺跡(下稗田遺跡)
	14073001	福富侍島遺跡		14103004	津積高来池南古墳群		14107008	下稗田常清遺跡
	14074001	福原遺跡		14103005	津積住吉池西古墳群		14107009	下稗田遺跡 (稗田小学校周辺地区)
	14074002	寄原遺跡		14103006	津積ヒガン田山古墳群		14107010	下稗田台ノ下遺跡
	14074003	下栢山遺跡		14103007	大島神社西南遺跡		14107011	下稗田森遺跡
	14075001	福原寄原遺跡		14103009	内屋敷遺跡		14107012	下稗田小豆田遺跡
	14075002	福原長者原遺跡		14103010	津積鬼塚堀殿古墳群		14107013	下稗田願成就遺跡
	14075003	福原長池ノ上遺跡		14103011	御所ヶ谷池西古墳群		14108001	高来迫A遺跡(前田山遺跡)
	14065001	侍塚遺跡		14103012	津積金子古墳群		14108002	高来迫B遺跡(前田山遺跡)
	14083001	柳井田宮遺跡		14103013	津積御所ヶ谷古墳群		14108003	前田山遺跡
	14081001	国作条里跡		14103014	御所ヶ谷池東古墳群		14108004	前田墓ノ下遺跡
	14076001	竹並遺跡		14103015	津積サヤケ谷古墳		14108005	前田大山A遺跡
	14075005	竹並下ノ原遺跡 (旧・大車遺跡)		14103016	津積サヤケ谷西古墳		14108006	前田大山B遺跡
14077001	竹並ヒメコ塚古墳	14103017	津積サヤケ谷遺跡	14108007	前田平遺跡			
14077002	竹並通り迫古墳群	14103018	津積サヤケ谷東古墳群	14108008	前田向原北ノ平遺跡			
14077003	竹並通り迫横穴群	14103019	津積西山遺跡	14111002	下検地ヒヤケ遺跡			
14078001	鬼熊遺跡(AB地区)	14104001	西谷経塚古墳群	14111003	塚遺跡(前田山遺跡)			
14078002	鬼熊遺跡(C~F地区)	14104002	西谷トイワタシ遺跡	14111004	検地遺跡(前田山遺跡)			
14078003	竹並大内田遺跡	14104003	西谷堂ヶ迫古墳群	14125003	下崎川久保遺跡			
14084001	草場二ノ坪遺跡	14104004	西谷経塚墓地	14125004	下崎溝越遺跡			
14097001	大野井・津熊条里跡	14105001	大谷舟山古墳群	14125005	下崎ヒガンデ遺跡			
14097002	大野井角畑遺跡	14105002	大谷天神尾遺跡	14125006	下崎小松遺跡			
14097003	大野井馬場遺跡	14105003	大谷荒堀古墳群	14125008	下崎鳥井原遺跡			
		14105004	大谷宮ヶ迫東古墳	14125009	下崎三反間遺跡			
		14105005	大谷淵遺跡					
		14105006	大谷遠弥遺跡					

出典：「行橋市内遺跡等分布地図」令和3年5月確認 行橋市
「築上町内遺跡等分布地図」平成31年3月 築上町教育委員会
「みやこ町内遺跡等分布地図」令和3年5月確認 みやこ町
「豊前市歴史文化基本構想」平成31年3月 豊前市

表 3-1. 53(3) 対象区域の埋蔵文化財等の状況

市町	遺跡番号	遺跡の名称	市町	遺跡番号	遺跡の名称	市町	遺跡番号	遺跡の名称
行橋市	14125010	下崎丸山遺跡	築上町	940060	後谷池遺跡	築上町	940137	西一丁田遺跡
	14125011	下崎中原遺跡		940061	奈古・松淵遺跡		940163	極楽寺跡
	14125012	金沢松尾遺跡		940062	奈古・山屋敷遺跡		940164	坂本・チシャノ木遺跡
	14125013	下崎白藤遺跡		940064	日奈古・西崩遺跡		940165	東八田・曲り遺跡
	14125014	下崎明神遺跡		940065	日奈古・馬場尾遺跡		940166	東八田・上ノ門遺跡
	14125015	下崎糸里跡		940066	寺尾遺跡		940167	石堂・大石ヶ丸の氷室
	14126002	長尾立花遺跡		940067	日奈古・仁連木遺跡		940168	中村・西峯尾遺跡
	14126003	長尾花熊遺跡		940068	合木横穴群		940169	越路・墓屋敷遺跡
	14126004	長尾楠木横穴		940069	合木遺跡		940170	湊・門田遺跡
	14126005	長尾野田遺跡		940070	山本遺跡		940171	西高塚・ナカバル遺跡
	14126006	長尾下原古墳		940071	安長寺跡		950001	船迫・小池遺跡
	14126007	長尾下原横穴群		940072	合木Ⅱ遺跡		950002	弓の師遺跡
	940001	西八田・平原遺跡		940073	加勘遺跡		950003	別府遺跡
	940002	西八田・堂ノ本遺跡		940074	二ノ坪遺跡		950004	比丘尼原遺跡
	940003	西八田・灰塚遺跡		940075	山ノ下遺跡		950005	第3地点
	940004	西八田・香染遺跡		940076	山本横穴群		950006	双子池遺跡
	940005	野ノ仲城跡推定地		940077	小原横穴群		950007	第5地点
940006	西八田・八田久保遺跡	940078	谷池東遺跡	950008	安武・土井の内遺跡			
940007	西八田・寒田遺跡	940079	原池南遺跡	950009	安武・深田遺跡			
940009	西八田・勘蔵遺跡	940080	池ノ本遺跡	950010	火箱遺跡			
940011	東八田・古寺遺跡	940081	荻原池遺跡	950011	火箱古墳群			
940012	東八田・屋敷田遺跡	940082	出口遺跡	950012	別府城跡			
940013	西八田・一廣遺跡	940083	湊城跡推定地	950013	笠山遺跡			
940014	西八田・道天遺跡	940084	村中遺跡	950014	狐塚遺跡			
940016	東八田・松ヶ迫遺跡	940085	越路・枝迫遺跡	950015	築城千代遺跡			
940017	東八田・古寺遺跡	940086	越路・鷺ノ木遺跡	950016	築城城跡			
940019	東八田・沓坂屋敷遺跡	940087	越路・高峰遺跡	950017	築城・下櫻木遺跡			
940020	東八田・柿ヶ坪遺跡	940088	越路・竹ノ下遺跡	950018	上別府園田遺跡			
940021	東八田・深田文田遺跡	940089	坂本・下ノ森遺跡	950019	上別府沖代遺跡			
940022	東八田・上穴間遺跡	940090	坂本・下ノ森Ⅱ遺跡	950020	上別府・西福寺遺跡			
940023	東八田・田村遺跡	940091	坂本・西ノ門遺跡	950021	築城・椋本遺跡			
940024	沖代遺跡	940092	木実遺跡	950022	南別府遺跡			
940025	宇留津・小畑遺跡	940093	坂本・正毛田遺跡	950023	大野神社古宮跡			
940026	宇留津・川角遺跡	940095	平田遺跡	950024	水上古墳群			
940027	宇留津・片ヅケ遺跡	940102	高塚城跡推定地	950025	船迫・水遺跡			
940028	宇留津・鞍掛遺跡	940103	西高塚・中迫遺跡	950026	裏ヶ迫古墳群			
940029	宇留津・吹其遺跡	940104	松福寺	950027	宇土窯跡			
940031	宇留津・上後遺跡	940106	鬼塚	950028	ひめのり古墳群			
940032	宇留津・西後遺跡	940107	奈古・向屋敷遺跡	950029	中の丸遺跡			
940033	宇留津・東後遺跡	940110	岩丸・七ツ枝遺跡	950030	茶臼山城址			
940035	宇留津城跡推定地	940112	天降の峰	950031	茶臼山東窯跡軍 (国指定史跡)			
940038	東高塚海岸遺跡	940113	日奈古・向田遺跡	950032	焼毛鞘古墳			
940039	東高塚・弘法田遺跡	940114	日奈古・辰口遺跡	950033	上深野・尾園遺跡			
940040	越路・鍛冶屋原遺跡	940115	極楽寺・野中遺跡	950034	堂がえり遺跡 (国指定史跡)			
940041	越路・六郎遺跡	940116	極楽寺・佐敷遺跡	950035	堂がえり古墳群 (国指定史跡)			
940042	越路・長様遺跡	940117	極楽寺・向田遺跡	950036	堂がえり窯跡群 (国指定史跡)			
940043	越路・貴船遺跡	940118	極楽寺城跡推定地	950037	朝日寺古墳群			
940044	越路・北ヶ崎遺跡	940119	小原遺跡	950038	塞ノ神遺跡			
940045	越路・馬場遺跡	940120	小原岩陰遺跡	950039	赤幡森ヶ坪遺跡			
940048	越路・二月田遺跡	940122	真如寺・野々丸遺跡	950040	十双遺跡			
940049	越路・小倉遺跡	940123	真如寺・花田遺跡	950041	辛山古墳群			
940050	広幡城跡	940124	真如寺薬師堂	950042	王子ヶ迫古墳群			
940051	広幡城跡遺跡	940126	石堂古墳群	950044	赤幡城跡			
940052	広幡八幡社跡	940127	石堂・中原古墳群	950045	築城・五反田遺跡			
940053	石町遺跡	940128	石堂・中後ヶ谷古墳群	950046	築城小迫遺跡			
940054	山崎遺跡	940130	福岡・菜切古墳群	950047	下清水遺跡			
940055	水原・有吉遺跡	940131	福岡・菜切遺跡	950048	横井塚古墳群			
940056	後谷古墳	940134	山添遺跡					
940057	屋久保屋敷遺跡	940135	山添古墳群					
940059	葛城遺跡	940136	頭無古墳群					

出典：「行橋市内遺跡等分布地図」令和3年5月確認 行橋市
「築上町内遺跡等分布地図」平成31年3月 築上町教育委員会
「みやこ町内遺跡等分布地図」令和3年5月確認 みやこ町
「豊前市歴史文化基本構想」平成31年3月 豊前市

表 3-1. 53(4) 対象区域の埋蔵文化財等の状況

市町	遺跡番号	遺跡の名称	市町	遺跡番号	遺跡の名称	市町	遺跡番号	遺跡の名称
築上町	950049	広末・安永遺跡	みやこ町	910185-2	弓馬場B遺跡	みやこ町	910308	本庄池北遺跡Ⅱ地点
	950050	安永遺跡		910186	木井馬場井口遺跡		910309	大熊条里遺跡
	950051	六十六塚		910187	タカデ遺跡		910310	大熊古墳
	950052	安永古墳群		910192	侍塚		910311	大熊・本庄・山鹿条里
	950053	広末・松ヶ迫遺跡		910195	正安寺古墳群		910312	玉置遺跡
	950054	後谷古墳群		910201	渋見山城跡		910313	山鹿積石塚
	950055	広幡城跡		910202	内垣条里		910314	ナノミ古墳群
	950056	小山田・大迫遺跡		910203	上屋敷遺跡		910315	山鹿遺跡
	950057	丸山経塚		910204	ゴウヤベラ古墳群		910316	東城山古墳Ⅰ群
	950058	男池遺跡		910205	上明神古墳群		910317	東城山古墳Ⅱ群
	950059	小山田・スルメ田遺跡		910206	五反田遺跡		910319	山鹿城跡
	950060	浄江谷遺跡		910207	古屋敷遺跡		910320	城山古墳群
	950062	上深野～平越遺跡		910208	犬丸条里		910321	山鹿・柳瀬条里
	950063	上深野遺跡		910213	犬丸経塚遺跡		910322	山鹿近世宿駅集落
	950064	松丸A遺跡		910214-2	浦ノ谷山伏墓地		910323	宮田遺跡
	950065	松丸B遺跡		910214-4	北山殿周辺墳墓群		910325	本庄池北古墳群
	950066	松丸C遺跡		910214-5	東谷山伏集落跡		910326	本庄古墳
	950067	松丸D遺跡		910214-6	中谷山伏集落跡		910330	本庄節畑遺跡
	950068	松丸E遺跡		910214-7	二ノ鳥居・松庭跡		910336	屋川小学校校庭遺跡
	950069	松丸F遺跡		910214-20	産家・南関門跡		910337	本庄鎌手遺跡
	950070	宇都宮氏館跡		910214-21	北谷山伏集落跡		910338	本庄条里
	950071	金敷古墳群		910214-22	向山山伏墓地		910343	本庄・高屋条里
	950072	伝法寺・金面遺跡		910214-23	六川山伏墓地		910363	不動ヶ岳城跡
	950073	伝法寺・杉ヶ丸遺跡		910214-24	花面峠山伏墓地		910364	不動ヶ岳古墳群
	950074	遠矢塚古墳		910214-25	法寿坊達丁山伏墓地		910365	不動ヶ岳古墳
	950077	堂山城跡		910214-26	下ノ谷山伏墓地		910367	三諸山南麓古墳群
	950079	長谷川邸遺跡		910217	下宮神社跡		910368	三諸神社裏古墳群
	950080	龍神の石畳		910218	自在丸遺跡		910369	又ヶ迫古墳群
	950081	立岩遺跡		910226	乙子焼窯跡		910375	大村近世本陣集落
	950082	小山田・寺ノ前遺跡		910237	長迫遺跡		910375-14	宇都宮大明神社跡
	950083	釜倉城跡		910238	クシガ迫古墳		910396	大無田古墳
	950084	茅切城跡		910241	古川平原遺跡		910397	山添古墳Ⅰ群
	950086	四反田遺跡		910241-1	古川平原遺跡(第1地点)		910398	山添古墳Ⅱ群
	950087	カヂヤ遺跡		910241-2	古川平原遺跡(第2地点)		910399	神手ヶ池古墳群
	950088	洲の上遺跡		910242	古川大塚古墳		910400	屋敷無古墳群
	950089	小山田城跡		910243	西郷館跡		910401	谷口古墳群
	950090	小川内城跡		910244	小高木遺跡		910402	上ノ山古墳群
	950091	本庄・上ノ屋敷遺跡		910249	センソク遺跡		910403	蔵田遺跡
	950092	大坪遺跡		910252	石ヶ迫横穴墓群		910406	貴船社跡
	950093	本庄・立屋敷遺跡		910255	園田屋敷遺跡		910407	貴船古墳
	910163	楠遺跡		910256	畑田遺跡		910409	深迫古墳群
	910164	萩原遺跡		910257	金杖遺跡		910413	ソウエンダ古墳群
	910169	菅切城		910258	寺山遺跡		910415	オクガ迫古墳群
	910171	城井中世城下集落		910259	下前田遺跡		910421	招提寺古墳群
	910171-2	等山寺跡		910260	長迫古墳		910422	宮ノ谷古墳群
	910171-3	楞嚴寺遺跡		910261	古川・久富・続命院条里		910423	宮ノ谷北古墳群
	910171-5	寺の下遺跡		910266	辻垣遺跡		910424	宗庵山古墳群Ⅰ群
	910171-6	中屋敷遺跡		910267	古宮遺跡		910425	宗庵山古墳群Ⅱ群
910171-7	平原寺遺跡	910268	目迫遺跡	910426	富塚古墳群			
910171-8	城山寺遺跡	910269	吉丸古墳	910427	富塚北古墳群			
910171-10	毘沙門砦跡	910270	黒岩城跡	910428	長尾古墳群			
910171-11	正安寺遺跡	910272	山伏塚跡	910429	シャクシ池遺跡			
910171-12	高德寺遺跡	910274	久富上堀切遺跡	910430	八ヶ久保古墳群			
910171-13	道場寺遺跡	910299	真代寺跡	910431	原ノ浦古墳群			
910171-15	市屋敷遺跡	910300	大熊大坪遺跡	910432	ウツキ谷古墳群			
910171-16	神楽城跡	910301	大熊藪ノ下遺跡	910433	福六瓦窯跡			
910174	寺門遺跡	910304	大熊南古墳	910434	福六古墳			
910183	木井馬場遺跡	910305	大熊北古墳群	910435	鳥池西古墳群			
910185	弓馬場遺跡	910306	松本遺跡	910436	福六西古墳群			
910185-1	弓馬場A遺跡	910307	本庄池北遺跡Ⅰ地点	910438	福六遺跡			

出典：「行橋市内遺跡等分布地図」令和3年5月確認 行橋市
「築上町内遺跡等分布地図」平成31年3月 築上町教育委員会
「みやこ町内遺跡等分布地図」令和3年5月確認 みやこ町
「豊前市歴史文化基本構想」平成31年3月 豊前市

表 3-1. 53 (5) 対象区域の埋蔵文化財等の状況

市町	遺跡番号	遺跡の名称	市町	遺跡番号	遺跡の名称	市町	遺跡番号	遺跡の名称
みやこ町	910440	草場山古墳群	みやこ町	920007	吉祥院	みやこ町	920062	徳政松井北遺跡
	910441	草場山北古墳		920008	新村ノ上古墳		920063	徳政松井遺跡
	910445	姫神古墳		920009	彦徳甲塚古墳		920064	徳政榊ノ丸遺跡
	910446	小井頭池東古墳群		920010	甲塚北古墳		920065	徳政和ノ内遺跡
	910447	鯉頭池西古墳群		920011	新村ノ上遺跡		920066	徳政福重田遺跡
	910448	姫神池北古墳群		920016	馬苦勞遺跡		920067	有久貴船田遺跡
	910449	鶯ヶ迫古墳群		920017	八景山南古墳群		920068	田中石田遺跡
	910450	下山古墳群		920017-1	八景山南古墳群1号墳		920070	田中四正田遺跡
	910451	宮田口古墳群		920017-2	八景山南古墳群2号墳		920071	京ヶ辻遺跡
	910452	浦田池東古墳群		920017-3	八景山南古墳群3号墳		920072	田中明遺跡
	910453	小松原古墳群		920017-4	八景山南古墳群4号墳		920073	居屋敷遺跡
	910454	木山廃寺		920017-5	八景山南古墳群5号墳		920074	鋤先遺跡
	910456	馬ヶ岳北東山腹遺跡		920018	甲塚方墳		920075	徳永川ノ上遺跡
	910457	馬ヶ岳城跡		920019	甲塚遺跡		920076	神手遺跡
	910458	地藏院北古墳群		920020	長養池遺跡		920077	吹ヶ上古墳群
	910459	地藏院横穴群		920021	長養池南遺跡		920077-1	吹ヶ上古墳群1号墳
	910460	古川迫古墳群		920022	丸山遺跡		920077-2	吹ヶ上古墳群2号墳
	910463	明光寺跡		920023	尾花原遺跡		920077-3	吹ヶ上古墳群3号墳
	910465	サヤゴシ遺跡		920024	尾花原地下式横穴		920077-4	吹ヶ上古墳群4号墳
	910466	寺ノ浦古墳群		920025	山ノ神遺跡		920077-5	吹ヶ上古墳群5号墳
	910467	二児社御手洗跡		920026	綿町稻荷神社南遺跡		920078	地藏田池遺跡
	910470	上ノ谷古墳		920027	国分高畑遺跡		920079	峰遺跡
	910471	平原古墳群		920028	国作石塚遺跡		920080	磐見山ノ下遺跡
	910472	浦山古墳群		920029	柱松古墳群		920081	磐見川ノ上遺跡
	910473	御所藪古墳群		920030	国作銅遺跡		920082	カワラケ田遺跡
	910474	キジガウチ古墳群		920031	惣社古墳		920083	徳永宮地遺跡
	910475	馬場山古墳群		920032	国作支骨豊遺跡		920084	上人塚古墳
	910476	椿山古墳		920033	国作菖蒲池遺跡		920085	徳永イナリ古墳
	910477	三ッ塚古墳群		920034	惣社切通シ遺跡		920086	中原古墳
	910478	フカキ遺跡		920035	国分城塚遺跡		920087	徳永池ノ端遺跡
	910479	西堂ノ本遺跡		920036	北原遺跡		920088	徳永果願寺遺跡
	910480	草場遺跡		920037	国分西郷遺跡		920089	源左エ門屋敷遺跡
	910481	帯田遺跡		920038	正道遺跡		920089-1	源左エ門屋敷遺跡A地区
	910482	木山平遺跡		920039	辻ノ後遺跡		920089-2	源左エ門屋敷遺跡B地区
	910490	上高屋台ノ原遺跡		920041	国分大藪遺跡		920089-3	源左エ門屋敷遺跡C地区
	910491	本庄鎌手遺跡(第2地点)		920042	国分大藪の礎石		920090	京塚古墳群
	910492	末江上ノ山遺跡		920043	国分下中屋敷遺跡		920090-1	京塚古墳群1号墳
	910493	谷口片峯遺跡		920044	幸木遺跡		920090-2	京塚古墳群2号墳
	920001	田中下新地遺跡		920045	豊前国府跡		920090-3	京塚古墳群3号墳
	920002	八景山祭祀遺跡		920045-1	豊前国府跡惣社地区		920091	徳永躍り原遺跡
	920003	八景山山麓古墳群		920045-2	豊前国府跡御所地区		920092	徳永吉ヶ迫遺跡
	920003-1	八景山山麓古墳群1号墳		920045-3	豊前国府跡政庁地区		920093	磐見飛岡遺跡
	920003-2	八景山山麓古墳群2号墳		920045-4	豊前国府跡馬場地区		920094	吹谷古墳
	920003-3	八景山山麓古墳群3号墳		920045-5	豊前国府跡宮ノ下地区		920095	吹谷北遺跡
	920003-4	八景山山麓古墳群4号墳		920045-6	豊前国府跡古門地区		920096	吹谷南遺跡
	920003-5	八景山山麓古墳群5号墳		920045-7	豊前国府跡徐来地区		920097	菖蒲谷北遺跡
	920003-6	八景山山麓古墳群6号墳		920046	惣社八幡神社		920098	二月谷遺跡
	920003-7	八景山山麓古墳群7号墳		920046-1	惣社八幡神社の第二鳥居		920099	菖蒲谷遺跡
920003-8	八景山山麓古墳群8号墳	920047	惣社八幡古墳	920100	菖蒲谷南遺跡			
920003-9	八景山山麓古墳群9号墳	920048	喜蔵西遺跡	920101	上荒谷北遺跡			
920003-10	八景山山麓古墳群10号墳	920049	喜蔵東遺跡	920102	二月谷北遺跡			
920003-11	八景山山麓古墳群11号墳	920050	国作三角遺跡	920103	小池遺跡			
920003-12	八景山山麓古墳群12号墳	920051	八反田遺跡	920104	荒谷古墳			
920003-13	八景山山麓古墳群13号墳	920052	国作翁遺跡	920105	荒谷遺跡			
920004	高崎山横穴群	920053	国作隠田遺跡	920106	小池谷遺跡			
920004-1	高崎山横穴群1号墳	920054	国作東見舞田遺跡	920107	新荒谷池西遺跡			
920005	彦徳サヤノ上古墳	920055	国作深田遺跡	920108	新荒谷池東遺跡			
920006	彦徳横穴群	920056	浄邦寺	920109	緑ヶ丘北遺跡			
920006-1	彦徳横穴群1号墳	920060	惣社ロヶ坪遺跡	920110	荒谷南遺跡			
920006-2	彦徳横穴群2号墳	920061	惣社片ヘラ遺跡	920111	荒谷南古墳			

出典：「行橋市内遺跡等分布地図」令和3年5月確認 行橋市
 「築上町内遺跡等分布地図」平成31年3月 築上町教育委員会
 「みやこ町内遺跡等分布地図」令和3年5月確認 みやこ町
 「豊前市歴史文化基本構想」平成31年3月 豊前市

表 3-1. 53(6) 対象区域の埋蔵文化財等の状況

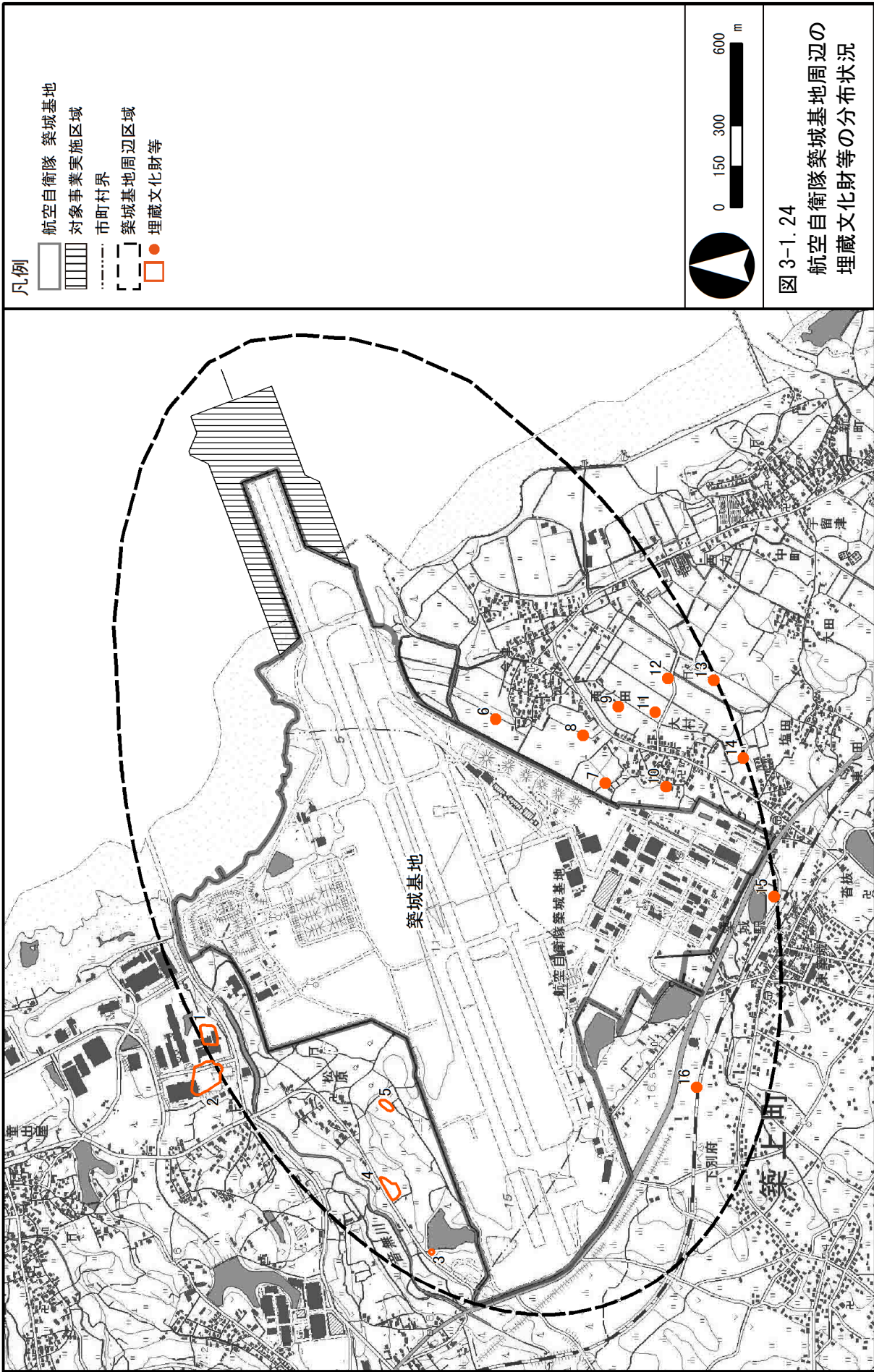
市町	遺跡番号	遺跡の名称	市町	遺跡番号	遺跡の名称	市町	遺跡番号	遺跡の名称
みやこ町	920112	石走り南遺跡	みやこ町	920176	下原弓田西遺跡	みやこ町	920216-5	在馬古墳群5号墳
	920114	西郷池遺跡		920177	弓田遺跡		920216-6	在馬古墳群6号墳
	920115	小笠原藩市井方役所跡		920177-1	弓田遺跡西区		920217	大塚北古墳群
	920116	小笠原藩民政局跡		920177-2	弓田遺跡東区		920217-1	大塚北古墳群1号墳
	920117	小笠原藩庁跡		920178	下原遺跡		920217-2	大塚北古墳群2号墳
	920119	巢鳥古墳		920179	三ッ塚古墳群		920217-3	大塚北古墳群3号墳
	920122	猪迫池北遺跡		920179-1	三ッ塚古墳群1号墳		920217-4	大塚北古墳群4号墳
	920123	荒谷池遺跡		920179-2	三ッ塚古墳群2号墳		920217-5	大塚北古墳群5号墳
	920124	巢鳥池遺跡		920179-3	三ッ塚古墳群3号墳		920217-6	大塚北古墳群6号墳
	920125	巢鳥池南遺跡		920180	僧師塚西遺跡		920217-7	大塚北古墳群7号墳
	920126	台ヶ原北遺跡		920182	僧師塚古墳		920218	大塚南古墳群
	920127	台ヶ原古墳群		920183	僧師塚遺跡		920218-1	大塚南古墳群1号墳
	920127-1	台ヶ原古墳群1号墳		920184	寿遺跡		920218-2	大塚南古墳群2号墳
	920127-2	台ヶ原古墳群2号墳		920185	松尾遺跡		920218-3	大塚南古墳群3号墳
	920127-3	台ヶ原古墳群3号墳		920186	球塚古墳		920218-4	大塚南古墳群4号墳
	920127-4	台ヶ原古墳群4号墳		920187	上荒谷南遺跡		920218-5	大塚南古墳群5号墳
	920127-5	台ヶ原古墳群5号墳		920188	台ヶ原西遺跡		920218-6	大塚南古墳群6号墳
	920128	国分伽藍田遺跡		920189	台ヶ原東遺跡		920218-7	大塚南古墳群7号墳
	920129	上坂横穴群		920190	台ヶ原南遺跡		920218-8	大塚南古墳群8号墳
	920130	中村遺跡		920191	大正池遺跡		920218-9	大塚南古墳群9号墳
	920131	上坂廃寺		920192	光富松掛遺跡		920218-10	大塚南古墳群10号墳
	920132	平遺跡		920193	今村古墳群		920219	古墓山古墳
	920134	豊前国分寺跡		920193-1	今村古墳群1号墳		920220	永迫古墳
	920136	上村屋敷遺跡		920193-2	今村古墳群2号墳		920221	福ヶ追古墳群
	920137	前田遺跡		920193-3	今村古墳群3号墳		920221-1	福ヶ追古墳群1号墳
	920138	国分中尾遺跡		920194	上坂中空遺跡		920221-2	福ヶ追古墳群2号墳
	920139	豊前国分尼寺跡		920195	上原上穂井手遺跡		920222	山口古墳群
	920140	堀ノ上遺跡		920196	平塚遺跡		920222-1	山口古墳群1号墳
	920145	徳政宮ノ上遺跡		920197	上原石佛遺跡		920222-2	山口古墳群2号墳
	920146	徳政前田遺跡		920198	吉岡久蔵屋敷遺跡		920222-3	山口古墳群3号墳
	920147	原口遺跡		920199	吉岡五反田遺跡		920222-4	山口古墳群4号墳
	920148	徳政大塚古墳		920200	頭無池遺跡		920222-5	山口古墳群5号墳
	920149	上徳政遺跡		920201	頭無池西古墳群		920222-6	山口古墳群6号墳
	920150	上徳政古墳		920201-1	頭無池西古墳群1号墳		920222-7	山口古墳群7号墳
	920152	有久七反田遺跡		920201-2	頭無池西古墳群2号墳		920222-8	山口古墳群8号墳
	920153	鳥川原遺跡		920201-3	頭無池西古墳群3号墳		920222-9	山口古墳群9号墳
	920154	磐見樋ノ口遺跡		920201-4	頭無池西古墳群4号墳		920222-10	山口古墳群10号墳
	920155	磐見中園遺跡		920201-5	頭無池西古墳群5号墳		920222-11	山口古墳群11号墳
	920157	磐見中尾遺跡		920201-6	頭無池西古墳群6号墳		920222-12	山口古墳群12号墳
	920158	磐見迫手遺跡		920201-7	頭無池西古墳群7号墳		920223	北垣古墳群
	920159	下原七反田遺跡		920201-8	頭無池西古墳群8号墳		920223-1	北垣古墳群1号墳
	920160	八ッ重遺跡		920201-9	頭無池西古墳群9号墳		920223-2	北垣古墳群2号墳
	920160-1	八ッ重遺跡西区		920201-10	頭無池西古墳群10号墳		920223-3	北垣古墳群3号墳
	920160-2	八ッ重遺跡東区		920202	上原上ノ原遺跡		920223-4	北垣古墳群4号墳
	920162	下原今福遺跡		920203	光富中原遺跡		920223-5	北垣古墳群5号墳
920163	綾野前田遺跡	920204	光富後野古墳	920223-6	北垣古墳群6号墳			
920164	普門寺	920207	光富宮屋敷遺跡	920223-7	北垣古墳群7号墳			
920165	イモジ古墳群	920208	上ノ山古墳	920223-8	北垣古墳群8号墳			
920165-1	イモジ古墳群1号墳	920209	節丸末長遺跡	920223-9	北垣古墳群9号墳			
920165-2	イモジ古墳群2号墳	920210	光富虎竹遺跡	920224	浪見城跡			
920165-3	イモジ古墳群3号墳	920211	黒坪遺跡	920225	羽熊遺跡			
920166	綾野イモジ遺跡	920212	節丸西遺跡	920226	節丸羽熊の氷室			
920167	綾野野中遺跡	920213	塚原遺跡	920230	節丸楠木遺跡			
920168	綾野壱丁田遺跡	920214	節丸柳又遺跡	920231	谷ヶ追古墳			
920170	綾野野地遺跡	920215	節丸口ヶ坪遺跡	920232	節丸中川原遺跡			
920171	綾野泊ノ平遺跡	920216	在馬古墳群	920233	節丸六反田遺跡			
920172	吉岡中島遺跡	920216-1	在馬古墳群1号墳	920234	節丸古門後遺跡			
920173	下原飛岡遺跡	920216-2	在馬古墳群2号墳	920235	白鳥古墳群			
920174	国富池遺跡	920216-3	在馬古墳群3号墳	920235-1	白鳥古墳群1号墳			
920175	磐見杉山遺跡	920216-4	在馬古墳群4号墳	920235-2	白鳥古墳群2号墳			

出典：「行橋市内遺跡等分布地図」令和3年5月確認 行橋市
「築上町内遺跡等分布地図」平成31年3月 築上町教育委員会
「みやこ町内遺跡等分布地図」令和3年5月確認 みやこ町
「豊前市歴史文化基本構想」平成31年3月 豊前市

表 3-1. 53(7) 対象区域の埋蔵文化財等の状況

市町	遺跡番号	遺跡の名称	市町	遺跡番号	遺跡の名称	市町	遺跡番号	遺跡の名称
みやこ町	920235-3	白鳥古墳群3号墳	豊前市	9	團後遺跡	豊前市	77	大富神社
	920235-4	白鳥古墳群4号墳		10	中村石丸遺跡		78	平原横穴墓群
	920235-5	白鳥古墳群5号墳		11	中村団後遺跡		79	川内南原遺跡
	920235-6	白鳥古墳群6号墳		12	角田大庄屋敷跡		80	四郎丸原畑遺跡
	920236	節丸後野遺跡		13	中村石丸H遺跡		81	川内楠木遺跡
	920237	大峯古墳群		14	中村山柿遺跡		82	平原城跡
	920238	古門山古墳群		15	則行城跡		83	四郎丸窯跡
	920238-1	古門山古墳群1号墳		16	永寿寺跡		84	荒堀雨久保遺跡
	920238-2	古門山古墳群2号墳		17	馬場城跡		85	筆垣城跡
	920238-3	古門山古墳群3号墳		18	鶴迫第1号古墳		86	安祥寺城跡
	920238-4	古門山古墳群4号墳		19	鶴迫第2号古墳		87	八屋覆矢遺跡
	920238-5	古門山古墳群5号墳		20	鶴迫遺跡		88	炊江郷
	920238-6	古門山古墳群6号墳		21	灰ノ木古墳		89	大村城跡
	920238-7	古門山古墳群7号墳		22	黒部古墳群		90	天地山遺跡(石棺出土地)
	920238-8	古門山古墳群8号墳		22-1	黒部2号墳		91	荒堀大保遺跡
	920239	椎ノ木古墳群		22-3	黒部6号墳		91-2	荒堀大保II遺跡
	920239-1	椎ノ木古墳群1号墳		23	黒峰尾古墳群		92	荒堀車地遺跡
	920239-2	椎ノ木古墳群2号墳		23-1	黒峰尾10号墳		93	荒堀中ノ原遺跡
	920239-3	椎ノ木古墳群3号墳		24	炭山遺跡		94	荒堀城跡
	920240	節丸椎ノ木遺跡		25	松江炭山遺跡		95	荒堀向上遺跡
	920241	節丸園田遺跡		26	黒峰尾遺跡		96	荒堀向原遺跡
	920242	峯ヶ辻遺跡		27	四郎丸船入遺跡		98	今市向野遺跡C地点
	920243	峯ヶ辻古墳群		29	四郎丸小脇遺跡		99	大村道場遺跡
	920243-1	峯ヶ辻古墳群1号墳		30	四郎丸広山ノ上遺跡		100	大村石畑遺跡
	920243-2	峯ヶ辻古墳群2号墳		33	八屋城跡		101	大村天神林遺跡
	920243-3	峯ヶ辻古墳群3号墳		38	八屋樋ノ口遺跡		101-2	大村天神林遺跡(2区)
	920244	峯ヶ辻窯跡		39	八屋鈴川遺跡		102	大伝寺跡・城屋敷遺跡
	920245	火垣古墳群		40	八屋浦町遺跡		103	友枝庄屋敷跡
	920245-1	火垣古墳群1号墳		41	八屋高水寺遺跡		104	四郎丸角ノ木遺跡
	920245-2	火垣古墳群2号墳		42	八屋丸尾遺跡		105	千束藩家老屋敷跡
	920246	国作条里跡		44	今市向野遺跡A・B地点		106	千塚原古墳群
	920247	節丸条里跡		44-2	今市向野遺跡D地点 (1・2地区)		107	吉木竿遺跡
	930001	安藤池東遺跡		44-3	今市向野遺跡E地点		108	吉木ウシロ遺跡
	930002	安藤池西遺跡		48	吉木遺跡		109	吉木溝遺跡
	930003	黒田エノヲ遺跡		49	吉木常末遺跡		110	吉木芦町遺跡
	930004	庄屋塚古墳		50	下原遺跡		139-A	鳥越今井野遺跡(A区)
	930007	原遺跡		51	吉木城跡(小森城)		139-B	鳥越今井野遺跡(B区)
	930008	北ヶ迫池北古墳群		52	吉木穴井遺跡		140	白山神社と慈眼寺跡
	930100	上田遺跡		53	昭和町遺跡		143	荒堀石棺出土地
	930149	中久保遺跡		55	赤熊城跡		144	上塔田遺跡
	930154	曼荼羅寺東遺跡		58	赤熊三反田遺跡		149	中島遺跡
	930169	妙見南古墳群		59	赤熊花ノ木遺跡		150	青畑向原遺跡
930170	平尾妙見社東古墳	60	清水町神増遺跡	153	大村大龍寺遺跡			
930171	高来池西遺跡	70	原井経塚①	154	応龍寺跡			
930172	箕田・上田・久保条里	71	原井経塚②	159	久路土慈光庵遺跡			
豊前市	1	中村城ヶ鼻遺跡	74	竹ノ下の窟	179	久路土芝掛遺跡		
	2	鳥越城跡	76	毘沙門遺跡	180	黒土城跡		
	5	松江安延遺跡			181	久路土高松遺跡		

出典：「行橋市内遺跡等分布地図」令和3年5月確認 行橋市
 「築上町内遺跡等分布地図」平成31年3月 築上町教育委員会
 「みやこ町内遺跡等分布地図」令和3年5月確認 みやこ町
 「豊前市歴史文化基本構想」平成31年3月 豊前市



出典：「行橋市内遺跡等分布地図」令和3年5月確認 行橋市
「築上町内遺跡等分布地図」平成31年3月現在 築上町教育委員会

1.7 放射線の量

福岡県では、原子力規制庁による放射線量の測定が 9 地点で実施されており、対象区域においては、行橋総合庁舎で平成 24 年 3 月 30 日より測定が実施されています。

平成 24 年～令和 2 年の行橋総合庁舎のモニタリングポストにおける測定結果を表 3-1.54 に示します。

年平均値の測定結果は、横ばい傾向にあり、いずれも通報基準である $5\mu\text{Sv/h}$ を下回っています。

表 3-1.54 行橋総合庁舎における放射線量の測定結果

単位： $\mu\text{Sv/h}$

測定年	年平均	最大	最小
平成 24 年	0.053	0.096	0.047
平成 25 年	0.054	0.097	0.049
平成 26 年	0.054	0.105	0.049
平成 27 年	0.054	0.107	0.049
平成 28 年	0.054	0.096	0.050
平成 29 年	0.054	0.115	0.049
平成 30 年	0.054	0.086	0.049
令和元年	0.054	0.104	0.049
令和 2 年	0.054	0.114	0.048

出典：「放射線モニタリング情報」令和 3 年 6 月現在 原子力規制委員会